

# **G空間EXPO2015\_開催報告書**

**平成28年3月**

**G空間EXPO2015 運営協議会**

# まえがき

---

スマートフォンの普及や無線通信環境の充実に加え、オープンデータへの取組推進の動き等に伴い、位置と時間の情報（G空間情報）を取得・活用できる環境は大きく進展し、様々な分野でG空間情報を活用した製品やサービスが生まれ、その結果、G空間情報は日常生活や経済活動に欠かせないものとなっています。

一方、それらを支える測位分野においては、平成22年9月にはより高度な測位を可能にする準天頂衛星初号機「みちびき」が打ち上げられ、2010年代後半を目途に4機体制へ整備、将来的には7機体制に拡充することを目指すなど、衛星測位分野において大きな進展が見込まれています。

また、平成32（2020）年には、東京オリンピック・パラリンピックが開催されることが決定し、G空間情報を活用した新しい技術やサービスの登場が期待されています。

「G空間EXPO」は、地理空間情報活用推進基本計画に基づき、G空間社会の裾野を広げることを目的として産学官の連携により、これまで4回にわたって開催され、G空間社会の実現へ向け広く一般の方々の理解を促すとともに、G空間関連産業の発展に努めて参りました。

こうした状況の中、平成27年11月26日（木）、27日（金）、28日（土）の3日間、G空間社会をとりまく状況とこれまでの成果を踏まえ、「日本の未来が見える。」をテーマに「G空間EXPO2015」を開催しました。

「G空間EXPO2015」では、前回に引き続き東京・お台場の日本科学未来館を会場とし、様々な分野の技術・製品・サービスに加え、産学官の関係者が一堂に会する場として、展示会や講演・シンポジウム、体験イベントに加え、教育関係者や自治体関係者を対象とした研修や、公募されたプレゼンターによる展示及びプレゼンテーションを行いました。

3日間の会期中、イベント会場には18,856名、講演・シンポジウム会場には1241名の皆様にご来場頂きました。これらを通して、新たな産業・サービスの創出や創意工夫の掘り起こし、既存のサービスの高度化・発展につなげるという所期の目的の達成に大きく寄与できたものと考えます。

本書は、この「G空間EXPO2015」の開催記録をとりまとめたものです。今回の開催を振り返り、G空間社会の発展に向けての一助となれば幸いです。

最後になりましたが、この度の「G空間EXPO2015」の開催、ならびに本書のとりまとめにあたり、産学官の関係者をはじめ、数多くの方々からご協力を頂きました。

これらのご協力と、多数のご来場に対して、この場を借りてお礼申し上げます。

G空間EXPO2015運営協議会

# 目次

## まえがき

### 1. 開催概要

開催概要	6
統一テーマ・タイトルロゴ	7
キービジュアル・キャッチコピー	8
開催構成	9
会場構成	10

### 2. オープニングセレモニー

オープニングセレモニー	12
開会挨拶	13

### 3. G空間EXPOメッセージゾーン

実施概要	18
会場レイアウト	19
総合インフォメーション	20
テーマ展示	21
メインステージ	24

### 4. 地理空間情報フォーラム

実施概要	36
会場レイアウト	37
展示会	38
体験イベント	50
その他	53
測量コンテスト	54
バンダーフォーラム	55
学生フォーラム	56

### 5. Geoアクティビティフェスタ

実施概要	59
会場レイアウト	60
出展者一覧	61
展示ゾーン	62
Geoアクティビティフェスタ 表彰式	68

### 6. Geoエデュケーションプログラム

実施概要	71
会場レイアウト	72
Geoエデュケーションプログラム	73
Geoアトラクションズ	75

### 7. 講演・シンポジウム

実施概要	77
シンポジウム開催報告	78

### 8. 制作物

チラシ	101
ポスター	102
当日プログラム	103
地理空間情報フォーラム	105
Geoアクティビティフェスタ	106
Geoエデュケーションプログラム	106

### 9. 広報活動

公式WEBサイト	108
公式SNS	109
日本科学未来館との連携	110
メディアパートナーとの連携	112
その他媒体との連携	114
プレスリリース(開催告知)	118
ニュースリリース配信先	119
露出(イベント開催前)	123
露出(イベント開催中及び事後)	125

### 付録1 来場者アンケート

アンケート用紙	128
アンケート集計	130

### 付録2 開催実績

開催実績	140
------	-----



## 1. 開催概要

# 開催概要

G空間EXPO2015 来場者数等					
	11/26	11/27	11/28	合計	備考
1Fシンボルゾーン・ゲート通過者数 (=来場者数)	4,897	7,436	6,523	18,856	
7F講演・シンポジウム参加者数	308	700	233	1,241	2016年3月16日現在

- 各々の来場者数の重複等については考慮しておりません。
- ゲート通過者数については、ゲートに設置したカウンターで算出した数値になります。
- 講演・シンポジウムの参加者数については、講演・シンポジウム実行委員会事務局にて集計した数値について、ご報告頂いたものです。

名称 G空間EXPO2015 Geospatial EXPO 2015 Japan

開催期間 平成27年11月26日（木）27日（金）28日（土） 10:00-17:00

会場 日本科学未来館／東京都江東区青海2丁目3-6

対象 児童生徒から社会人まで幅広い層

入場料 無料

主催 G空間EXPO2015 運営協議会  
(構成員)

公益社団法人日本測量協会、一般社団法人全国測量設計業協会連合会、一般社団法人日本測量機器工業会、公益財団法人日本測量調査技術協会、一般財団法人衛星測位利用推進センター、gコンテンツ流通推進協議会、一般社団法人地理情報システム学会、内閣官房、内閣府宇宙戦略室、国土交通省国土政策局、国土交通省国土地理院、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構

共催 日本科学未来館、一般社団法人臨海副都心まちづくり協議会

後援 東京都港湾局、総務省

公式 Webサイト <http://www.g-expo.jp/>

# 統一テーマ・タイトルロゴ

---

## ■ 統一テーマ

# 「地理空間情報科学で未来をつくる」

G空間EXPO2015においては、2014年に引き続き各主催者のイベントを包括する統一テーマを設定し、各主催者が実施する展示・特設ステージ、講演・シンポジウム、研修・体験イベント等を通じて、「見られる」「聴ける」「触れられる」ものをタイトルロゴとともに表現しました。

また、統一テーマについては引き続き、開催場所である日本科学未来館で使われている「空間情報科学」とG空間を表現する「地理」とを組み合わせた「地理空間情報科学」をキーワードとして使用しました。

## ■ タイトルロゴ



# キービジュアル・キャッチコピー

## ■キービジュアル

**Hold The Future.**  
日本の未来が見える。

Geo spatial  
**G空間EXPO 2015**  
地理空間情報科学で未来をつくる

11/26 27 28 会場: 日本科学未来館 (東京・お台場) 入場無料  
【開催時間】10:00~17:00

G空間EXPO 2015 公式ウェブサイト: <http://www.g-expo.jp>

■主催: G空間EXPO2015運営協議会 / 公益社団法人日本測量協会、一般社団法人全国測量技術協会連合会、一般社団法人日本測量機具工業会、公益財団法人日本測量調査技術協会、一般社団法人衛星測位利用推進センター、eコングレス推進協議会、一般社団法人地理情報システム学会、内閣府、内閣府宇宙戦略室、国土交通省国土政策局、国土交通省国土地理院、東京大学大学院工学系研究科情報学専攻、東京大学大学院工学系研究科情報学専攻、東京大学大学院工学系研究科情報学専攻、東京大学大学院工学系研究科情報学専攻、東京大学大学院工学系研究科情報学専攻

■共催: 日本科学未来館、一般社団法人東京臨海副都心サテライト協議会、主催: 東京電機大学

2014年7月1日現在

## ■キャッチコピー

# 「Hold The Future.日本の未来が見える。」

中央に配置された水晶には「G空間情報」を活用した「より利便性が向上した明るい未来のイメージ (= G空間社会)」が映り込んでおり、それを手で持っていることで、現実的な近い未来のことであることを間接的に象徴しています。また、白い背景の上に赤い水晶を配置した、目を惹くレイアウト構成は、日本の国旗のデザインを連想させ、日本の未来であることを、視覚的に理解する一助になります。

# 開催構成

---

## ■ G空間EXPOメッセージゾーン

主催者：G空間EXPO2015運営協議会

- ・「G空間社会って何?」という疑問に回答。
- ・G空間EXPOの導入部として、私たちの身近にあるG空間情報を利用しての製品やサービス等を紹介するとともに、これらを支える仕組み等を分かりやすく説明。
- ・G空間社会を牽引する各界のプレーヤーや、多彩なゲストによるさまざまなステージプログラムや体験アクティビティを実施。

## ■ 地理空間情報フォーラム

主催者：公益社団法人日本測量協会 / 一般社団法人全国測量設計業協会連合会  
一般社団法人日本測量機器工業会 / 公益財団法人日本測量調査技術協会

- ・企業、団体、機関等の展示・体験イベント等により、日本のG空間社会を支える最先端の技術やサービス等を紹介。
- ・出展各者による高度で専門的な展示を通じ、G空間社会についてもっと知りたいといった一般の方々や、情報収集を目的としたビジネス層のニーズに対応。

## ■ Geoアクティビティフェスタ

主催者：国土交通省（国土地理院・国土政策局）、一般財団法人日本情報経済社会推進協会(JIPDEC)

- ・G空間情報に関する独創的なアイデア、ユニークな製品、画期的な技術等を持つ中小事業者、ベンチャー企業、大学・研究機関等による展示やプレゼンの機会を提供し、関係者間の交流を促進。
- ・展示やプレゼンを行うプレゼンターは一般公募し、選考の上決定。
- ・プレゼンターには、会場においてアイデアや製品等の展示やプレゼンを実施。
- ・優秀な展示やプレゼンへの表彰を実施。

## ■ Geoエデュケーションプログラム

主催者：国土交通省、一般社団法人地理情報システム学会

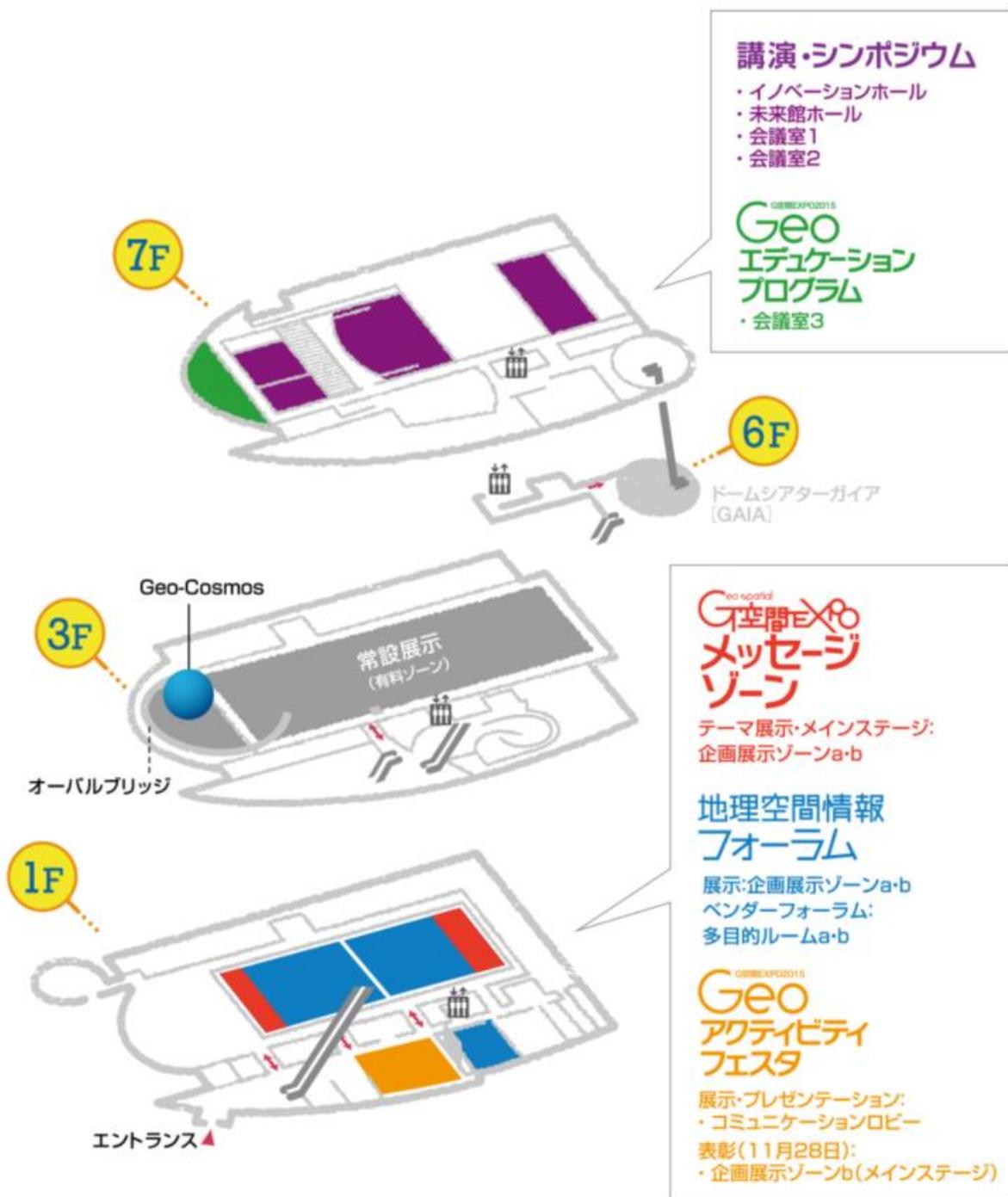
- ・自治体職員及び教育関係者への研修等を実施。
- ・来場した親子・児童生徒向けの体験イベントや、G空間EXPO会場内のツアーなどを実施。

## ■ 講演・シンポジウム

主催者：G空間EXPO2015 運営協議会

- ・G空間社会への理解を深めるための講演・シンポジウム、G空間社会を支える最新情報や研究成果発表、業界・技術動向の紹介など、関係各団体により さまざまなプログラムを実施。

# 会場構成



## 2. オープニングセレモニー

# オープニングセレモニー

期日 平成27年11月26日（木） 10:00-10:20

会場 日本科学未来館 1F シンボルゾーン（G空間EXPOメッセージゾーン）メインステージ

開会挨拶 国土交通省 副大臣 土井 亨  
日本科学未来館 館長 毛利 衛  
日本測量協会 会長 矢口 彰  
衛星測位利用推進センター 理事長 岡部 篤行

テープカット 国土交通省 副大臣 土井 亨  
日本科学未来館 館長 毛利 衛  
日本測量協会 会長 矢口 彰  
衛星測位利用推進センター 理事長 岡部 篤行  
地理情報システム学会 会長 矢野 桂司  
国土地理院 院長 越智 繁雄  
国土交通省 大臣官房審議官 北本 政行



# 開会挨拶

国土交通副大臣

土井 亨



おはようございます。ご紹介をいただきました土井でございます。

本来であれば石井国土交通大臣が参りまして、

皆様方にご挨拶を申し上げるところであります。所業がございまして、今日は参れません。

お詫びを申し上げさせていただきます、私の方からご挨拶を申し上げたいと存じます。よろしく願いいたします。

G空間EXPO2015の開会にあたりまして運営協議会を代表し、一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、ご多忙のところ多くの皆様方にご臨席を賜り、誠にありがとうございます。

開催に向けて準備を進められてこられましたイベントの主催者、出展者の皆様、

また、共催であります日本科学未来館、及び臨海副都心街づくり協議会の皆様方

ご尽力に改めて御礼を申し上げます。

G空間情報の高度活用は、私たちの暮らしを安全・安心で利便性の高いものとする上で欠かせないものでございます。

例えば、カーナビやスマートフォンによる行先案内などは我々の暮らしの中で大いに活用されております。

また、本年6月に出された「日本再興戦略」においては、

2020年代後半以降に自動車の完全自動走行の使用開始を目指すとしております。

G空間情報をよりいっそう活用していくためには、産学官の連携と協力がきわめて重要であり、

その活用に向けた創意工夫と既存技術の高度化を図る必要がございます。

政府といたしましても積極的にG空間情報の高度活用を

強かに押し進めていく所存でございます。

さて、今回のEXPOのキャッチコピーは、

「Hold The Future. 日本の未来が見える。」となっております、

未来の技術を実際に体験できる様々なコーナーがございます。

ご来場された皆様が実際に触れて、学んで、その姿を

身近に感じる機会となることを祈念いたしまして、私からのご挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

# 開会挨拶

---

日本科学未来館 館長

**毛利 衛**



本日は、多数の方々にご参集いただきまして、誠にありがとうございます。

G空間EXPOが日本科学未来館で開催されるのも3回目となり、大変光栄に思っております。

日本科学未来館は、いま世界で起きていることを科学の視点から理解し、私たちがこれからどんな未来社会を築いていくのかを、専門家と一般の人々が集い、語り合う場としてその活動を年々拡大しております。

G空間EXPOにおきましても、これからの日本、そして世界にとって重要になる地理空間情報科学の新しい技術やサービスを紹介するとともに、来場者の皆様に、それらの技術・サービスを使った未来社会を考えていただき、私たちの社会や地球をとりまく様々な課題の解決につながる場となっていくことを期待しています。

また、本日お集まりいただいた皆様方におかれましては、地理空間情報科学分野に携わる次世代の人材育成や女性研究者・技術者の活躍といった裾野拡大など、長期的な戦略を描き、ますますの発展につなげていただくことをお願いできればと思います。

最後に本イベントの開催に当たり、格別のご尽力をいただきました関係の皆様には深く感謝の意を表しますとともに、今回のG空間EXPOが実り多いものとなることを祈念いたしまして私の挨拶とさせていただきます。

# 開会挨拶

公益社団法人 日本測量協会 会長

## 矢口 彰



みなさんおはようございます。日本測量協会の矢口です。

このG空間EXPOは、地理空間情報活用推進基本法が成立したのがきっかけになって始まったわけですが、産学官様々な分野の方々が協力して“地理空間情報の活用をよりいっそうすすめよう！”ということで日本はもちろん世界の未来をつつていこうという非常に志の高い催しであると思っています。

私は、日本測量協会に所属しています。

測量というものは、地理空間情報という言葉がでてくるずっと前からいってみれば人間社会がはじまった時から、土地の争いなどはすぐ起きたと思いますから、そのころからもうある技術というか、科学だと思います。

だから考えてみれば測量というのは、地理空間情報をまさににつくったり処理したり、それ以外のなにものでもないわけです。だけれどこの地理空間情報という新しい言葉が登場したことで測量というものの考えがだいぶ変わったと思います。

それまでは、やはりデータをつかって、提供するという狭い範囲のことを考えていたと思うんですけど、この言葉ができて、データを利用して様々なサービスを提供する、そういうところまで広がった世界が見えてきましたので、測量をやっている方々の視野が大きくひろがったのではないかと思います。

そういうことで測量協会は、測量関係の他の主団体と一緒に、

この催しが始まった時から率先して参加して参りました。

今回も測量関係の4団体で地理空間情報フォーラムと銘打って地理空間情報の最新の技術とかサービスを見て、聞いて、触っていただくということでいろんな展示とかベンダーフォーラム。

イベント体験、それから講演会、セミナーといろんな形で催しものを企画していますので、ぜひ大勢の皆様にも見ていただきたいと思います。大いに見て楽しんでください。

それから先程、毛利さんもおっしゃってましたが、

これから担い手の問題がどの分野でも問題となるわけですがけれどもこれから活躍される女性技術者におおいに意気込みを語っていただくというシンポジウムも用意しています。

それからこれからの担い手である学生さんたちに斬新なアイデアをきそっていただくようなコンテスト、そんな企画もご用意させていただいておりますので、こちらのほうもぜひ参加ください。

この催しに、できるだけ多くのかたにきていただいて

来ていただいたおひとりおひとりに地理空間情報を楽しんで、

かつ新しいアイデアやヒントとかをつかんでいただければと願っております。

この催しは、本当に今日お集まりいただいた方々のご尽力で成り立っていると思っております。

ぜひ成功することを祈っております。

どうもありがとうございました。

# 開会挨拶

一般財団法人 衛星測位利用推進センター 理事長

## 岡部 篤行



皆様、おはようございます。

只今ご紹介いただきました衛星測位利用推進センター略称SPACの岡部でございます。

ここにお集まりの皆様はもう既にご存じのことかと思いますが、日本は2010年、準天頂衛星みちびきを打ち上げました。私共SPACではその衛星の利活用や新たな事業を目指す団体や企業の方々の活動を支援して参りました。その数今や330を越すようになりました。

この「G空間EXPO2015」にその多くの方々が参加されておりますが、このEXPOは、G空間社会の実現を目指し、産官学が協力してG空間情報と衛星測位の利活用を推進する場として企画されました。これを機会に、是非、最新鋭のG空間情報科学技術と、それによって段々みえてきましたG空間社会を是非、体験していただければと思います。大変盛り沢山の企画がなされておりますが、その3つばかりをご紹介いたしますと後ろの方でございます。展示場では、宇宙関係機関の方々が協力されて、「宇宙技術でG空間社会の未来を拓く」というテーマの基に、測位衛星、観測衛星の技術紹介とその実証例をご紹介しております。

また講演シンポジウムにおきましては、最新情報とその利活用適用例の16の講演が予定されております。

それから最後になりますが、正面入り口前の広場におきまして、本日午後、学生の皆様方も参加されまして、衛星測位によるロボットカーの実演がございます。現在、小雨が降っておりますが、午後には、天気が良くなるとの予報ですので、是非、足を運ばれてご覧になっていただければと思います。

2018年いよいよ準天頂衛星4機体制になります。その利活用、とりわけ期待されているのは、東京オリンピック・パラリンピックでございます。その実現に向けまして、関係省庁、自治体の方々が体制作り、それから実証実験を始めておられます。産業界の方々も地理空間情報を活用して、夢のある新しいビジネスの創生をはじめようとしております。また、最近、大変目覚ましい情報通信技術の進展、ビッグデータの技術活用によるIoT、いわばモノのネットワークですか、そういった技術を地理空間情報と融合して様々なサービスを育むような地理空間情報基盤が整備されつつあります。

この基盤を活用することにより、人とモノに優しい、そして安心・安全なG空間社会の実現がおおいに期待されているところであります。

東京オリンピック・パラリンピックでは、世界の方々が集う場において新鋭の“おもてなし”などを提供できるG空間社会の実現を目指して、新たな事業の創出が期待されています。私たちSPACも、このような社会への貢献と皆様の活動を精一杯推進して参りたいと思っております。

最後に、ご来場の皆様方のますますのご発展とこのEXPOが成功することを祈念いたしまして私のご挨拶と致します。どうもありがとうございました。

### **3. G空間EXPOメッセージゾーン**

# 実施概要

---

## ■ G空間EXPOメッセージゾーン

G空間EXPOメッセージゾーンにおいては、「G空間社会って何?」という疑問にお答えするため、G空間EXPOの導入部として、私たちの身近にあるG空間情報を利用している製品やサービス等を紹介するとともに、これらを支える仕組み等を分かりやすく説明しました。また、G空間社会を牽引する各界のプレーヤーや、多彩なゲストによるさまざまなステージプログラムや体験アクティビティを実施しました。

名 称	G空間EXPOメッセージゾーン
開 催 期 間	平成27年11月26日（木） 27日（金） 28日（土） 10:00-17:00
会 場	日本科学未来館 1F 企画展示ゾーンa・b

### テーマ展示

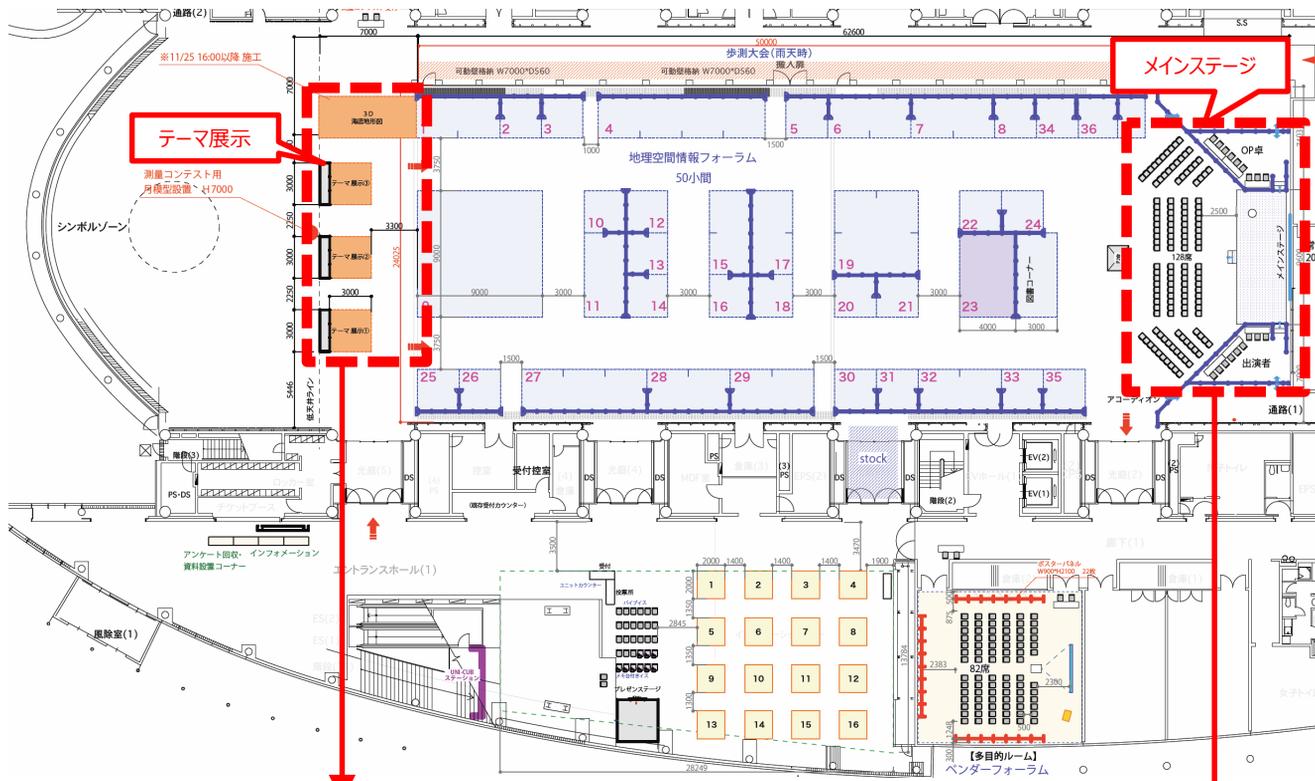
メッセージゾーン会場内に設けてある複数のテーマ展示エリアでは、各主催団体及び来場者の方々の興味をひくG空間に関連するコンテンツの展示を検討し、メッセージゾーンを中心に各イベントへの拡がりをもたせ、来場者の皆様には様々なG空間に関わる技術や製品等にふれていただきました。

### メインステージ

G空間社会を牽引する各界のプレーヤーや、多彩なゲストを招き、G空間社会を支える最先端技術や製品・サービス等を分かりやすく紹介するなど、さまざまなステージプログラムを実施します。また、日本科学未来館と連携し、Geo-Cosmosを利用した体験アクティビティや、メッセージゾーンを起点としたG空間EXPO会場全体を絡めた体験アクティビティについても検討します。また、G空間EXPOの開幕にあたり、各主催者・関係者代表者等が登壇し、開会式典を開催しました。

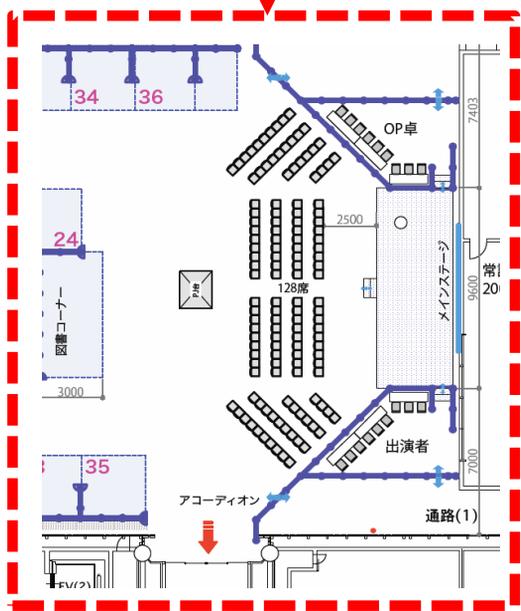
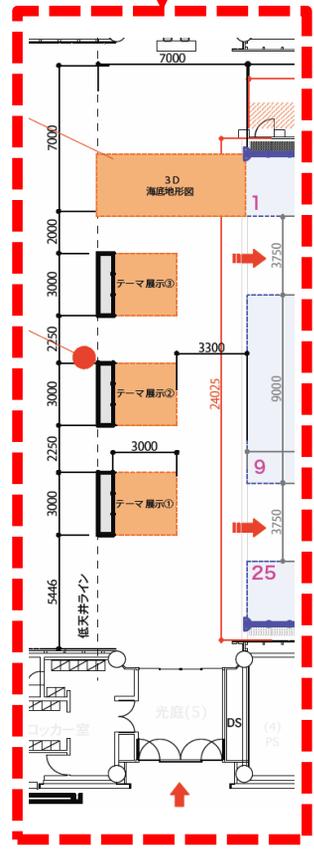
# 会場レイアウト

## [日本科学未来館 1F G空間EXPO2015全体レイアウト]



**テーマ展示**  
 測量コンテスト用  
 月機応設備、417000

**メインステージ**



# 総合インフォメーション

## ■ 総合インフォメーション

日本科学未来館入口の正面に、「総合インフォメーション」を設け、当日ガイドの配布や各種ご案内を行いました。また、来場者アンケートの配布・回収、メディアパートナーの資料の設置配布等を実施しました。

(運営要項)

- 対 応 ス タ ッ フ 測量4団体、国土政策局、国土地理院、  
運営スタッフ2名（1名は英語対応可能スタッフを配置）
- 業 務 内 容
- 各所案内
    - G空間EXPOメッセージゾーン → 1F 企画展示ゾーンa.b
    - 地理空間情報フォーラム → 1F 企画展示ゾーンa.b
    - Geoアクティビティフェスタ → 1Fコミュニケーションロビー
    - Geoエデュケーションプログラム → 7F 会議室3（教育関係者向け・自治体関係者向け）
    - 講演・シンポジウム → 7F未来館ホール、イノベーションホール、会議室1、会議室2
  - アンケートのご案内
    - シンボルゾーンおよび総合インフォメーションにてアンケート用紙を配布  
アンケート用紙は総合インフォメーションにて回収
  - ノベルティの配布
    - アンケート回答者へのノベルティを配布  
→ アンケート回答者へのノベルティは、「G空間EXPOオリジナルメジャー」
  - メディアパートナー各社からの見本誌等の配布
  - 各種問い合わせ対応  
メディアからの問い合わせがあった場合は、トランシーバーにて「CNS中島」を呼び出し



# テーマ展示

## ■「G空間EXPO2015 屋内位置情報サービス実証実験」

NPO法人位置情報サービス研究機構(Lisra)協力のもと館内に設置するWi-FiやBLE Beacon、往来する人々の位置や行動を計測するヒューマントラッカーを利用して、来場者の分布図やG空間EXPOで移動した軌跡を見ることができコンテンツを実施いたしました。

(運営協力)

NPO法人位置情報サービス研究機構(Lisra)



## ■「フィットネスバイクによる仮想スタンプラリーシステム【うごスタ】」

うごスタとは、運動しながら、風景映像を觀賞しつつ、仮想的にスタンプラリーを行うシステム。うごスタでは、Google社のストリートビューや、独自に撮影した風景映像が、健康器具を使って行う運動に合わせて描写されるので、世界各地の景観や地形を楽しみながら、チェックポイントを巡り、スタンプを収集することが可能。G空間EXPO2015では、フィットネスバイクを用いた実機を展示しました。

(運営協力)

近畿大学理工学部情報学科准教授 溝渕 昭二 氏



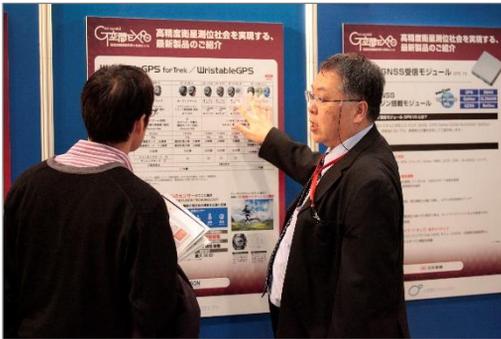
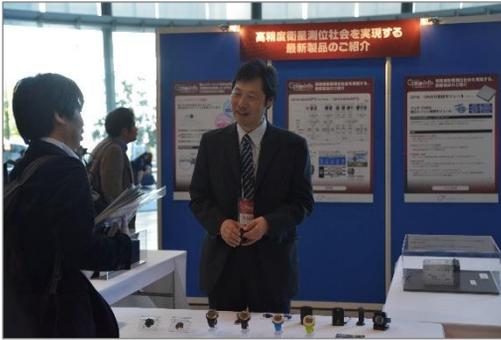
# テーマ展示

## ■「高精度衛星測位社会を実現する、最新製品のご紹介」

今後、市場の拡大が見られる「準天頂衛星サービス搭載製品」。G空間EXPOでは、準天頂衛星の信号を受信できるデバイスを展開されている企業さんによる製品の展示を行いました。

(運営協力)

セイコーエプソン株式会社 / 日本無線株式会社

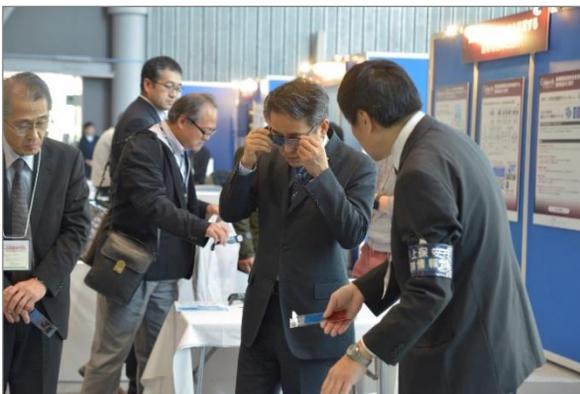


## ■「3D海底地形図」

測量船に搭載された最新技術のマルチビーム音響観測深機や画像処理を駆使して作成された日本を取り巻く海の海底地形を展示いたしました。

(運営協力)

海上保安庁



# テーマ展示

## ■「スポーツ×G空間 未来スーパー陸上体験」

RTK GNSSという、誤差数cmの高精度位置測位技術をスポーツに応用することで、これまでにない未来のトレーニング手法の開発や、位置データを用いた新たなスポーツの楽しみ方など、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けたスポーツ×G空間の融合を体験して頂きました。

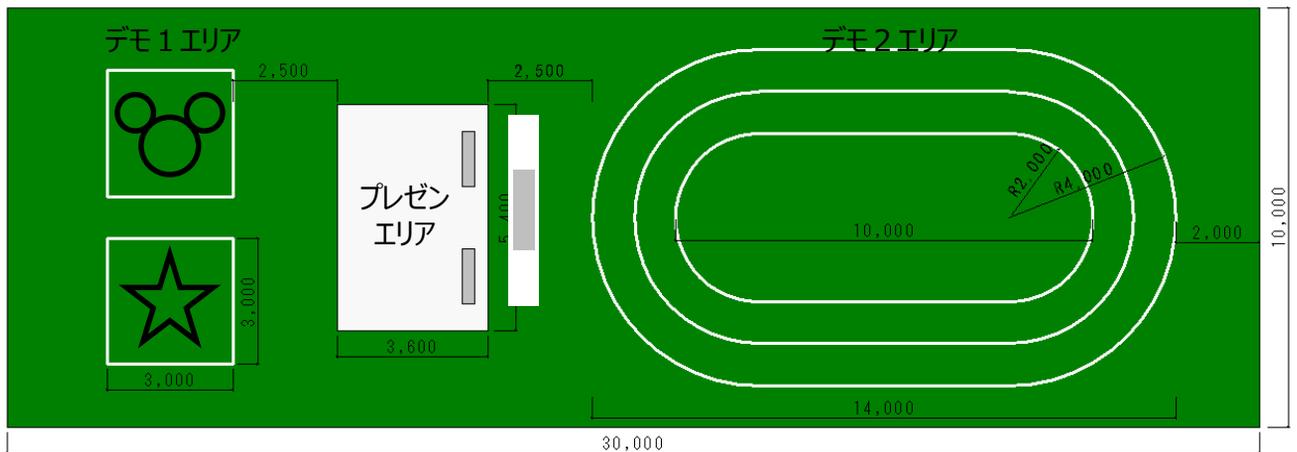
(運営協力)

神武 直彦 氏 (慶應義塾大学大学院SDM研究科准教授/スポーツデザイン・マネジメントラボ代表授)

久保 信明 氏 (東京海洋大学 情報通信工学研究室)

佐藤 章博 氏 (慶應義塾大学大学院SDM研究科博士課程)

高橋 純一 氏 (慶應義塾大学大学院SDM研究所研究員)



# メインステージ

## ■ ニッポンの未来が見える。G空間社会の最新動向

G空間EXPO2015のオープニングステージとして、主催者である日本未来科学館 科学コミュニケーターの進行のもと、東京大学 柴崎教授によりG空間社会の最新動向や、G空間EXPO2015の見どころなどについてお話いただきました。

(日時) 11月26日 (木) 10:50-11:40

(出演者)

東京大学 空間情報科学研究センター 教授 柴崎 亮介 氏

日本科学未来館 科学コミュニケーター 小沢 淳 氏



## ■ 電子国土賞 表彰式

国土地理院では、国土地理院が提供・配信しているデータを活用したGISソフトウェアやGISコンテンツの中から、優れたものを表彰する『電子国土賞』を創設しています。今年度も、『電子国土賞2015』として表彰式を行いました。

(日時)

11月26日 (木) 12:10~12:40



# メインステージ

## ■ G空間におけるIoTの未来～BLE・iBeaconとIoTプラットフォーム～

次代の技術として注目されているIOTについて、IoTプラットフォームの展開と、IOTの入口ともいえるiBeaconの活用事例をご紹介いただき、地理空間情報の観点を交えつつ、IOTの描く私たちの未来社会について議論していただきました。

(日時) 11月26日(木) 12:50～13:40

(出演者)

gコンテンツ流通推進協議会 一般財団法人JIPDEC 電子情報活用研究部 常務理事 坂下 哲也 氏  
ソフトバンク株式会社 法人事業開発本部 デジタルマーケティング事業統括部 統括部長 藤平 大輔 氏  
ヤフー株式会社 スマートデバイス推進本部アプリ開発室 室長 椎野 孝弘 氏



## ■ 屋内位置情報サービスとIoTの未来が見える！ ～G空間EXPO2015における実証実験ご紹介～

G空間EXPO内で行う屋内位置情報測位実証実験について解説を行っていただくとともに、最先端ロケーションサービスの動向についてお話しいただきました。

(日時) 11月26日(木) 13:50～14:40

(出演者)

NPO法人位置情報サービス研究機構(Lisra) 代表理事 / 名古屋大学未来社会創造機構 教授 河口 信夫 氏  
シスコシステムズ合同会社 ソリューション・アーキテクト、エバンジェリスト 小野寺 好広 氏  
クワジット株式会社 取締役CTO 特定非営利活動法人 位置情報サービス研究機構 理事 塩野崎 敦 氏  
株式会社ソコム 共同創業者 CTO 安川 健太 氏



# メインステージ

## ■ 海上と海中における地理空間情報取得の実態について

普段知ることの出来ない「海洋」における観測の実情を、2015年10月放送開始のドラマ「海に降る」の舞台ともなっているJAMSTECから、多種観測機器等を駆使して取得する様々な観測例を通してお話しいただきました。

(日時) 11月26日 (木) 14:50~15:40

(出演者)

国立研究開発法人海洋研究開発機構 地震津波海域観測研究開発センター  
海底地質・地球物理観測研究グループ 技術研究員 浅田 美穂 氏  
国立研究開発法人海洋研究開発機構 海底資源研究開発センター  
資源成因研究グループ グループリーダー代理 熊谷 英憲 氏



## ■ クルマとG空間の新たな関係 -自動運転の今とこれから-

自動運転における位置参照技術などの研究を行っている東京大学の中條覚特任准教授をモデレータに、自動運転を実現するための情報基盤として重要視されている「ダイナミックマップ」を研究されている名古屋大学の高田広章教授、そして実際に、2015年6月に愛知県とともに公道での自動運転の実証実験を行った加藤真平准教授をお招きし、自動運転のいまと未来やG空間社会との関わりについてお話しいただきました。

(日時) 11月26日 (木) 15:50~16:40

(出演者)

東京大学空間情報科学研究センター 特任准教授 中條 覚 氏  
名古屋大学 未来社会創造機構 教授 高田 広章 氏  
名古屋大学大学院 情報科学研究科 准教授 加藤 真平 氏



# メインステージ

## ■ 準天頂衛星による高精度測位社会の実現 - G空間社会の未来に向けて -

高精度衛星測位サービス創出に向けた利活用の展望について、230を超える企業団体から構成される「高精度衛星測位サービス利用促進協議会（QBIC）」の社会実証準備WGなどの事例をお話いただきました。

(日時) 11月27日（金）10:50～11:40

(出演者)

一般財団法人 衛星測位利用推進センター 第一事業部 副事業部長

高精度衛星測位利用促進協議会 社会実証準備WGリーダー 松岡 繁 氏

東日本高速道路（株）（NEXCO東日本）北海道支社 技術部 技術企画課長 杉崎 幸樹 氏

金沢工業大学 環境・建築学部環境土木工学科 教授 徳永 光晴 氏

株式会社ジェノバ 経営企画室 次長 鶴飼 尚弘 氏

株式会社NTTデータ 第一公共事業本部 e-コミュニティ事業部 部長

高精度衛星測位利用促進協議会 海外展開WGリーダー 磯 尚樹 氏



## ■ OMOTENASHI APPにより獲得する訪日外国人の属性情報と V2Xユニットにより獲得する測位情報それぞれの活用について

一般社団法人ゲートウェイアップジャパンは11の分科会と分科会内の複数のタスクフォースにより、a. 訪日外国人に対する日本国内の観光情報、災害にかかわる情報の提供b. 在住外国人に対する災害情報の提供に関わるプロジェクトを展開してきています。

情報の提供には、情報の確からしさを担保するだけでなく、情報伝達経路の確保も必要であり、Wi-Fiサービス提供事業者さんとの連携、CATV事業者さんとの連携、自治体さんとの連携もあわせ進めてきていますが、その中でも情報伝達経路冗長化を担保するための最重要制作が、本田技研グローバルテレマティクス部の開発したV2Xユニットによるネットワークとの連携です。

本講演においては、これらの仕組みによりどのような情報を獲得するのかといった情報獲得の方法と獲得した情報を今後どのように使っていかかという計画についてお話いただきました。

(日時) 11月27日（金）11:50～12:40

(出演者) 一般社団法人 ゲートウェイアップジャパン 事務局長 小松崎 道夫 氏



# メインステージ

## ■ G空間×ICTが産業と地域を変える ～雇用とイノベーションの創出を目指して～

G空間情報技術を活用したベンチャー企業に対する資金調達のニュースが流れているように、海外でもこの分野は注目の分野です。IoTの潮流等とあわせて、直近のイノベーションに関する話題を紹介するとともに、国内の地方でG空間を使って仕事を生み出す取組についてもご紹介いただきました。

(日時) 11月27日(金) 12:50～13:40

(出演者)

野村総合研究所 社会システムコンサルティング部 コンサルタント 丸田 哲也 氏



## ■ 屋内測位技術の最新動向 ～PDRの活用が鍵に～

近年、様々な屋内測位技術が登場してきました。今回のG空間EXPOでも実証実験を進めていますが、特に歩行者自律測位 (PDR)と呼ばれる技術が注目されています。

PDRを使うことにより、ビーコンなどにより点の測位の間を結び、より精密な屋内測位の実現が期待できます。このステージでは、PDRの先端的な事例をご紹介しました。

(日時) 11月27日(金) 13:50～14:40

(出演者)

NPO法人位置情報サービス研究機構(Lisra) 代表理事 / 名古屋大学未来社会創造機構 教授 河口 信夫 氏

株式会社リコー リコーICT研究所 システム研究センター 所属 松下 裕介 氏

株式会社KDDI研究所 データマイニング応用グループ 研究主査 上坂 大輔 氏



# メインステージ

## ■ G空間情報およびGISの利用促進について ～空間的思考力を育てる学校でのG空間教育とは～

g-Womanメンバーの中で課題の一つに挙げたのが教育分野へのG空間情報およびGISの利用促進でした。本パネルディスカッションでは注目されているアクティブラーニングへの活用や海外での先進事例の紹介等も交え、これからのGIS教育についてお話しいただきました。

(日時) 11月27日 (金) 14:50～15:40

(出演者)

文部科学省 教科書調査官 (地理・地図担当) 高橋 洋子

首都大学東京 都市環境科学研究科 教授 都市システム科学域 伊藤 史子 氏

ESRIジャパン株式会社 コンサルティングサービスグループ 課長 町田 由美 氏

株式会社NTTデータ 公共システム事業本部 e-コミュニティ事業部 第三開発担当 課長 宮崎 早苗 氏

株式会社ゼンリン 第二事業本部 ICT事業部 ICT営業二部 営業二課 小山 妙 氏

GITA-JAPAN 長谷川 千津子 氏



## ■ ドローンの最新技術と将来展望

民生用ドローンが出現してまだ十数年しか経っていないがその進化は著しく、様々な分野で利活用されるようになってきた。いわゆる空の産業革命時代前夜の様相である。本講演では最新のドローン技術の紹介、応用、そして、未来についてお話しいただきました。

(日時) 11月27日 (金) 15:50～16:40

(出演者)

千葉大学 特別教授 / 株式会社自律制御システム研究所 代表取締役 野波 健蔵 氏



# メインステージ

## ■ G空間社会を支える宇宙技術 ～準天頂衛星初号機「みちびき」～

G空間社会を支えるインフラとして重要な役割を担う日本の宇宙技術について、ロケットの打ち上げや人工衛星のしくみ、準天頂衛星「みちびき」の役割などについて、JAXA担当者よりお話しいただきました。

(日時) 11月28日(土) 10:50～11:40

(出演者)

JAXA 第一宇宙技術部門 衛星測位システム技術ユニット 主任開発員 岸本 統久 氏

JAXA 第一宇宙技術部門 衛星測位システム技術ユニット 開発員 河手 香織 氏

宇宙飛行士 山崎 直子 氏



## ■ Geoアクティビティフェスタ 表彰式

Geoアクティビティフェスタにおいて、優秀な作品展示およびプレゼンテーションを行ったプレゼンターに表彰を行いました。

(日時) 11月28日(土) 11:50～12:20



# メインステージ

## ■ もっと便利に。もっと楽しく！ 位置情報でライフスタイルを変えよう会議

ライフハッカー[日本版]の編集長である米田氏に位置情報を利用したサービスを紹介してもらうとともにサービス開発者や利用者をステージにお招きし、わたしたちのライフスタイルに密接に関係している位置情報に関するディスカッションを行いました。

(日時) 11月28日(土) 12:30~13:20

(出演者)

株式会社メディアジーン 執行役員 / ライフハッカー[日本版] 編集長 米田 智彦 氏

青山学院大学 地球社会共生学部 教授 古橋 大地 氏

eスポーツプロデューサー / エウレカコンピューター株式会社取締役 犬飼 博士 氏



## ■ ウェアラブルデバイスで革命を起こす、未来のスポーツ

今年も数多くのウォッチ型やグラス型のデバイスが発売され、勢いが止まらないウェアラブル市場。そんな市場の中で今注目を浴びているのが、スポーツに特化したデバイスであろう。本ステージでは、10月の大阪マラソン、11月の神戸マラソンと実際にデバイスを装着して走られる、神戸大学の塚本教授をお招きし、ウェアラブルデバイスを活用した未来のスポーツについてお話しいただきました。

(日時) 11月28日(土) 13:30~14:20

(出演者)

神戸大学大学院 工学研究科 教授 / NPOウェアラブルコンピュータ研究開発機構 理事長 塚本 昌彦 氏



# メインステージ

## ■ 第4回位置モノ ガジェット&アプリ大賞

G空間EXPOでは毎回恒例となっている角川アスキー総合研究所 遠藤氏による、「位置モノ ガジェット&アプリ大賞」の第4回を開催。スマートフォンの急速的な普及によって生まれた、最新の位置モノ ガジェット&アプリを独自の視点から紹介いただきました。

(日時) 11月28日 (土) 14:30~15:20

(出演者) 角川アスキー総合研究所 取締役 主席研究員 遠藤 諭 氏



## ■ スポーツ×G空間 ～データサイエンスによるスポーツ革命～

現在すでに行われている“スポーツ×データ”に関する取り組みやスポーツとG空間が組み合わさるとどうなるか、また今後の“スポーツ×G空間”の展望についてお話しいただきました。

(日時) 11月28日 (土) 15:30~16:20

(出演者)

慶應義塾大学 システムデザイン・マネジメント研究科 准教授 神武 直彦 氏

クワジット株式会社 代表取締役社長 兼 空実プロデューサー 末吉 隆彦 氏

CLIMB Factory 株式会社 代表取締役 馬淵 浩幸 氏



# メインステージ

---

## ■ 測量コンテスト 表彰式

G空間EXPO2015内で実施した測量コンテストの表彰式を行いました。

(日時) 11月28日(土) 16:30~16:50





## 4. 地理空間情報フォーラム

# 実施概要

## ■ 地理空間情報フォーラム

企業・団体・機関等の展示・体験イベント等により、日本のG空間社会を支える最先端の技術やサービス等を紹介しました。出展各者による高度で専門的な展示を通じ、G空間社会についてもっと知りたいといった一般の方々や、情報収集を目的としたビジネス層のニーズに対応しました。

名 称	G空間EXPOメッセージゾーン
開 催 期 間	平成27年11月26日（木） 27日（金） 28日（土） 10:00-17:00
会 場	日本科学未来館 1F企画展示ゾーンa・b 体験イベント：館内・屋外 ベンダーフォーラム：多目的ルームa・b

### 展示会

G空間社会（地理空間情報高度活用社会）に関わる基盤技術、応用技術、機器やシステム、ソフトウェア、データ、器具・材料、サービスが、産学官連携により一堂に会する科学技術展示を実施しました。

### ベンダーフォーラム

ベンダーフォーラム（技術説明会）は、出展者他が技術や製品・サービスの専門的な詳しい内容の説明を実施しました。

### 体験イベント

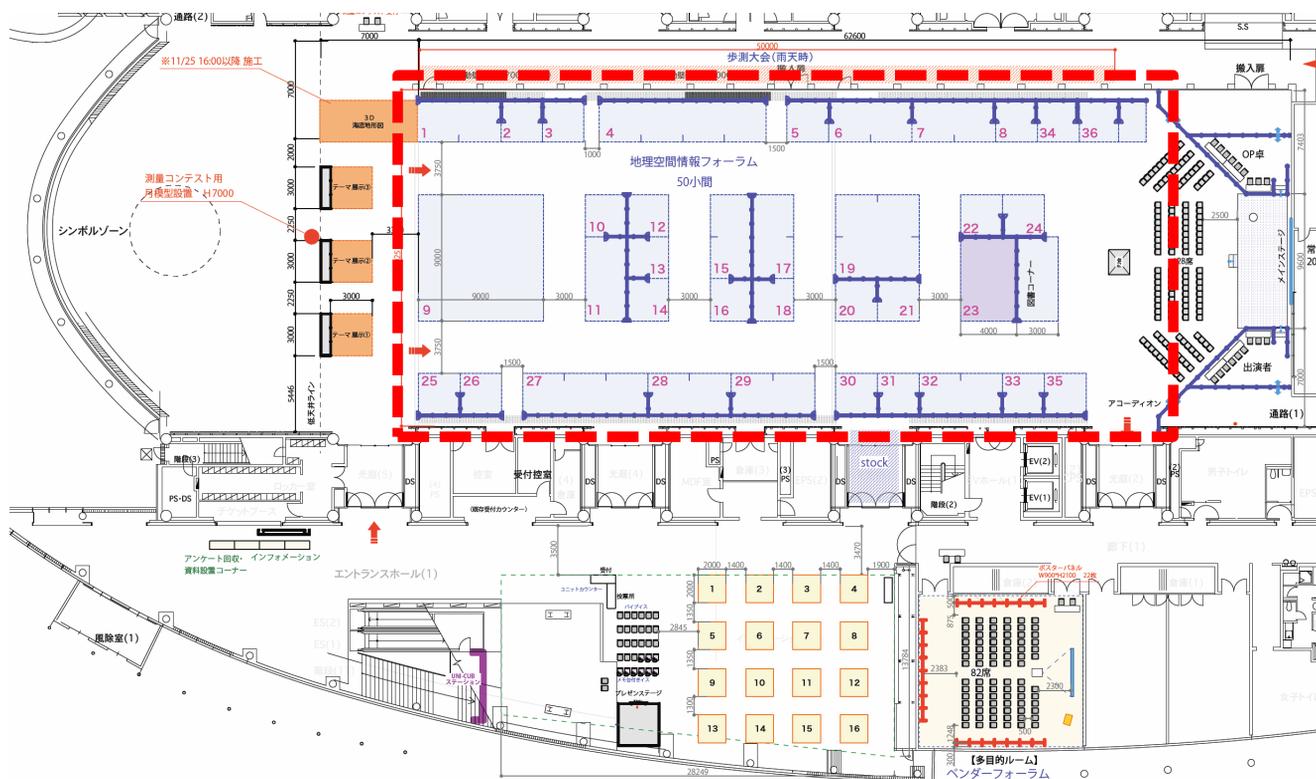
- ・測量コンテスト / 公益社団法人日本測量協会
- ・人工衛星クイズ / 国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構
- ・端末やタブレットによる操作体験 / 総務省統計局・独立行政法人 統計センター
- ・超簡単Photog・CADモデリング体験 / 一般社団法人 日本建設情報統合センター
- ・3DレーザースキャナーデータでAR体験 / リーグルジャパン株式会社
- ・ヘッドマウントディスプレイを利用し、走行映像を体験 / 朝日航洋株式会社
- ・高解像度でVR環境を体験 / 国立研究開発法人 産業技術総合研究所
- ・UAVに触れて体験 / 株式会社快適空間FC
- ・災害情報利活用システムを携帯端末用アプリ等の操作を体験 / 国立研究開発法人防災科学技術研究所
- ・距離を測る体験「歩測大会」 / 公益社団法人日本測量協会
- ・「測量船」一般公開 / 海上保安庁

### 学生フォーラム

今年もG空間EXPOに合わせて、学生フォーラム2015を開催いたしました。学生フォーラムとは、地理情報分野のボトムアップを目的とした学生による学生のための学術交流の場です。学生が普段行なっている研究をポスター発表しました。

# 会場レイアウト

## [日本科学未来館 1F G空間EXPO2015全体レイアウト]



## [日本科学未来館 1F 地理空間情報フォーラム 出展者一覧]

出展者一覧		8	21
		(一財) 日本建設情報総合センター	ESRIジャパン (株)
		内閣府宇宙戦略室	国土交通省国土政策局
		準天頂衛星システムサービス (株)	国立研究開発法人 産業技術総合研究所
1	(株) 日立製作所 (株) 日立ソリューションズ (株) 日立産機システム	9 経済産業省 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構	24 (株) 快適空間FC
2	(株) GISupply	(一財) 衛星測位利用推進センター	25 (株) コア
3	(株) インフォマティクス	10 サイトセンシング (株)	26 国土交通省/高精度測位社会プロジェクト
4	三菱電機 (株) アイサンテクノロジー (株)	11 (株) パスコ	27 国立研究開発法人 防災科学技術研究所
5	総務省統計局 独立行政法人統計センター	12 (株) イメージワン	28 経済産業省 (一財) 日本情報経済社会推進協会
6	総務省 国立研究開発法人情報通信研究機構 東京大学	13 パックスインターナショナル	29 国土地理院
	(株) 日立製作所	14 リーグルジャパン (株)	30 国立研究開発法人 国立環境研究所
7	(株) 岩根研究所	15 アジア航測 (株)	31 (公社) 日本測量協会
		16 (株) アスコ	32 国際航業 (株)
		17 (一社) 日本測量機器工業会	33 日本スペースイメージング (株)
		18 朝日航洋 (株)	34 (公財) 日本測量調査技術協会
		19 三菱電機 (株)	35 (株) エムティーアイ
		20 (株) ゼンリン	36 測位衛星技術 (株)

# 展示会

## 1.株式会社 日立製作所 / 株式会社 日立産機システム / 株式会社 日立ソリューションズ

日立グループでは、“G空間”を社会インフラの一つと捉え、屋内外での測位・地図・分析に関する技術やノウハウを活用しG空間情報の利活用ビジネスを推進しております。また、人やモノの位置を把握することで状況を可視化でき、様々な課題解決の糸口を見つけることができると考えております。

本展示では、日立グループのG空間関連の製品、ソリューションを紹介いたしました。



## 2.株式会社GISupply

3G通信を利用したGPSトラッカーによるリアルタイム位置情報サービス及び小型GNSSロガーの展示を行いました。GPSトラッカーとはGPSで取得した位置情報をモバイルデータ通信で送信し、インターネットに接続したタブレット、PC、スマートフォンなどでその位置情報を表示閲覧できる端末です。端末回収後、後処理で軌跡を表示するのではなく、リアルタイムに近い形でトラッカー携帯者、車両、機材の位置情報を表示することができます。加えて、Bluetooth対応小型GNSSロガーも展示しました。



## 3.株式会社インフォマティクス

インフォマティクスは空間情報システムのパイオニア的存在として、GISソフトウェア「SIS」をはじめ各種のシステム製品の販売とアプリケーション開発を行っています。本展示会では、特に地理院地図を利活用したソリューション他、クラウドサービスの紹介をしました。



# 展示会

## 4.三菱電機株式会社 / アイサンテクノロジー株式会社

三菱電機が開発した三菱モバイルマッピングシステム（MMS）は、車両の上部にカメラとレーザースキャナを搭載し、道路を走行するだけで、道路周辺の画像と、絶対精度10cm以内、相対精度1cmレベルの3次元点群データを収集することが出来ます。

MMSは公共測量を始め、近年では道路インフラの維持管理への利用が活発化されております。またITS業界においても、高精度ドライブシミュレータ用データ作成や、安全運転支援用の地図作成等の実績があり、活用フィールドは年々拡大しております。

昨年3月に国土交通省より公開された「新たな「国土のグランドデザイン」」にも登場するMMSと、併せて準天頂衛星関連サービスを紹介しました。



## 5.総務省統計局 / 独立行政法人 統計センター

総務省統計局、独立行政法人統計センターは、各府県等が公表する統計関係の情報を集約し、統計データの検索、地図表記、ダウンロード等の機能を備えた政府統計の総合窓口（e-Stat）を運用しており、地図で見る統計（統計GIS）では、統計データのグラフ表示、集計、印刷等の機能を備え、高度利用を可能とするデータ提供も行っています。

また、統計におけるオープンデータ高度化を目的として、ユーザーの保有データを取り込んで分析する機能や任意に指定したエリアにおける統計算出機能を備えた「地図による小地域分析（jSTAT MAP）」を構築し、e-Statから提供を開始しました。

本展示ブースでは、これらのGIS機能について、デモを交え紹介しました。



## 6.総務省

総務省では、G空間情報をICTにより高度に利活用することによって新たな付加価値創造と様々な課題解決をすることを目的に、「G空間×ICT」の取組を推進しています。今回の出展では、総務省の取組を中心に、G空間×ICTの最新技術を紹介しました。



# 展示会

## 7.株式会社岩根研究所

“映像がそのまま3D地図になる！”データ取得から応用まで一貫した映像ソリューションの紹介をしました。

高精度モバイルマッピングシステム DualCam IMS3  
画像計測ビュアALVシリーズ  
Web版高精細計測画像共有システム WebALP3.0

現在製品化中の画像認識技術+CV技術を紹介しました。



## 8.一般財団法人日本建設情報総合センター

JACICでは現場で発生する様々な課題の解決を支援できるよう幅広く研究開発を推進しています。今回は、Photog-CADとCIMの取り組みを紹介しました。

- 災害査定で活躍するコンデジによるお手軽デジタル写真測量システムPhotog-CAD
- 3Dモデルを中心にした国土交通省が推進するCIMと建設生産システムのダイナミクス



## 9.内閣府宇宙戦略室／準天頂衛星システムサービス（株）／経済産業省 国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構 / (一財)衛星測位利用推進センター

ゾーン展示「宇宙技術でG空間社会の未来を拓く」

地球を測る宇宙技術の紹介とともに、H-IIAロケット模型、各種衛星模型等を展示しました。

● **地球上の位置や形を測り、そこに正確に必要な情報をのせる**  
2018年に4機体制の運用が開始される準天頂衛星システムが、提供するサービスの概要、軌道モデル、観光・防災等、様々な民間利用実証例を紹介します。また、産業界として利用拡大を考える高精度衛星測位サービス利用促進協議会（QBIC）等の活動についても紹介しました。

● **地球の営みを監視する**

地球観測衛星等を利用し、種々の高解像度衛星画像を撮り、それを地球の安全、人類の安全・安心、豊かな生活を営むために利用する技術等を紹介しました。



# 展示会

## 10. サイトセンシング (株)



## 11. 株式会社パスコ

3次元データで表現した現実社会は、自動走行や災害対策、文化財など、さまざまな分野で利用されています。本展示会では3次元空間情報を分かりやすく動画にて紹介しました。



## 12. 株式会社 イメージワン

当社ではドローンで空撮した画像のみならず、航空機や地上等にて撮影した写真から点群データ、3Dメッシュデータ、DXF形式のコンタ図、オルソモザイク画像を自動で生成すること出来る、スイスPix4D製自動オルソモザイク&3D処理ソフトウェア「Pix4Dmapper」の最新バージョンを展示しました。



# 展示会

## 13. パックス インターナショナル

DAT/EM System International 社はデジタル航空写真、地上写真、衛星写真等を使用して地図作成、オルソ画像、MMS地図作成等の多目的な用途達成の為に Summit Evolution, Landscape, Dgn Dwg Capture, MapEditor, Ortho+Mosaic, Contour Creator等の製品を開発しております、またサポートチームも迅速に対応する為に安心して活用できます。



## 14. リーグルジャパン株式会社

### 地上型3Dレーザースキャナー

- 地上にレーザースキャナーを固定し、安全に離れた位置から非接触、ノンプリズムで大量点群データを取得します。従来の「単点」の測量ではなく、短時間に大量かつ「面」的な「3次元空間の座標」を取得する計測技術です。
- レーザースキャナーの実機を展示し、実際に計測の様子とデータがその場でご覧いただけます。また、様々な計測データのアニメーションを紹介しました。

### UAVレーザースキャニングシステム

- 小型のレーザースキャナーをUAVに搭載した最新の計測手法です。専用の大型マルチコプターとレーザースキャナーを展示しました。



## 15. アジア航測株式会社

アジア航測（株）ブースでは以下の展示を実施。

- 東京オリンピックに向けて変貌が予想される東京都心全域をシームレスに表現する「3次元都市モデル」
- 近年の気象変動により各地で頻発している風水害による被害を最小限にするために自治体に導入されている「ALANDIS災害情報システム」
- 車載型レーザ計測装置で取得した3次元都市モデルに既存図面から取得したライフライン情報を加えた「地下空間3次元モデル」
- TV番組で紹介されること多い高低差をわかりやすく表現できる「赤色立体地図」



# 展示会

## 16.株式会社アスコ

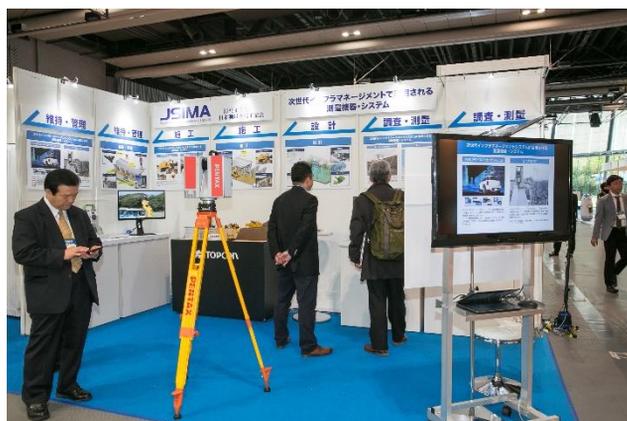
UAVは、特に迅速性や安全性を要求される災害地の調査、測量において有効な技術として活用されています。現在、UAVは施行段階を経て多くの調査、測量実績を得るまでになってきました。今年は、そのようなUAVの活動範囲の広がりについての紹介をしました。また、MMSについては従来のStreetMapperの性能を大きく超えたRoadScanner4の実機の展示もする予定です。本機は照射点数が数倍となり、さらにIMU（慣性航行装置）が従来の航空機用のものからモバイル専用に開発されたことにより、精度も格段に向上しています。



## 17. 一般社団法人 日本測量機器工業会

次世代インフラマネジメントシステムは、社会インフラのライフサイクル全般（調査、設計、施工、維持管理）に渡って蓄積された3次元データを基に、測位・観測技術、データ活用技術、センサー、ロボット等デバイス技術、非破壊検査技術などを連携活用することにより、インフラの維持管理の高度化、コスト縮減、安全・安心への高い信頼性を可能にします。このマネジメントシステムを支えるのが、測量機器・システムです。

今回は測量機器・システムが次世代インフラマネジメントシステムの中でどのように活用されているかをパネルやレーザースキャナー、UAV等の測量機器及びビデオを用い展示説明しました。



## 18.朝日航洋株式会社

測量技術を利用した道路や構造物の維持管理業務を支援する次世代システムを紹介しました。超高密度の点群データ取得※1と走行画像、GIS（地理情報システム）を連携させた、最新の道路・構造物の維持管理へのG空間情報の活用事例です。



# 展示会

## 19. 三菱電機株式会社

2018年度に4機体制となる準天頂衛星システムにより、新たな測位社会の時代が幕を開けます。三菱電機は、準天頂衛星から放送するセンチメートル級の測位情報を活用した高精度測位ソリューションの実現に向けた取組みを始めています。

三菱電機が内閣府宇宙戦略室様の元で製造を進める準天頂衛星、そのセンチメートル級の測位情報を取得する端末、高精度3次元地図の3つのコア・テクノロジーを組み合わせることにより、自動車分野における安全運転支援・自動走行や鉄道分野、IT農業分野、情報化施工分野など社会の様々なシーンに革新をもたらします。

今回の展示では、これらの当社取組みについて紹介しました。



## 20. 株式会社ゼンリン

ゼンリンは、詳細な地図情報と専用車両で計測したデータにより、現実の街を忠実に3Dモデル化した、『3D都市モデルデータ』を制作しています。

高精度な3Dモデルで再現された街と、最新のVRヘッドセットの組み合わせで、臨場感あふれるバーチャルリアリティが体験できます。

本年度のG空間EXPOでは、3Dモデルの活用事例の一つとして、災害発生時の浸水シミュレーションを紹介しました。



## 21. ESRIジャパン株式会社

GISの統合プラットフォーム「ArcGIS」が提供する最新3D GISソリューションを紹介しました。地形や建物を3D表現してリアルな景観を作成したり、3次元の空間解析処理を実行して景観シミュレーションを行ったり、作成した景観をWebに共有してさまざまなクライアントアプリ（デスクトップ、スマートデバイス、Webブラウザ）から閲覧できるなど、3D GISの有用性を最大限に活用できるプラットフォームとしてのArcGISを体感できる展示しました。



# 展示会

## 22.国土交通省

「G空間未来デザインプロジェクト」の紹介  
平成26年度、国土交通省事業として慶應義塾大学等は国や地方自治体が整備するG空間情報を活用し、住民や自治体関係者、エンジニア等の多様な方々の対話と共創によって地域の課題解決を目的としたサービスの創出を目指す「G空間未来デザインプロジェクト」を発足しました。今回は川崎市宮前区にて延べ500名の方が携帯アプリ等の創出に取り組みました。その成果を紹介し、アプリ概要の展示等も行いました。

ご紹介内容

- 本プロジェクトのプロセス（アイデアソン、ハッカソン、マーケソン）
- 本プロジェクトにより創出された9つのサービス



## 23.国立研究開発法人産業技術総合研究所

産総研で研究を進めている「位置」や「移動」に着目したG空間に関する研究開発事例を紹介しました。特に、  
（１）顧客行動調査などを目的とした全方位ディスプレイを用いたVR装置、（２）情報携帯端末・測位技術・クラウド技術を用いた視覚障害者の移動支援システム、  
（３）RGB-Dカメラを用いた人の流れの計測システム、（４）地図を作成しながら自律移動するロボット、  
（５）産総研ドライビングシミュレータ、（６）複数衛星の統合地球観測画像検索システム、（７）カメラの位置姿勢を計測するための高精度視覚マーカなど、基礎的な研究から応用的な研究まで幅広く紹介しました。



## 24.株式会社快適空間FC

### Inspire 1

パワフルかつ軽量、しなやかであり非常に安定したフライトを実現

### Phantom3 Standard

WI-FIが内蔵済みなので、DJI GO アプリからモバイルデバイスをPHANTOMに接続することが可能

### Spreading Wings S1000+

S1000のVタイプ・ミキサー設計は、今までよりも電源管理の効率を改善し、安定した推進力を提供



# 展示会

## 25. 株式会社コア

株式会社コアは8月3日、準天頂衛星 精密測位信号対応受信機「LEXデコーダ」の販売開始を発表しました。本製品は、準天頂衛星の精密補正情報を取得し解析いたします。本製品を利用することで、精密単独測位が可能になり測位精度を10センチメートル以下まで高めることが可能になります。測位精度が飛躍的に向上したことで、自動車・農機・建機などの自動化や、災害検知などを衛星測位情報のみで可能にし、これまで不可能とされていた様々な新分野への応用が可能な製品の紹介をしました。



## 26. 国土交通省 高精度測位社会プロジェクト

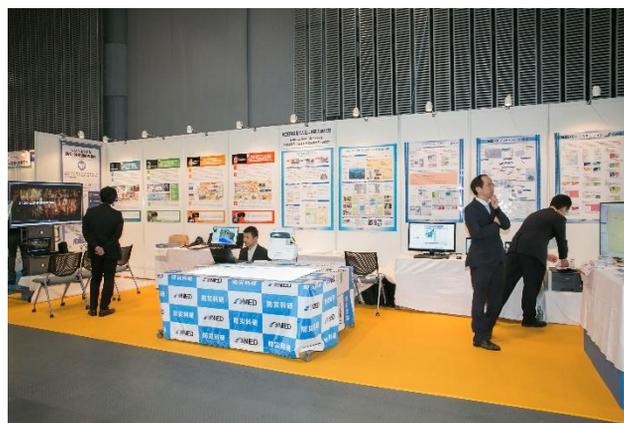
2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会までには、準天頂衛星4機体制の整備、屋内外測位環境

- 技術の進展、携帯情報端末の普及・高度化等により、高精度な測位環境が整備された社会（「高精度測位社会」）の実現が見込まれています。こうした未来の社会像を見据えつつ、世界に先駆けて屋内外電子地図や屋内測位環境等の空間情報インフラの整備
- 活用実証を通じたサービスの見える化、空間情報インフラの効率的・効果的な整備手法や継続的に維持・更新する体制の検討を行い、民間事業者等による多様なサービスが生まれやすい環境づくりを推進し、訪日外国人を含む誰もが円滑に移動・活動できるストレスフリー社会の構築を目指します。



## 27. 国立研究開発法人防災科学技術研究所

- 戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)で開発中の自治体向け「災害情報活用システム」等を紹介しました。このシステムは、地震、津波、豪雨等によるリアルタイム被害推定情報や各種被害情報を、自治体等が独自に保有する要援護者や避難所等の情報と統合処理することで、災害現場における対応フェーズの変化に応じた意思決定を効果的に支援するものです。
- 多様で不確実性の高い自然災害の危険性（ハザード）情報を提供するために、全国地震動予測地図2014年版とWeb上で閲覧できる「地震ハザードステーション J-SHIS」や携帯端末用アプリ等の紹介を行いました。



# 展示会

## 28.経済産業省

### オープンデータを活用したベンチャー事業化支援

国内外で活発化している「オープンデータ」について、経済産業省では、行政機関が保有する公共データを公開し、民間が保有するデータと合わせて利活用することで、既存サービスの高度化/新サービスの創出に寄与する環境の確立を目指しています。

今年度、石巻市と奈良市においては、地域課題解決を目的としたビジネス創出のモデル実証を実施しています。横浜市においては、継続的なビジネス創出のため、多様なプレイヤーのマッチングを行う目利き人材の発掘を実施しています。

本展示ブースでは、上記モデル実証の概要、及びツール類について紹介しました。



## 29.国土交通省国土地理院

国土地理院が提供している各種データを活用したGISソフトウェアやGISコンテンツの中から、特に優れたものを『電子国土賞』として表彰しています。『電子国土賞2015』の展示ブースでは、受賞者による作品の紹介を行いました。

### G空間社会に向けた国土地理院の役割

国土地理院は、国民が安全・安心・豊かな生活を営むことが出来るための環境整備として「G空間社会」の推進に取り組んでいます。

展示ブースでは、火山地域での取り組みをメインに「GNSS火山変動リモート観測装置（REGMOS）」、「火山の3D模型」などを身近に感じてもらうように、展示・映像などで紹介、さらに測量技術の海外展開への取り組みも紹介しました。

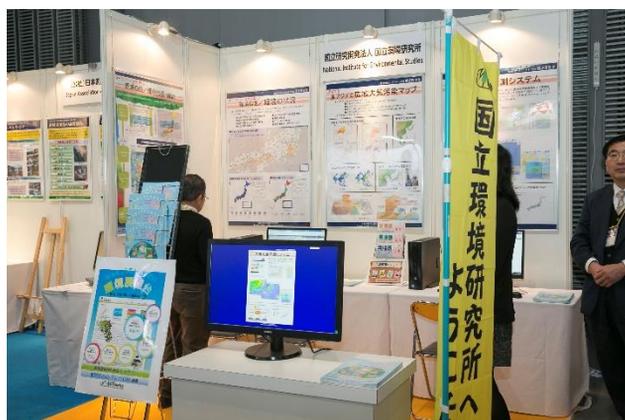


## 30.国立研究開発法人国立環境研究所

### 環境情報をわかりやすくご提供

国立研究開発法人国立環境研究所では、「環境展望台」(<http://tenbou.nies.go.jp/>)というWEBサイトを公開し、環境に関する情報をわかりやすく提供することに努めています。

今回は、そのコンテンツの一つである「環境GIS」について、解説パネルやPCを使って紹介しました。「環境GIS」では、日本国内における環境の状況（大気汚染や水質汚濁など）や環境指標・統計（人口分布シナリオなど）をはじめとする様々なデータをGIS技術により地図やグラフで表示し、わかりやすく提供しています。



# 展示会

## 31.公益社団法人 日本測量協会

公益社団法人日本測量協会測量技術センターが実施している測量機器・測量成果検定、調査、コンサルタント業務及び衛星測位情報の提供サービス等の事業について、パネル展示の形式で紹介しました。

120か国の測量者団体が参加する「国際測量者連盟（FIG）」の活動、特に世界の若い測量者が集う「青年測量者ネットワークの活動」について紹介しました。



## 32.国際航業株式会社

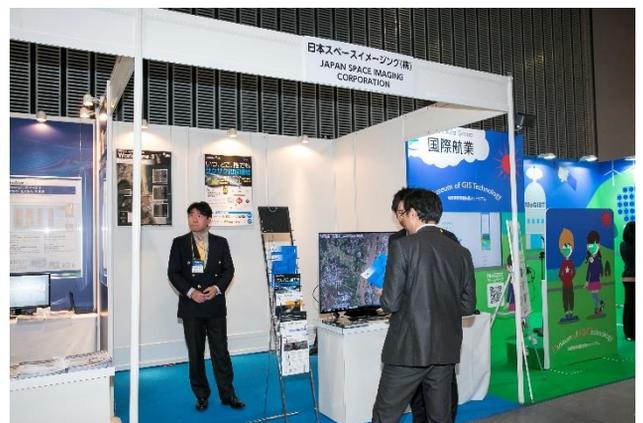
弊社ブースでは、地理空間情報技術のWEBミュージアムMoGIST（モジスト）～Museum of GIS technology～という新たにオープンしたサイトを紹介しました。地理空間情報技術に関わる多くの専門用語を、技術者が解りやすく解説したデータベースを軸に、様々な情W報を広くご紹介するサイトです。

また、3次元の計測技術を活用した地理空間情報と、ヘッドマウントディスプレイ等のスマートデバイスを融合したアプリをご体感いただきました



## 33.日本スペースイメージング株式会社

日本スペースイメージングは、地球観測衛星を利用者のニーズに合わせて最適運用し（撮影サービス）、画像作成・付加価値処理（衛星画像製品）、配信・解析（地理空間情報サービス）しています。これらの製品・サービスの組み合わせによって、費用対効果の高い、より身近な情報ソースとして地球観測衛星が普及するよう、利用のお手伝いをしています。本展示会では、衛星画像の紹介に加え、衛星画像の配信・解析を効率化する米PIXIA社の衛星画像データアクセスソリューション等の地理空間情報サービスの紹介もしました。



# 展示会

## 34.公益財団法人 日本測量調査技術協会

公益財団法人 日本測量調査技術協会の活動内容と先端測量技術の動向をパネルや書籍で紹介しました。当協会は内閣府より公益財団法人の認定を受け、測量調査技術の高度化研究とその普及活動、地理情報の国際標準化活動、地理情報標準の認定資格試験の開催、基本測量・公共測量成果の成果検定、災害時の緊急撮影等の公益目的事業を行っています。

- 1.当協会の紹介
- 2.先端測量技術の研究と普及
- 3.地理情報の標準化
- 4.地理情報標準認定資格
- 5.品質検定
- 6.災害時緊急撮影他



## 35. 株式会社エムティーアイ

### 世界最高レベルの精度を誇る屋内測位システム『SONICNAUT』

ソニックノートは、超音波ビーコンとスマートフォン及びスマートグラスを利用した測位誤算約30cmの屋内で使える高精度屋内測位システムです。製造現場（ものづくり）のムービングラインでの作業動線（導線解析）管理、物流倉庫のピッキング作業の効率化、プラントエンジニアリングなどの設備保全等のワークサンプリングを生産性管理データとして工場施設の可視化（見える化）実現します。また展示会ホールやスタジアム等の大人数が利用する大型イベント施設での利用に最適です。



## 36. 測位衛星技術株式会社



# 体験イベント

## ■ 測量コンテスト

3人一組のグループが、目標物の大きさ、又は距離を測り、2時間以内に報告書を提出してもらいました。

【主催】

公益社団法人日本測量協会



## ■ 人工衛星クイズ

「人工衛星クイズにチャレンジ～Dr.アースを目指そう」“地球の健康診断”の役割を果たしている人工衛星。実は、私たちの暮らしに身近な形で活用されています。モニターの前で身体を動かして、クイズに挑戦していただきました。

【実施者】

国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構



## ■ 端末やタブレットによる操作体験

端末による「地図で見る統計(統計GIS)」及び「地図による小地域分析(jSTAT MAP)」の操作とタブレットによる「マップDe統計」及び「アプリDe統計」の操作を体験していただきました。

【実施者】

総務省統計局・独立行政法人 統計センター



# 体験イベント

## ■ 超簡単Photog・CADモデリング体験

災害復旧業務で活躍するPhotog・CADを使ったスマホ・デジカメによる簡単写真計測 & モデリング体験コーナー、JACICクラウドサービスを体験していただきました。

【実施者】

一般社団法人 日本建設情報統合センター



## ■ 3DレーザースキャナーデータでAR体験

地上型3Dレーザースキャナーで計測されたデータを活用して、ARを体験していただきました。

【実施者】

リーグルジャパン株式会社



## ■ ヘッドマウントディスプレイを利用し、走行映像を体験

VRに特化したHMDを利用し、走行映像を体験していただきました。

【実施者】

朝日航洋株式会社



# 体験イベント

## ■ 高解像度でVR環境を体験

サービス提供現場を再現し、環境内の人の行動を計測・分析することで顧客行動調査などを行うことを目的としたサービス・フィールド・シミュレータ(SFS)を展示しました。

【実施者】

国立研究開発法人 産業技術総合研究所



## ■ UAVを触れて体験

UAVを手にとって体験いただきました。

【実施者】

株式会社快適空間FC



## ■ 災害情報利活用システムを携帯端末用アプリ等の操作を体験

自治体向け「災害情報利活用システム」、一般向け携帯端末用アプリ等の操作を体験することができます。また、水害対策を想定したシステム利用の説明ビデオを上映しました。

【実施者】

国立研究開発法人防災科学技術研究所



# その他

## ■ 距離を測る体験「歩測大会」



## ■ 「測量船」一般公開



# 測量コンテスト

## 【測量コンテスト参加チーム】

3人一組のグループが、目標物の大きさ、又は距離を測り、2時間以内に報告書を提出してもらいました。

No.	グループ名	学校名・企業名	参加部門
1	伏見エシビルクラブA	京都市立伏見工業高等学校	精密機器
2	伏見エシビルクラブB	京都市立伏見工業高等学校	精密機器
3	伏見エシビルクラブC	京都市立伏見工業高等学校	精密機器
4	伏見エシビルクラブD	京都市立伏見工業高等学校	精密機器
5	伏見エシビルクラブE	京都市立伏見工業高等学校	精密機器
6	伏見エシビルクラブF	京都市立伏見工業高等学校	自作機器
7	伏見エシビルクラブG	京都市立伏見工業高等学校	精密機器
8	夜も測量		精密機器
9	茶しばき隊		自作機器/精密機器
10	木更津工専 空間情報工学研究室	木更津工業高等専門学校	自作機器

## 【測量コンテスト受賞チーム】

賞	団体名	チーム名	参加部門
総合優勝	伏見工業高等学校	伏見エシビルクラブB	精密機器
敢闘賞	伏見工業高等学校	伏見エシビルクラブD	精密機器
アイデア賞	伏見工業高等学校	伏見エシビルクラブF	自作機器
特別賞	木更津工業高等専門学校	空間情報工学研究室	自作機器



総合優勝：伏見エシビルクラブB



敢闘賞：伏見エシビルクラブD



アイデア賞：伏見エシビルクラブF



特別賞：空間情報工学研究室

# ベンダーフォーラム

ベンダーフォーラム（技術説明会）は、出展者他が技術や製品・サービスの専門的な詳しい内容を説明しました。



<b>ベンダーフォーラム</b>		<b>11/27 金</b>	<b>10:45~16:30</b>	<b>多目的ルームa・b</b>
ベンダーフォーラム（技術説明会）は、出展者他が技術や製品・サービスの専門的な詳しい内容を説明します。				
11:30	11:30~12:00	高精度屋内測位の技術及び活用事例		
		(株) エムティーアイ		
12:00				
13:00	13:00~13:30	省電力型PDR計測モジュールによる新展開		
		サイトセンシング (株)		
14:00	13:45~14:15	森林調査用アプリ「Forest Trak」の開発		
		アジア航測 (株)		
15:00	14:30~15:00	準天頂衛星システムセンチメータ級測位補強サービスが拓く高精度位置情報利用		
		三菱電機 (株)		
16:00	15:15~15:45	(仮)地理空間情報ミュージアム MoGIST		
		国際航業 (株)		
16:30	16:00~16:30	高精度屋内測位の技術及び活用事例		
		(株) エムティーアイ		

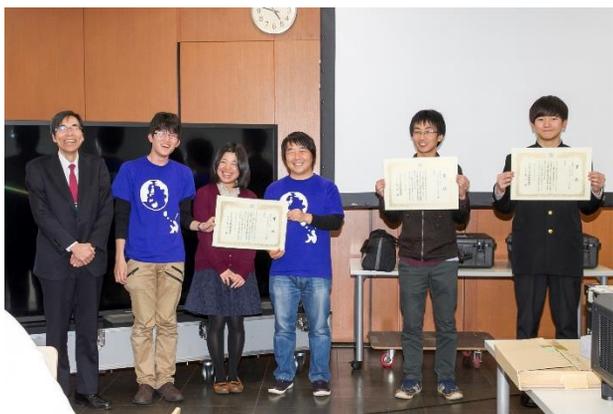
# 学生フォーラム

今年もG空間EXPOに合わせて、学生フォーラム2015を開催いたしました。学生フォーラムとは、地理情報分野のボトムアップを目的とした学生による学生のための学術交流の場です。学生が普段行なっている研究をポスター発表しました。

日 程 平成27年11月28日（土） 10:00-17:00

会 場 日本科学未来館 1F 多目的ルームa・b

プログラム 10:00-11:30 アイデアコンテスト(ワークショップ)その1  
12:30 アイデアコンテスト(ワークショップ)その2  
15:00 成果報告『4K-Live』『ICT トライアルコンクール@北陸』  
×「学生フォーラム@未来館」の4Kライブ中継  
16:20 修士・博士論文GIS利用の苦労話  
16:50 表彰式・閉会式





## 5. Geoアクティビティフェスタ

# 実施概要

## ■ Geoアクティビティフェスタ

G空間情報に関する独創的なアイデア、ユニークな製品、画期的な技術等を持つ中小・ベンチャー企業、大学関係者、NPO法人等による展示やプレゼンテーションの機会を提供し、関係者間の交流を促進しました。展示やプレゼンテーションを行うプレゼンターは一般公募し、選考の上決定しました。プレゼンターには、会場においてアイデアや製品等の展示やプレゼンテーションを行っていただきました。また、プレゼンテーションについては審査員による審査を行い、優秀な作品については表彰を行いました。

名 称	Geoアクティビティフェスタ
開催期間	平成27年11月26日（木）27日（金）28日（土） 10:00-17:00 （26日：展示 27日：展示・プレゼンテーション 28日：展示・収録放映・表彰式）
会場	展示：1階 コミュニケーションロビー プレゼンテーション：1階 コミュニケーションロビー 表彰式：1階 メインステージ

## プレゼン・展示内容

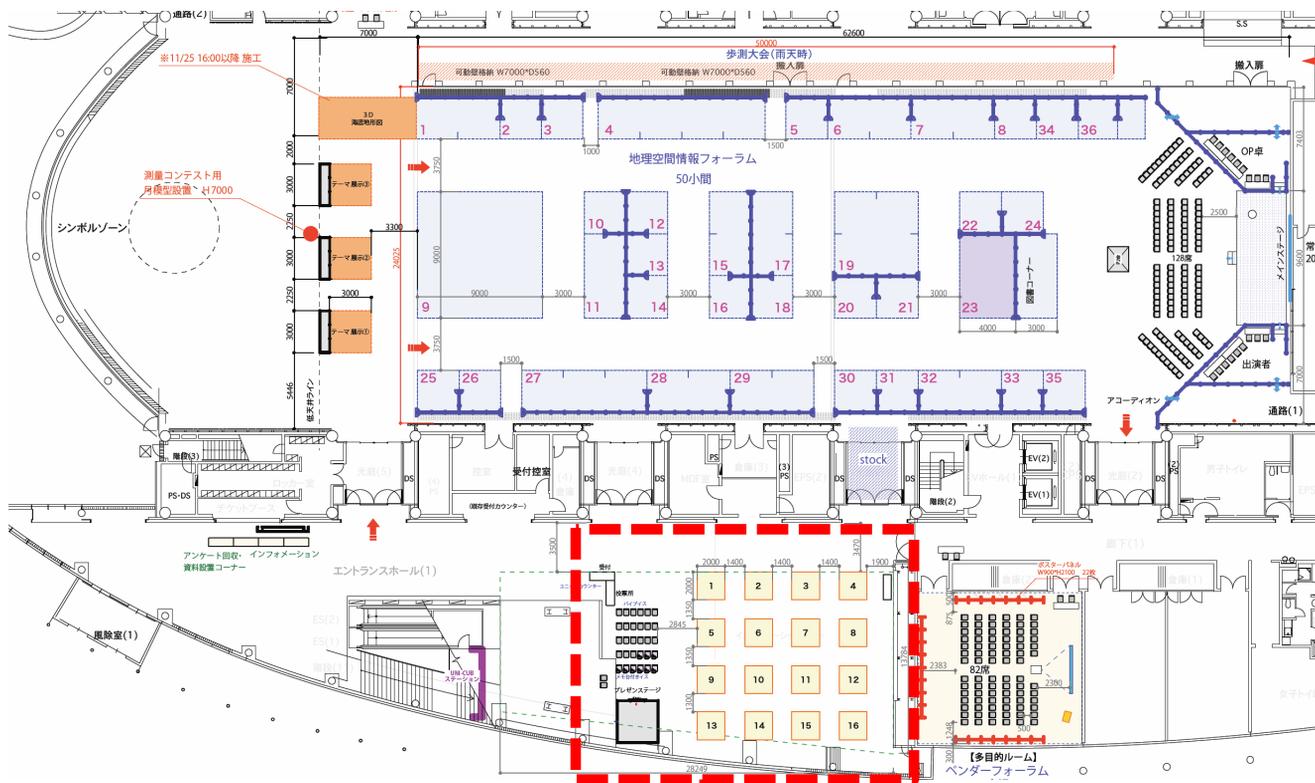
G空間情報を活用したアプリ、システム、機器、端末、サービス、技術、地図成果、研究成果、活用事例等を対象（既存のサービス、製品や、完成途中のものやアイデア段階のものも含む）

## 審査委員一覧 ※順不同、敬称略

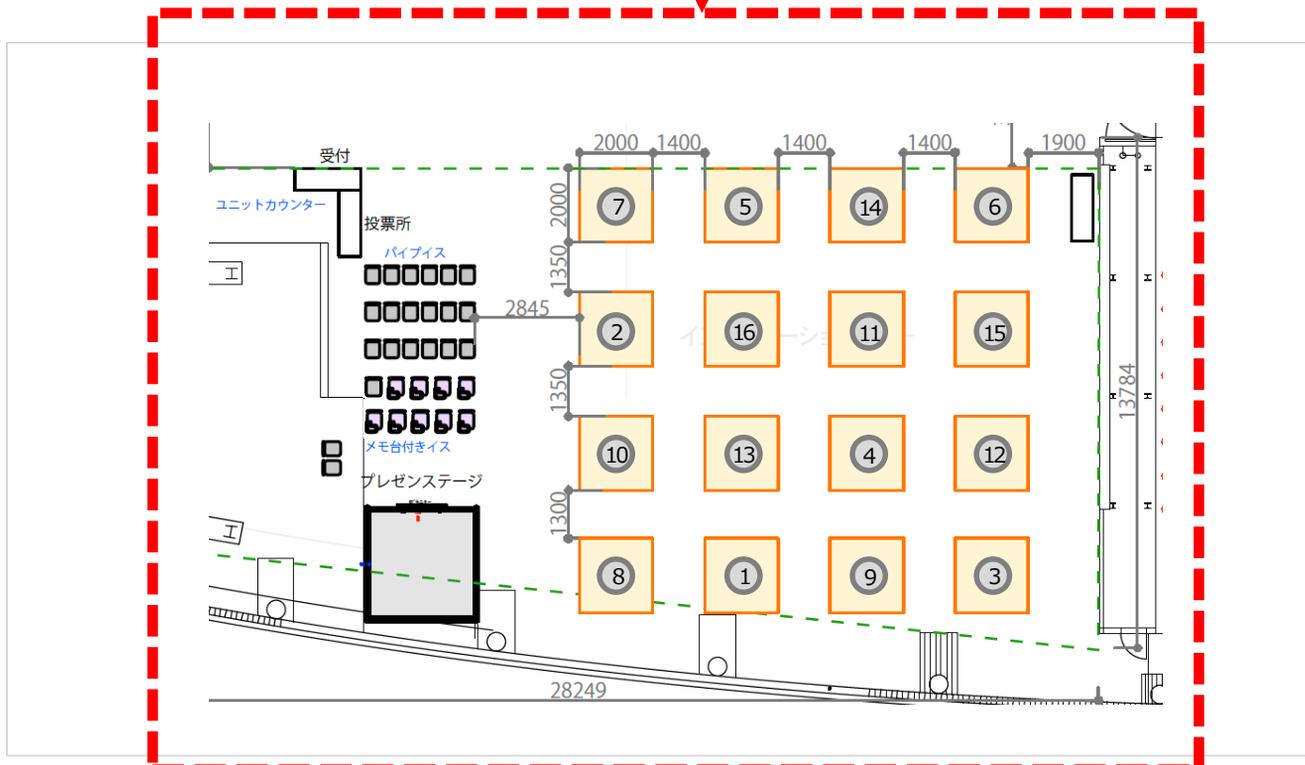
審査員		所属
委員長	小泉 俊雄	千葉工業大学 建築都市環境学科 教授
委員	関根 智子	日本大学 文理学部地理学科 教授
	坂下 哲也	JIPDEC 電子情報利活用研究部 常務理事
	津留 宏介	（公社）日本測量協会 空間情報技術部長
	尾関 憲一	（株）NHKエンタープライズ エグゼクティブ・プロデューサー
	片岡 義明	フリーランスライター
	松田 圭介	経済産業省 情報プロジェクト室長補佐
	宮元 康一	国土交通省国土情報課 地理空間情報活用推進官
	石関 隆幸	国土地理院 企画部 地理空間情報政策調整官

# 会場レイアウト

## [日本科学未来館 1F G空間EXPO2015全体レイアウト]



## [日本科学未来館 1F コミュニケーションロビー]



# 出展者一覧

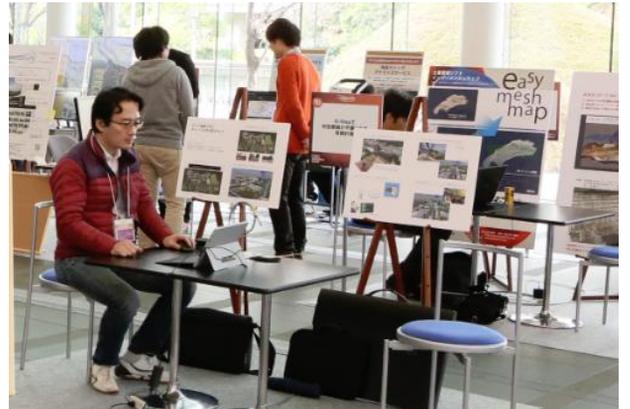
No	時間	発表作品名	プレゼンター名
	10:30～ 10:34	開会挨拶	
<b>第1ブロック (10:35開始11:52終了)</b>			
①	<b>10:35</b> ～ 10:47	地震クイックアナライズサービス	神庭 幸男 (株) ナレッジフォーサイト
②	10:48～ 11:00	ネットで確認できる キャンパス3次元防災マップ	愛知工業大学 中村研・小池研・山本研
③	11:01～ 11:13	官民連携の情報共有プラットフォームによる 職員参集システム	GIS大縮尺空間データ 官民共有化推進協議会
④	11:14～ 11:26	ご近所防災マップ	Code for SAITAMA 古田 武士
⑤	11:27～ 11:39	空き家管理調査システムふるさぼマップ	NPO法人ふるさと福井サポートセンター 北山 大志郎
⑥	11:40～ 11:52	スマートグラスを用いた現地調査・入力システム	株式会社デバイスワークス (代表：加賀屋 太郎)
<b>第2ブロック (13:00開始14:04終了)</b>			
⑦	<b>13:00</b> ～ 13:12	CanSat Mappingで拓く宇宙工学の未来	CanSat Mapping製作委員会 代表：平澤 遼
⑧	13:13～ 13:25	空間浮遊散歩 地球空間、宇宙空間の未来へ	G空間未来プロジェクト[公園へ行こう]チーム 竹内 久知、両角 佳代子、齋藤 浩一
⑨	13:26～ 13:38	立体模型で見るヒートアイランド東京 -五輪に向けて涼しい場所、緩和すべき場所を調べよう-	スカイマップ (株) 三田 友規、井上 覚
⑩	13:39～ 13:51	G-Mapで対空標識が不要になる写真計測	株式会社快適空間 F C 岡田 信一
⑪	13:52～ 14:04	地すべり現場での情報化施工のための ドローンによる地形測量	(株) アモーガイメージング (代表：花嶋 正昭)
<b>第3ブロック (14:15開始15:19終了)</b>			
⑫	<b>14:15</b> ～ 14:27	G空間情報によるニュースポーツ 「G空間トレイルランニング」	あおき地理情報システム研究所 青木 和人
⑬	14:28～ 14:40	空間にかかわるコンテンツを協創できる 擬似空間動画Webサービス 『MeLocatioN』	首都大学東京大学院観光科学域 MeLocatioNプロジェクト (代表：池田 拓生)
⑭	14:41～ 14:53	じじばウォッチ	チームじじばウォッチ 代表：菊地 映輝
⑮	14:54～ 15:06	だれでもガイド!	首都大学東京倉田研究室
⑯	15:07～ 15:19	位置情報 + 時間 = 思い出 ゲーム感覚の地域文化アーカイブプラットフォーム	株式会社トリトメ 西部 一英
	15:20～ 15:24	閉会挨拶	

# 展示ゾーン

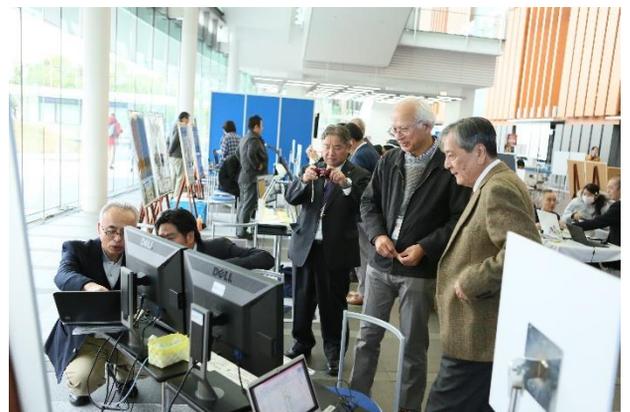
1. 発表作品名 地震クイックアナライズサービス  
プレゼンター名 株式会社ナレッジフォーサイト 神庭 幸男



2. 発表作品名 ネットで確認できるキャンパス3次元防災マップ<sup>®</sup>  
プレゼンター名 愛知工業大学 中村研・小池研・山本研

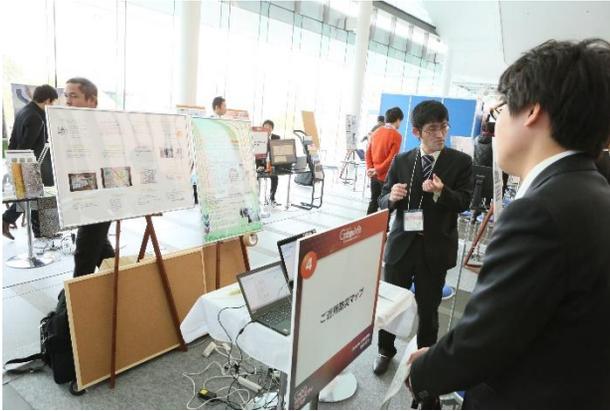


3. 発表作品名 官民連携の情報共有プラットフォームによる職員参集システム  
プレゼンター名 GIS大縮尺空間データ官民共有化推進協議会



# 展示ゾーン

4. 発表作品名                    近所防災マップ  
    プレゼンター名                Code for SAITAMA 古田 武士



5. 発表作品名                    空き家管理調査システムふるさぼマップ  
    プレゼンター名                NPO法人ふるさと福井サポートセンター 北山 大志郎



6. 発表作品名                    スマートグラスを用いた現地調査・入力システム  
    プレゼンター名                株式会社デバイスワークス（代表：加賀屋 太郎）



# 展示ゾーン

**7. 発表作品名** CanSat Mappingで拓く宇宙工学の未来  
**プレゼンター名** CanSat Mapping製作委員会 代表：平澤 遼



**8. 発表作品名** 空間浮遊散歩 地球空間、宇宙空間の未来へ  
**プレゼンター名** G空間未来プロジェクト[公園へ行こう]チーム  
竹内 久知、両角 佳代子、齋藤 浩一



**9. 発表作品名** 立体模型で見るヒートアイランド東京  
-五輪に向けて涼しい場所、緩和すべき場所を調べよう-  
**プレゼンター名** スカイマップ株式会社 三田 友規、井上 寛



# 展示ゾーン

10. 発表作品名                    G-Mapで対空標識が不要になる写真計測  
    プレゼンター名                株式会社快適空間 F C 岡田 信一



11. 発表作品名                    地すべり現場での情報化施工のためのドローンによる地形測量  
    プレゼンター名                株式会社アモーガイメージング (代表: 花嶋 正昭)



12. 発表作品名                    G空間情報によるニュースポーツ「G空間トレイルランニング」  
    プレゼンター名                あおき地理情報システム研究所 青木 和人



# 展示ゾーン

## 13. 発表作品名

空間にかかわるコンテンツを協創できる

擬似空間動画Webサービス『MeLocationN』

## プレゼンター名

首都大学東京大学院観光科学域 MeLocationNプロジェクト  
(代表：池田 拓生)

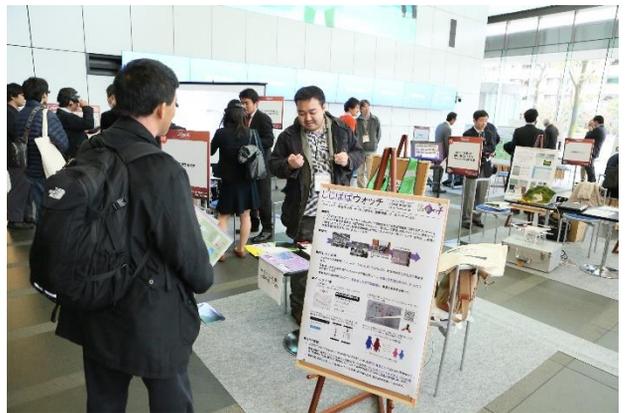


## 14. 発表作品名

じじばばウォッチ

## プレゼンター名

チームじじばばウォッチ 代表：菊地 映輝

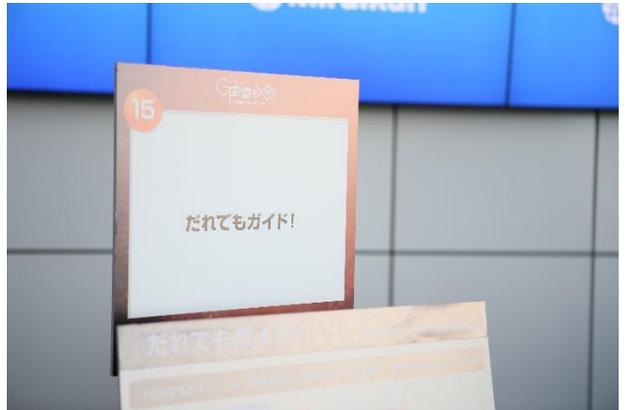


## 15. 発表作品名

だれでもガイド!

## プレゼンター名

首都大学東京倉田研究室



# 展示ゾーン

16. 発表作品名            位置情報 + 時間 = 思い出  
                                  ゲーム感覚の地域文化アーカイブプラットフォーム
- プレゼンター名        株式会社トリトメ 西部 一英



# Geoアクティビティフェスタ 表彰式

## 【受賞作品】

	展示作品名	プレゼンター
Geoアクティビティフェスタ 最優秀賞	だれでもガイド！	首都大学東京倉田研究室
Geoアクティビティフェスタ 優秀賞	空き家管理調査システムふるさぼマップ	NPO法人ふるさと福井サポートセンター 北山 大志郎 様
	位置情報 + 時間 = 思い出 ゲーム感覚の地域文化アーカイブプラットフォーム	株式会社トリトメ 西部 一英 様
Geoアクティビティフェスタ 奨励賞	官民連携の情報共有プラットフォームによる 職員参集システム	GIS大縮尺空間データ 官民共有化推進協議会
	じじばばウォッチ	チームじじばばウォッチ 代表：菊地 映輝 様
Geoアクティビティフェスタ 奨励賞（若手部門）	CanSat Mappingで拓く宇宙工学の未来	CanSat Mapping製作委員会 代表：平澤 遼 様
Geoアクティビティフェスタ 来場者賞	スマートグラスを用いた現地調査・入力システム	株式会社デバイスワークス （代表：加賀屋 太郎）

## 〔記録写真〕





## 6. GeoEデユケーションプログラム

# 実施概要

---

## ■ Geoエデュケーションプログラム

自治体職員及び教育関係者への研修等を実施しました。

また、来場した親子・児童生徒向けの体験イベントや、G空間EXPO会場内を巡るツアーなどを実施しました。

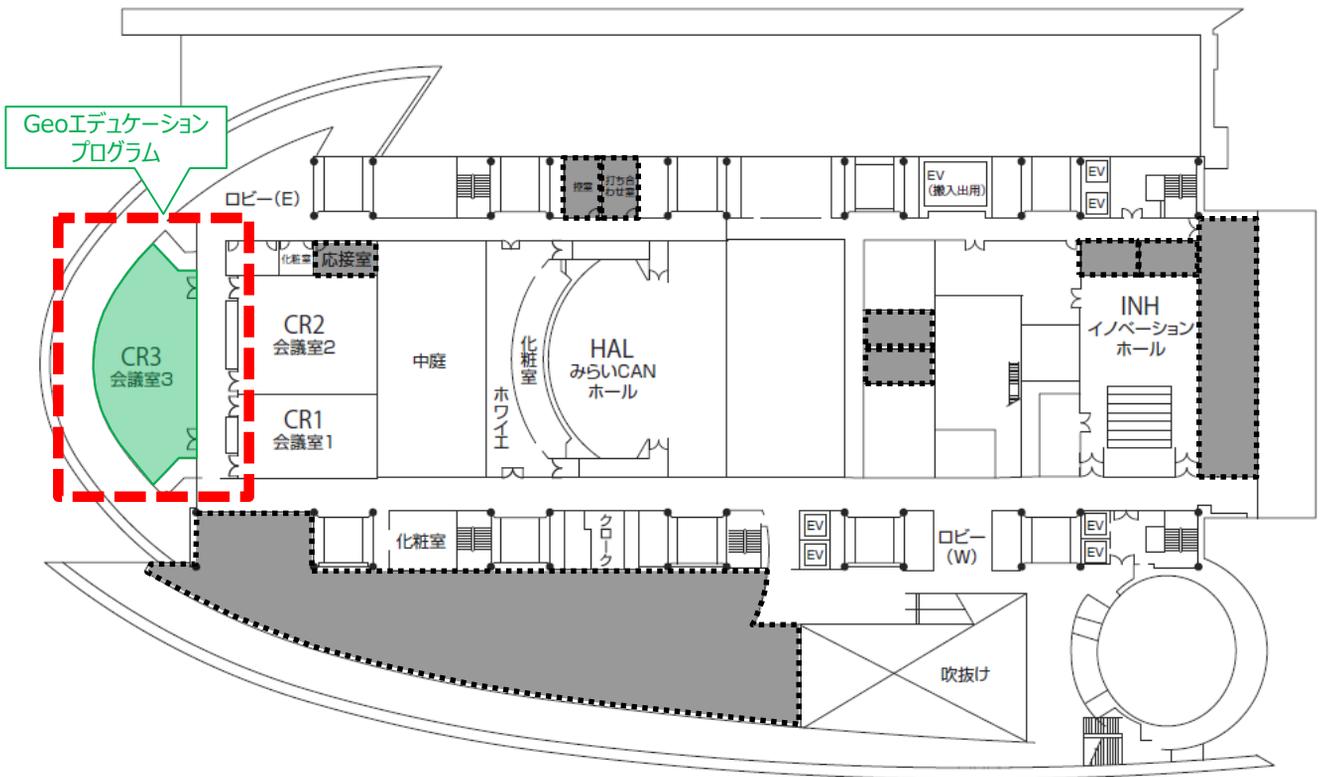
名 称	Geoエデュケーションプログラム
開 催 期 間	平成27年11月26日（木） 27日（金） 28日（土） 10:00-17:00
会 場	日本科学未来館 7F 会議室3 その他(会場全体を回るツアーの実施など)

## 実施内容

- 11月27日（金） 自治体におけるGIS×統計・地域分析  
10:00-12:00 ディスカッション  
13:00-17:00 ワークショップ
- 11月28日（土） 学校における未来のG空間情報教育  
13:00-13:30 基調講演 文部科学省教科調査官 濱野 清 氏  
13:30-16:30 模擬授業「未来のG空間情報教育を体験」
- 11月28日（土） Geoアトラクションズ  
10:30-12:00 日本地図センタープレゼンツ「3D富士山をつくってみよう！」  
11:00-12:00 G空間フィールドワーク「立体地図・電子古地図を見て江戸の土地を探る」\*屋外イベント  
13:30-14:10 / 15:30-16:10 G空間体験ツアー

# 会場レイアウト

[日本科学未来館 7F 会議室3]



# Geoエデュケーションプログラム（27日）

## ■ 自治体におけるGIS×統計・地域分析

会 場	日本科学未来館 7F 会議室3
対 象	自治体関係者 60名程度
趣 旨	地域課題を抽出するため、統計や地域情報をGISを使って可視化し、抽出した課題を解決する試みを体験していただくワークショップを実施いたしました。



# Geoエデュケーションプログラム（28日）

## ■ 学校における未来のG空間情報教育

会 場 日本科学未来館 7F 会議室3

対 象 教育関係者・一般来場者 100名程度

趣 旨 地球規模の課題解決や防災教育等の必要性の高まりを受け、2022年度以降高等学校における「地理総合（仮称）」と「歴史総合（仮称）」の必修科目化が議論されています。学校教育の第一線に関わる専門家・実践者をお招きし、学校における未来のG空間情報教育が楽しみながら体験できる地理・歴史の参加型模擬授業を行いました。



# Geoアトラクションズ

## ■ Geoアトラクションズ

会 場	日本科学未来館 7F 会議室3及び屋外スペース
日 時	10:30-12:00 G空間地図教室「日本地図センタープレゼンツ「3D富士山をつくってみよう！」」30名 11:00-12:00 G空間フィールドワーク「立体地図・電子古地図を見て江戸の土地を探る」20名
対 象	一般来場者 G空間地図教室「日本地図センタープレゼンツ「3D富士山をつくってみよう！」」30名 G空間フィールドワーク「立体地図・電子古地図を見て江戸の土地を探る」20名
趣 旨	(G空間地図教室「日本地図センタープレゼンツ「3D富士山をつくってみよう！」」) 日本地図センターから専門家をお招きし、世界遺産に登録された富士山について地図や写真を使った解説のほか、富士山の立体模型をつくりました。  (G空間フィールドワーク「立体地図・電子古地図を見て江戸の土地を探る」) 東京の地形に着目した街歩きを中心として活動している「東京スリパチ学会」とG空間EXPOの コラボレーションとしてお台場の地形や歴史について学べる、解説つきのフィールドワークを実施いたしました。

(日本地図センタープレゼンツ「3D富士山をつくってみよう！」)



(G空間フィールドワーク 立体地図・電子古地図を見て江戸の土地を探る)



## ■ G空間体験ツアー

日 時	11月28日 (土) 13:30-14:10 / 15:30-16:10
対 象	一般来場者 (1回あたり20名)

## 7. 講演・シンポジウム

# 実施概要

## ■ G空間EXPO2015 講演・シンポジウム

G空間社会への理解を深めるための講演・シンポジウムから、G空間社会を支える最新情報や研究成果発表、業界・技術動向の紹介など、関係各団体によりさまざまなプログラムを実施しました。

名 称 G空間EXPO2015 講演・シンポジウム

開 催 期 間 平成27年11月26日（木）27日（金）28日（土） 10:00-17:00

会 場 7F 未来館ホール・イノベーションホール・会議室1・会議室2

日本科学 未来館 7F	11/26 木		11/27 金		11/28 土	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後
未来館 ホール		準天頂衛星システム 講演会  内閣府 宇宙戦略室	時空間情報活用 フォーラム in G空間EXPO2015 ～人やイベント～都市の 時空間情報の活用を 目指して～  Lisra <b>事前登録が必要です</b>	SPAC シンポジウム 2015  (一財)衛星測位 利用推進センター  <b>事前登録が必要です</b>	宇宙技術・地理空間技術を利用した 社会イノベーションに関するシンポジウム 「宇宙システム×G空間情報： 世界を動かすイノベーション人材を育てる」  GESTISS	
イノベーショ ンホール	G空間WAVE2015 コンテンツワールド× ジオメディアサミット  gコンテンツ流通推進協議会  <b>事前登録が必要です</b>		G空間社会に馴染んだ 新たな不動産表示登記制度を考える  日本土地家屋調査士連合会			遊びから始まる 地理の フロンティア  日本地理学会
会議室1	知っ得！ 測量時事 情報セミナー  一般社団法人 全国測量設計業 協会連合会	Boot!! 研究者× スタートアップ！ G空間から イノベーションを 加速せよ！  一般社団法人 地理情報 システム学会	輝け！ 女性技術者  日本測量協会  <b>事前登録が必要です</b>	観光客を惹きつけた 地図表現  日本地図学会		地球観測の 発展に向けた コミュニティと 利用の連携  日本写真測量学会 (一社)日本リモート センシング学会
会議室2		CSIS シンポジウム 2015: 動物と森とGIS  東京大学 空間情報科学 研究センター	3次元 地理空間情報の 活用の将来展望  国土地理院	もしもの災害から 身を守る ～進化を続ける 防災アプリ展～  国土地理院	第4回地理院 地図パートナーネットワーク会議  国土地理院  <b>事前登録が必要です</b>	

# 実施報告

## ■ G空間WAVE2015 gコンテンツワールド×ジオメディアサミット

実施者：gコンテンツ流通推進協議会 一般財団法人JIPDEC（日本情報経済社会推進協会）

### ■ 午前の部 ジオメディアサミット

【実施者】ジオメディアサミット 文責：ジオメディアサミット代表 瀬瀬考平（株式会社ゼンリン）

本イベントはジオメディア業界を盛り上げるという目的で、年2回ほどのペースでオープン・中立・交流重視をモットーとしてイベントを行っている。G空間EXPO内での開催は4回目となり、今回も一般財団法人日本情報経済社会推進協会（JIPDEC）gコンテンツ流通推進協議会様と共同で開催させていただいた。初日の午前開催では合ったが、朝早くから会場の科学未来感には多くの方に足を運んで頂いた。今回は、「過去と未来の融合」というテーマで、開催した。自動運転等最新技術が注目される中、一步立ち止まって過去を振り返り、過去・現在・未来について考えることができればと思いいテーマ設定を行った。基調講演は3件、ライトニングトークは飛び入り参加も含め7件を行った。基調講演では国土地理院地理空間情報部情報普及課（現在は企画部国際課に所属）の藤村英範氏から地理院地図の「過去・現在・未来」をお話頂いた。また、株式会社オバルギアの入江崇氏からはiOS向け今昔写真アプリ「time tours」をご紹介頂いた。古写真と現在の写真を同じアングルから撮って比べることができる。現在の技術を用いた過去写真の活用という意味で大変興味深いアプリである。また、エリアは限られているが、古地図上で古写真の場所を見ることがもできる。最後に、株式会社ナイトレイの石川豊氏からは訪日外国人の観光行動解析ツールである「inbound insight」の紹介が行われた。今回は午前開催のため交流会を実施できなかったため、2016年1月に交流会の実施を計画している。最後に、今回もジオメディアサミット開催にあたり、ご尽力頂きました多くの皆さまにこの場をお借りして、お礼申し上げます。

### ■ 午後の部 gコンテンツワールド

【実施者】JIPDEC（一般財団法人日本情報経済社会推進協会）/gコンテンツ流通推進協議会

「G空間WAVE2015～gコンテンツワールド～」では、【ビッグデータ】としての位置情報に着目し、センサー情報を活用したIoT（Internet of Things）の仕組みやオープンデータの動向とシナジーとのその可能性と展望について、防災、ウェアラブル、官民の情報流通、といった切り口から各界のゲストをお招きし、その最新動向をご紹介いただきました。

#### <講演1> 足立 龍太郎（株式会社ゼンリンデータコム ネットサービス本部 Web-GIS 事業部 副部長）

位置情報で「社会課題」を解決する『震災ビッグデータ』シリーズを支えた「混雑統計R」の取り組み

2011年3月11日14時46分18秒、東日本大震災の発生により、被害の拡大と共に交通機関はストップし、日本全体に大きな影響を与えました。そこでの教訓は、災害対策サービスの需要が高め、様々な取り組みのきっかけとなりました。その中でまず、災害対策サービスにとって重要と考えられたのは、「位置情報」と「地図」です。①「位置情報」：これまで人の経験や勘に頼っていた混雑統計データをリアルタイムで収集されたデータから分析し、人の移動や量を定量的に指標としての提供を行いました。②「地図」：データ利用許諾をいただいたユーザから収集した、位置情報及び人流情報が可視化された地図作成を行いました。

#### ● 震災ビッグデータ

東日本大震災当日のデータを分析及び可視化することで、社会課題解決へ繋がる“気付き”や“発見”を求めました。例えば、東日本大震災での混雑統計データから、ターミナル駅における災害誘導対策に活用しました。またこのような震災ビッグデータは、平常時のデータを活用したサービスモデルの実装が重要であります。リアルタイムに情報が収集され、サービスインフラとしての価値を高めると考えます。観光や地域の街づくり等に関連した社会課題解決への活用方法を、情報源であるユーザと共に考え、継続して取り組む必要があります。

# 実施報告

## ■ G空間WAVE2015 gコンテンツワールド×ジオメディアサミット

実施者：gコンテンツ流通推進協議会 一般財団法人JIPDEC（日本情報経済社会推進協会）

### ■ 午後の部 gコンテンツワールド

【実施者】JIPDEC（一般財団法人日本情報経済社会推進協会）/gコンテンツ流通推進協議会

#### <講演2> 相原 健郎（国立情報学研究所 准教授）

旅行者の情緒を知る ～ウェアラブルを用いた観光実態把握に向けて～

現在、訪日外国人の増加に伴い、観光分野での位置情報の取得・利用に向けた取り組みが活発に行われています。また、東京オリンピック・パラリンピックを見据え、更なる訪日外国人観光客の増加に向けて、スマートフォン等から収集された位置情報の分析を行い、サービスの向上やゴールデンルート以外への分散を目指し、様々な取り組みが行われています。地域の観光資源の魅力を伝えるため、その行動に至る“思い”をセンシングする必要があると考え、以下の検証を行いました。

#### ● 生体センシング

①「顔表情」Saragih による手法を元に、66 の特徴点を抽出し、表情の特徴から感情を推定しました。今回の検証では、SNS 投稿に顔の表情から解析した感情を補足しました。その上で、人の多い場所と投稿者の感情を地図上にマッピングしました。

②「心拍」医学的に心拍とストレスの相関は認知されており、今回の検証では心拍変動からストレス状態の推定を行いました。また、活動量計の普及により、多様な人の行動分析を可能にしました。

③「脳波」ウェアラブル観光委員会（gコンテンツ流通推進協議会）にて、外国人2名、日本人1名を対象に感性アナライザ プラスカム（電通サイエンスジャム社提供）に用いて、観光中の脳波を収集し、5つの感性（好き・興味・集中・眠気・ストレス）を分析しました。上記の検証から、個別の分析は十分ではないが、観光資源に対する感度がデータに良く現れていたと思われます。感性に影響を及ぼす因子は多岐にわたるため、分析や実験設定には課題を感じられたが、観光資源の客観的評価手法として、魅力的な観光地づくりに活用が可能であると思われる。

#### <講演3> 村上 智信（経済産業省 商務情報政策局 情報政策課 情報プロジェクト室 室長）

官民の情報流通、データ利用における経済産業省の取組

#### ①「オープンデータを利活用したビジネスの創出」

Open Data METI、イベント（アイデアソン、ハッカソン等）を通して、オープンデータの民間利活用を推進しています。

②「法人情報活用基盤システム」行政効率化を目的に、省内の法人情報の統合的な検索システムの構築を目指しています。そこでの法人情報には法人番号が含まれおり、来年4月からの公開を予定しています。また、法人情報利用システムだけでは十分ではないため、民間事業者がデータを加えて、法人ポータルとして運営することも可能です。

③「ID 連携トラストフレームワーク」ユーザは、ID あるいはパスワードを様々なサービスで使い回しています。このような状況に対して、第三者機関が認証を行い、安心・安全な情報の取り扱いを担保する仕組みです。

④「マイナンバーカードの民間活用」マイナンバーカードは、公的個人認証（IC チップ）の機能を活用することで、様々なサービスを受けることを可能にします。スマートフォンとの連携等、利活用に向けた取り組みについて検討されています。

#### <パネルディスカッション>

地理空間情報データを活用することで、地域を元気にすることができるか ～日本の未来像を描こう～

モデレータ：

坂下 哲也（JIPDEC 電子情報利活用研究部部長 常務理事）

パネリスト：

神武 直彦（慶應義塾大学 システムデザイン・マネジメント研究科 准教授）

那須 俊宗（マルティスーブ株式会社 代表取締役）

森 一也（武雄市役所 お住もう課 主幹）

足立 龍太郎（株）ゼンリンデータコム ネットサービス本部 Web-Gis 事業部 副部長）

パネルディスカッションでは、ご講演いただいた足立氏に加え、慶應義塾大学の神武直彦准教授、マルティスーブ社の那須俊宗氏、武雄市お住もう課の森一也氏にもご登壇いただき、「日本の未来を描こう」と題して様々なテーマでご議論いただきました。ライフスタイルの変化と社会インフラの変化に今後どう対応していくかという切り口から、積極的な議論ができました。今後の社会課題解決に重要な、もの、能力、体験をシェアしていくシェアリング・エコノミーについてそれぞれの立場からご意見をいただき、シェアリング・エコノミーのコアである情報のシェアにおいても「空間と時間」が重要であることが確認されました。

# 実施報告

## ■ 知っ得！測量時事情報セミナー

実施者：一般社団法人全国測量設計業協会連合会

はじめに

全測連主催の「知っ得！測量時事情報セミナー」は、毎年その年の話題を皆様に提供すべく開催しております。今回は、最近何かと話題にされるようになったUASについて企画しました。ドローン・UAV（Unmanned Aerial Vehicle）の呼称が一般的かと思われませんが、我々測量業界としましては、撮影・計測からデータ処理解析・アウトプット作成までの一連の作業を称して、UAS（Unmanned Aircraft Systems）と呼ぶことがふさわしいと考え、UAVとは“有人ではない”、遠隔操作を基本とした無人航空機全般を示すものと捉えています。航空法の改正法の内容を解説いただくとともに、UAV/UASがどのような場面で、どのように利用されているか、の最前線を紹介していただきました。

### 講演1 無人航空機の飛行ルール及び許可・承認に係る申請方法等

国土地理院 企画部長 鎌田 高造

平成27年9月11日に航空法の一部が改正され、この12月10日からドローンやラジコン機等の無人飛行機の飛行ルールが新たに導入されることとなった。そのため、無人航空機の飛行の許可が必要となる空域が示された。①空港等の周辺の空域、②地表又は水面から150m以上の高さの空域、③平成22年の国勢調査の結果による人口集中地区の上空は、あらかじめ、国土交通大臣の許可を受ける必要がある。また、無人航空機を飛行させる場合の「飛行安全確保の方法」「航空機の航行の安全確保」「飛行マニュアルとその規程内容」が運用ガイドラインとして示された。

### 講演2 ドローンを用いた写真測量の事例紹介

(株)有明測量開発社 大和 宏明

有人航空機に比べて低高度で飛行できるため、高解像度画像の取得と広範囲の画像を短時間で取得することが可能となった。画像を取得するにあたっての撮影方法・撮影時の注意点、3Dモデル・オルソ画像作成の手順について紹介いただいた。

今後の課題として、技術面では飛行コースと撮影諸元設定方法の確立、ハードウェア（機体）の課題として、バッテリー持続時間の延長とトラブル防止策・リスクの低減が挙げられた。

# 実施報告

## ■ 知っ得！測量時事情報セミナー

実施者：一般社団法人全国測量設計業協会連合会

### 講演4 UASを活用した文化財事例紹介

(株) パスコ 津口 雅彦

前段として、空間情報データ取得におけるUAV（プラットフォーム）の位置付け、UAVでの撮影計画の際に、安全確保が第一であることが説明された。また、文化財での活用事例として、昨年、世界遺産登録された長崎の軍艦島、横須賀港の戦艦三笠、東京湾に位置する第二海堡についての詳細なデータ取得・表現までの作業の流れについて、精度確保のための苦労話とともに紹介された。

### 講演5 「UAS導入ガイド」のご紹介

(株) 田村測量設計事務所 田村 道雄

本講演は、全測連の技術委員会・MicroUAS利活用研究部会が調査研究を進めている「UAS導入ガイド」についての中間報告である。「UAS導入ガイド」は、現状の測量技術の効率化・革新に加えて新規事業の創出につながればとの願いで、全測連会員構成員が導入・運用する際の技術的一助となる資料を作成することを目的としている。「UAS導入ガイド」は、機器（プラットフォーム・センサー・処理ソフト）の紹介、リスクヘッジ、業務計画時とフライト時の「チェックリスト」、利活用事例の紹介という構成になっており、平成28年4月の公開予定である。

おわりに

今後益々、安全・安心な運用に向けたルールが具体化されていく中で、いかようにも変化・進化するであろうUASに対しては、適切な利活用を図るために必要な取り組みが一層求められます。昨年4月22日に発生した首相官邸の屋上落下を機に発足した小型無人機に関する関係府省庁連絡会議による「小型無人機に関する安全・安心な運航ルールの骨子」にも多くの課題が示されており、UASによる測量精度の確保や運用マニュアル作成など、UAS導入までのプロセスと運用・実行ルールが確立されていくことでしょう。

結びに、プレゼンターの皆様やご来場・ご参加いただきました方々をはじめとして、多くの方々に「知っ得！測量時事情報セミナー」に関心を寄せていただきましたこと、心より御礼申し上げます。

一般社団法人 全国測量設計業協会連合会

企画部長 斎藤 久夫

# 実施報告

## ■ Boot!! 研究者×スタートアップ！G空間からイノベーションを加速せよ！ 実施者：一般社団法人地理情報システム学会

本シンポジウムは、地理情報システム学会の企画委員会が中心に企画を行ったもので、研究とビジネスの融合によるイノベーションの創出をコンセプトに、G空間に関係のあるスタートアップの若手経営者や研究機関の若手研究者にターゲットを合わせ、学会構成員内外から広く、この分野を中心に活躍されている皆さんにご講演いただいた。

今回のシンポジウムは、地理空間情報系サービスのスタートアップの中でも、近年様々なサービスを世に送り出し、メディアにも注目されている石川豊氏から招待講演として40分間お話いただいた後、研究者側・スタートアップ側それぞれから15分間の事例紹介を行っていただいた。そして後半は、約1時間のパネルディスカッションを実施した。本シンポジウムの話題提供者・パネラーは以下の6名である（敬称略。括弧内は所属）。

石川 豊（株式会社ナイトレイ・代表取締役）  
中西 航（東京大学工学部社会基盤学科・助教）  
齋藤 仁（関東学院大学経済学部・講師）  
有本昂平（首都大学システムデザイン学部インダストリアルアートコース・博士後期課程）  
北浦健伍（AGRIBUDDY LIMITED・CEO）  
仙石裕明（株式会社マイクロベース・CEO）

まず招待講演の石川氏は、自社の成り立ちを振り返りながら、2013年頃から主に東京大学の修士・博士がインターンシップや共同研究の形で参加することで、自社のサービスの基となっているSNSデータの解析基盤や処理技術の開発について解説した。この取組を通じて、大学の研究室との関連・接点を持続することが重要で、出来るだけ社の事業分野に近い研究室であることが、インターンシップの学生との日常会話からも価値ある情報に結びついていたと、取り組みを高く評価した。このような研究機関との連携に関する課題や対策として、大学との連携は売上に直接寄与しないことを理解して取り組む必要があり、投資的な観点も必要ではないか。またインターン自体の取り組みは良いが、一定期間後に居なくなってしまうことを前提にしなければならないと述べた。

続いて各パネラーによる事例発表として、大学側から、工学、自然地理学、情報デザインの3分野での取り組みが紹介された。まず工学分野から中西氏が歩行行動の解析事例から現状の研究課題として、研究室リソースによるデータ取得の困難性・部分的なところからでも企業等と連携できる可能性について述べ、続いて自然地理学分野から齋藤氏は、UAVやビッグデータ利用の進展と、航空法改正等の社会環境の変化に伴う運用面での考慮、さらには研究データのアーカイブの重要性について述べた。そして情報デザイン分野から有本氏は、企業間取引ネットワークの可視化・地図化技術を通じた社会における空間的な経済現象の理解についてその重要性を述べた。

他方、スタートアップ（企業）側からは、カンボジアでオンラインを介した農業コミュニティを運営されている北浦氏から、開発途上国における農業の現状と支援に向けたIT・地理空間情報の活用可能性について事例報告がなされた、また仙石氏は、日本における公共データのマイクロ化やオープンデータの高度活用の観点から、大学院時代の研究を契機に起業へと至った経緯や、データビジネスにおける学術的な検証の必要性などを述べた。

以上の話題提供を受け、約1時間程度のパネルディスカッションとなったが、活発な情報交換・意見交換が行われた。進行役の瀬戸氏（地理情報システム学会企画委員）から、本シンポジウムのようなコラボレーションに向けて学会として何が支援できるかを論点に議論が実施された。各パネラーから様々な意見が出され、例えば成功例・失敗例（困りごと）両方の事例を具体的に知る機会が必要であること、内容によってアウトプットが明確に出にくいような研究分野もある状況下で、各企業のスタンスや急速な変化を遂げる社会情勢が的確に共有できる場があるとありがたい、などが提案された。

本シンポジウムは、学会としても多分野・他業種の方をお招きして行ったある種のスタートアップと位置づけられた。発表機会の多様性を考慮しながら、今後もこのような議論を定期的に行っていくことの重要性が共通認識として得られた。話題提供いただいた講演者の皆さま、会場から積極的に発言し本シンポジウムの開催に貢献いただいた来場者の皆さまに心から感謝します。

瀬戸寿一（東京大学空間情報科学研究センター・地理情報システム学会企画委員会委員）

# 実施報告

## ■ SPACシンポジウム2015

**実施者：（一財）衛星測位利用推進センター**

行事の名称：SPACシンポジウム2015

2. 日 時：平成27年11月27日（金曜日）開場14:10、シンポジウム14:30～16:30

3. 会 場：日本科学未来館 7階 未来館ホール

4. 主 催：一般財団法人衛星測位利用推進センター（SPAC）

5. 共 催：一般社団法人日本経済団体連合会

6. 後 援：内閣府宇宙戦略室

7. 参加費：無料

8. 参加者：全国の衛星測位及び地理空間情報関連の企業や団体他

184名

9. プログラム（表1参照）

プログラムの説明資料はSPACホームページにて公開中（<http://www.eiseisokui.or.jp>）。

表1. プログラム

(1) 開会挨拶：岡部 篤行 SPAC理事長

14:30

(2) 特別講演

・ SIP自動走行システムにおけるGNSSの可用性調査

細井 幹広 アイサンテクノロジー(株) 研究開発知財本部 部長 14:40

(3) 小特集

① ココロのバリアフリーとは

池田 君江 NPO法人 ココロのバリアフリー計画 理事長

荻野 千登勢 一般社団法人 フラットスタイル 代表 15:05

② 市民が作るオープンなバリアフリーマップ

古橋 大地 青山学院大学 地球社会共生学部 教授 15:20

(4) 一般講演

① 準天頂衛星を活用した高速道路の除雪等道路メンテナンスにおける運転支援について

杉崎 幸樹 東日本高速道路(株) 北海道支社 技術企画課長 15:35

② 富士山山頂における補正データの効果に関する基礎的観測

鵜飼 尚弘 (株) ジェノバ 企画経営室 次長 15:50

③ 観光おもてなし実証実験

徳永 光晴 金沢工業大学 教授 16:05

(5) 閉会挨拶：続橋 聡 (一社) 日本経済団体連合会 産業技術本部 本部長 16:20

—終了— 16:30

# 実施報告

## ■ SPACシンポジウム2015

### 実施者：（一財）衛星測位利用推進センター

#### 【講演概要】

#### (1) 特別講演：SIP自動走行システムにおけるGNSSの可用性調査

複数の衛星測位システムの利用が可能となってきたが、これらが自動車の高精度な位置特定手段としてどこまで利用可能かを見極めることを目的に、内閣府SIPの自動走行システムWG委託事業として実証実験を行った。実施体制は、アイサンテクノロジーがとりまとめとなり、SPAC、東京海洋大学、JAXAがコンソーシアムを構成し、一部ENRIへ再委託し、ITS-Japan準天頂衛星活用検討会の助言を得た。

実験コースは都心一般道、首都高速、都市間高速であり、GPS、GLONASS、BeiDou、QZSS等評価した。結果、遮蔽物の無い環境では、コード測位でもマルチGNSSや測位補強情報を利用することでレーン識別可能な精度が得られることを確認した。また搬送波測位でも静止測位と同等の数cmの精度が得られた。

#### (2) 小特集－人にやさしいG空間社会－：ココロのバリアフリーとは

日本で車椅子の方は181万人以上いるが、引きこもっている方が多く、外出時に会うことはほとんど無い。障害のある方が安心して外出でき、困った方がいたら声を掛け合える世の中を目指し「NPO法人ココロのバリアフリー計画」とスタッフ教育のための一般社団法人フラットスタイルを設立した。

G空間社会の中で、スマートフォンの端末により1mの精度で自分の位置が分かり、伝えることができれば、困った時に例えばヘルプ登録していただいている方へ直ぐに連絡し、サポートしていただけることができる。技術で安心のナビを実現し、ココロのナビでサポートすることが必要である。G空間とココロのバリアフリーがあれば、誰もが過ごし易く優しい国になると考えている。

#### (3) 小特集－人にやさしいG空間社会－：市民が作るオープンなバリアフリーマップ

Googleマップは著作権があり個人の枠を超えると使えない。このため自由に使える地図が必要であり、地図を作るためには衛星測位の技術が重要である。車椅子用の地図は、データにWheelchairという属性を与えることで実現でき、ドイツのラウル氏が始めたWheelmap.orgのサイト等に開示している。

活動例としては、G空間EXPO2014での「お台場バリアフリーマッピングパーティー」、北海道大学との夜のすすきのを車椅子で歩ける地図作成、ユニバーサルツーリズム・プラットフォーム&勉強会との旅行とのセット、日本財団とMIRAIROとの溜池山王駅周辺地図作成等がある。これらの活動で一番大切なことは、自分自身が楽しむことであり、これが次の活動に繋がることになると考えている。

# 実施報告

## ■ SPACシンポジウム2015

### 実施者：（一財）衛星測位利用推進センター

(4) 準天頂衛星を活用した高速道路の除雪等道路メンテナンスにおける運転支援について

北海道の高速道路の冬期事故を防ぐため、路面高さの配慮や精度の高い外側線上の除雪などが必要であり、作業車両の位置をより正確に把握し、安全・安心な作業を行えるよう準天頂衛星を活用した雪氷車両運転支援技術の導入を北海道大学野口先生のご指導を頂き検討している。

現在準備作業として、実際の高速道路（道央道約40km）において、準天頂衛星からの測位情報により外側線の緯度経度を取得した。まずは、モニタによるガイダンス装置を開発し、引き続き、実験を実施して運転操作支援技術の開発や現場での複数台による試行導入を行う予定である。

(5) 富士山山頂における補正データの効果に関する基礎的観測

準天頂衛星から配信される補正データは、標高の低い電子基準点により補正データが生成されているため、高山地における精度低下が懸念されている。このため、標高の高い地域における測位精度の検証を目的に日本最高峰の富士山山頂における観測を実施し、高低差に応じた測位精度について検証を行った。

結果、富士山山頂において高いFIX率で測位することができ、通信インフラが脆弱な山間地で高精度な衛星測位を確認することができた。これらにより、山間地におけるcm級測位の活用として、1) 植生、環境GISデータの取得、高度化、2) 救助活動の安全確保、3) 山地地形のモニタリング、等が考えられる。

(6) 観光おもてなし実証実験

外国語による観光案内システムが不足しており、みちびきを活用した「外国人向け音声観光案内ツール」開発を目的に、石川県金沢市においてみちびき衛星の受信状況を確認するための実証実験を行った。

実証実験は、9/16-17にかけ、金沢工業大学の学生ボランティア、外国人、まいどさん、科学警察研究所、SPAC、アイサンテクノロジー、東京海洋大学、CTCで、金沢市の観光地で実施した。現在結果を精査中であるが、科学警察研究所の「聞き書きマップ」の有効性、「みちびき」(L1-SAIF)による精度の良い歩行ルート、観光客の滞留時間等の解析が可能等の知見が得られ、準天頂衛星システムの有効性が確認できた。

※講演資料は、<http://www.eiseisokui.or.jp/> から閲覧できます。

【執筆者】

濱田英幸、一般財団法人 衛星測位利用推進センター 企画部長

Tel:03-5402-4751、e-mail:hamada.hideyuki@eiseisokui.or.jp

# 実施報告

## ■ G空間社会に馴染んだ新たな不動産表示登記制度を考える

実施者：日本土地家屋調査士会連合会

### 概要

安倍内閣が立ち上げた新宇宙基本計画は、地理空間情報高度利用社会（G空間社会）の実現により、より住みよい社会の実現や既存産業の高度化・効率化を目指しています。

本シンポジウムは、そのようなG空間社会を実現するために不可欠な不動産表示登記制度及び基準点情報管理の問題を取り上げて議論するとともに、これからの登記情報や基準点情報の一元化に向けた新たな制度構築を考えることを目的として開催しました。

以下、それぞれの概要を報告します。

### 研究報告

#### 1 「不動産登記表示における準天頂衛星の活用に向けて」

細井幹広氏（アイサンテクノロジー株式会社 研究開発知財本部部長）

・ 衛星測位による単点測位はTS測位と比較しバラツキがあるため、直接境界点を測位するには適さないが、容易に世界測地座標系の座標値を得ることができ地積測量図の世界測地座標化に有効である。（ただし、測位には地殻変動補正が必要）

・ 実証実験の結果、準天頂衛星のセンチメートル級測位補強信号を利用することで、世界測地系に取り付けるのに必要な精度を得ることができた。

・ 衛星測位を利用することで標高も含めた座標値を得ることができる。登記情報は最も鮮度が高い空間情報のひとつであり、登記情報と標高の情報があれば、空間情報の鮮度維持に活用できると考えられており、防災・減災、あるいは自動車の自動走行に活用されるデータとしても注目されている。

#### 2 「街区基準点を活用した地理空間情報の整備と維持管理について」

一氏昭吉氏（一般社団法人大阪府測量設計業協会 GIS官民協議会 GIS支援グループ）

— G空間時代に相応しい空間基盤データの効率的な整備・更新を追求する—

- 1 街区基準点の維持管理について
- 2 街区基準点を活用した地理空間情報の整備
- 3 基盤地図情報と連携した空間基盤データ継続的更新・維持管理
- 4 各種測量成果を国土の位置の基準「基盤地図情報」に集約を
- 5 G空間プラットフォームへの活用

基盤地図情報は、国土の位置の基準であり、公共基準点や街区基準点を活用し、既存空間データや各種測量成果を一元的に集約・整備・更新することで、基盤地図情報は高精度の地物を表した空間基盤データとなる。基準点や空間基盤データの効率的な管理と更新へ、測量法・不動産登記法等の法制度等を有効的に活用した新たな活用の枠組構築が求められている。基準点が亡失する原因は、ほとんどの場合公共工事が原因であるので、自治体と基盤地図情報の整備・利活用・相互更新を行うことができれば、基準点管理は容易となる。（基盤地図情報のスパイラルアップ構想）

共通の基準点により作成された各種測量成果を基盤地図情報へ集約することで、誰もが利用できる国土の位置の基準となり、これからのG空間プラットフォームの基盤となる。

#### 3 「岐阜県内地理空間情報の一元管理の可能性とその課題」

杉山清幸氏（公益財団法人岐阜県建設研究センター 岐阜県ふるさと地理情報センター 副センター長）

- 1 岐阜県における「県域統合型GIS」の取り組み
- 2 地理空間情報一元管理の可能性

岐阜県及び県内全市町村（42市町村）が共同利用するWebGISを平成18年4月から運用を開始しており、県と全市町村が横断的に利用できる環境を整えている。住民への情報提供ツールとしても利用しており、今後WMS（Web Map Service）やAPIを用いた連携で、アプリケーションを通じた住民への柔軟な情報提供ツールを目指している。

現状では、それぞれの機関が、それぞれのデータ構造（個別GIS）で管理を行っている自治体が存在する。データ構造を統一し一元管理を行えば、既存情報の効果的活用が可能となるだろう。

今後、岐阜県土地家屋調査士会が設立した岐阜県地籍情報研究会と協同で情報流通の検討をしている。データをKMZファイルで集約し、公共成果に基づく民間版公図の公開、ユーザー（銀行・不動産・建築業・デベロッパー等）を対象としたデータ提供を考えている。

# 実施報告

## ■ G空間社会に馴染んだ新たな不動産表示登記制度を考える

### 実施者：日本土地家屋調査士会連合会

#### 4 「オープンな基準点維持管理」

高島和宏（土地家屋調査士・日本土地家屋調査士会連合会研究所研究員）

土地家屋調査士業務において、公共工事等により基準点の位置が明らかに移動していたり、近くに基準点と思われる標識が存在するが、誰が設置したのか、成果も不明ということが日常的にあると思う。

基準点の物理的管理や成果管理を行うためのアプローチとして、誰もが基準点の現地情報を記録として残すことができる『点ログ』を提案する。各人が業務の際に利用した基準点の現地画像を『点ログ』にアップし、情報を共有・蓄積していけば、測量法第一条に謳われている「重複の排除」へのきっかけとなる。また、基準点管理体系の階層をフリーにすることで、三角点や公共基準点、登記基準点そして境界杭に及ぶログを集約・蓄積し管理の一元化にも繋がる。

基準点については、測量法、不動産登記法の間での壁があり課題も多いが、現状を打開するための一助となることを期待したい。

#### 基調講演

##### 「スマートでコンパクトな基準点体系に向けて」

永田勝裕氏（国土交通省国土地理院測地部計画課技術専門員）

国土地理院は、測量や位置情報サービス等において位置情報を必要とする幅広い利用者に役立つスマートでコンパクトな基準体系への移行について検討し、今後10年間で取り組むべき施策と将来における新たな測地技術の導入について提案している。

##### 基準点体系分科会（V）報告

- 1 背景と目的
  - 2 基準点体系を取り巻く環境の変化
  - 3 基準点利活用の現状と今後
  - 4 SSP（スマート・サーベイ・プロジェクト）方式の導入によって変わる基準点体系
  - 5 新たな測地技術の導入と課題
- (1) 衛星測位、SSP、セミ・ダイナミック補正を踏まえて
- ・ 今後、公共基準点は、利用者が必要な時に必要な場所へ、電子基準点から直接設置する形態へと移行する。
  - ・ 従来の一等から四等までの三角点は、基準点に対する近傍既知点としての役割が終わる。
  - ・ 少数の三角点を除き、今後10年程度で測量の基準としての用途を廃止する。
- (2) GNSS水準測量を推進し、より経済的で利便性の高い標高値の取得を図る。
- ・ 基本測量の基準点網は、直接水準測量による水準路線と、GNSS水準測量により設けた点群とで構成する。
  - ・ 全国の標高体系及びジオイド・モデルを維持するための必要最小限の路線のみに限定する。
- (3) 公共測量では、衛星測位を用いるSSP方式の導入
- ・ 衛星測位を活用して電子基準点から直接設置できる、公共基準点の範囲の拡大。
  - ・ 「標高の測量への活用」を推進する。

# 実施報告

## ■ G空間社会に馴染んだ新たな不動産表示登記制度を考える 実施者：日本土地家屋調査士会連合会

### パネルディスカッション

「登記・基準点情報の一元管理による新たな地図作り」

#### パネリスト

川口 保氏（公益財団法人日本測量協会測量技術センター参事役・管理部長）

松岡 繁氏（一般財団法人衛星測位利用推進センター第1事業部副事業部長）

杉山清幸氏（報告者）

一氏昭吉氏（報告者）

高島和宏（報告者）

#### コーディネーター

海野敦郎（土地家屋調査士・日本土地家屋調査士会連合会副会長）

高度情報化社会の基盤情報整備の推進を活性化させるために地理空間情報活用推進基本法（NSDI法）及び宇宙基本法を施行し、活用推進のためには測量法が過去から謳い続けている重複測量の無駄をなくす理念を全うしなければならない。つまり、地理空間情報の基盤となる地図整備の方法を大きく変えなければならない対応に迫られる時を迎えた。

今後、土地家屋調査士もNSDI法の理念に則り、電子基準点を基盤とした基準点及び筆界情報を標準化・共有化して一元管理し、不動産登記法第14条第1項地図や建物所在図等を作成していくことになるのではないかと。

そこで、一元管理するための問題点や地図整備の将来像について議論し、これからの地図作りの在り方を考える。

#### 【議論】

- 1 基準点制度及び地理空間情報の共有化に向けた将来像（理想社会）
- 2 理想社会に向けた問題点とその解決に向けた課題
- 3 「理想的な基準点・筆界管理の問題解決に向けた法整備」について
- 4 「今後の基準点・筆界点管理に向けた運営方針」について
- 5 まとめ

『日本という地殻変動の激しい特異な国では、特に重要かつ必要なことである。しかし、実現化に向けての課題が存在することも事実である。課題解決に向けて産学官が一体となって、将来をしっかりと見据えた検討を至急進めなければならず、一堂に会する勉強会を開催し、共通意識を持たないといけない。と同時に、技術者育成や一元化システムに向けた検討を行わなければならない。連合会では、法務省、国土交通省、地方自治体、民間企業も今後交えて勉強会を開催できるよう努めていきたい』と結び、本シンポジウムは閉会した。

（日本土地家屋調査士会連合会 広報部理事 山口賢一）

# 実施報告

## ■輝け!女性技術者

実施者：日本測量協会

### 【はじめに】

公益社団法人日本測量協会は、測量・地理空間情報分野の多様性を生かし、技術者に限らず経営者や営業・企画担当者などを含め、この分野に従事する女性に向けて、視野を広げ知識や技術を深めることができる場づくり、及び情報交換、親和などを目的として『測量・地理空間情報 女性の技術力向上委員会』を設立しました。

### 【概要】(敬称略)

#### ・委員長挨拶

朝日航洋株式会社 杉森 純子

#### ・講演「輝こうと頑張る女性技術者たちへのエール」

国際航業株式会社 呉 文 繡

#### ・パネルディスカッション「生き生きと輝き続けよう」

株式会社テイコク 小池 百合子

株式会社菅原測量設計 菅原 桂子

株式会社日刊建設通信新聞社 田嶋 千文

国土地理院 マービット 京湖

### 【開催報告】

本委員会の目的の一つである『「働きたい」「続けたい」「戻りたい」女性をサポートする』をテーマに、精力的に活動されている方々をお招きして、今後も生き生きと働き続ける未来に向けて、ご自身の体験はもちろん、さまざまな視点から前向きに語って頂き、来場者の共感を得ることができました。また、本シンポジウムは、定員100名のところ103名の参加者があり、男女共同参画への関心の高さを伺うことができました。

### 【まとめ】

女性がさらに輝くためにも、前向きにプロ意識を持って取り組むことが大切であるとの認識を共有することができました。委員会では地理空間情報分野で働く女性の方へのアンケート調査を実施しており、今後どのようなサポートが必要かを検討しております。今回のシンポジウムでのご意見等を踏まえ、業界で働く女性達への一助となる活動を行ってまいりたいと思います。

実施報告者 測量・地理空間情報 女性の技術力向上委員会 事務局 阿部 利恵子



# 実施報告

## ■ 観光客を意識した地図表現

### 実施者：日本地図学会

#### I シンポジウムのテーマ概要とねらい

観光振興による経済・社会の活性化を重要な課題とする日本では、官民挙げて観光立国への取組を進めてきた結果、近隣諸国などからの来訪者が増加しており、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、その数は益々増加すると考えられる。こうした観光客が自由かつ円滑に訪問地を動き回れるようにする上で、地図は重要なアイテムであり、今後の観光にとって不可欠なツールとなる。加えて、近年はインターネットやスマートフォンアプリの普及により、観光客が情報を得る手段が広がり、観光のあり方も変わってきたことから、地図はこうしたユーザーの需要の変化にも対応していく必要がある。

本シンポジウムでは、こうした状況変化の中で、地図が観光をサポートするツールとしてどのように貢献できるのか、パネリストに様々な視点のもとづく報告を行ってもらい、来場客を交えて論議を深めた。なお、このシンポジウムは日本地図学会第200回例会を兼ねていた。

#### II シンポジウムの内容

##### 1. 趣旨説明

遠藤宏之（GISNEXT副編集長・日本地図学会常任委員）

来訪観光客数の推移と地図利用の状況を示し、現状の認識とした。来訪観光客の動向として、彼らがどこに行ったかを位置情報付き投稿写真等を用いて把握した首都大学東京の倉田陽平氏の研究事例をもとに、従来は観光地でなかった場所に観光客が訪れる傾向のあることを紹介した。これは、従来の観光ガイドマップ類に変わってインターネットやスマートフォンアプリを情報源とすることが増えていることと関わりがあるとした上で、こうした観光内容の変化に対応する地図の在り方について、パネリストからの報告を受け、討議した。

##### 2. 報告

「観光対象としての生活文化と見える可と見えない化」

片桐由美子（首都大学東京 助教）

ランドスケープ計画・地域計画を専門分野とし、地域の日常的な生活文化の体験が観光資源となりうることを研究して着目されている。ただし、こうした観光の場合、観光客によって地域の生活空間に支障が出てくる例もあり、地域の生活文化と景観への配慮に向けた情報発信が、まちづくりと観光にとって一つの課題となっていることを報告した。

「住むまちを“観光”する～西荻窪の場合」

奥秋 圭（西荻案内所運営者）

西荻窪を愛する有志で運営する私設の案内所を運営し、『西荻まち歩きマップ』や『西荻観光手帳』を発行している。地域住民に自らの興味ある情報を基図に書き込んでもらった個性的な西荻マップを作成し西荻の多面的な魅力を引き出すなど、ユニークな企画のもとづく地域の観光の在り方を報告した。

「観光のための地図サービス」

土橋文武（イングリメントP株式会社）

イラストマップなど正縮尺ではないデフォルメ地図に座標をつけて目的地まで案内する「イラストマップサービス」というスマートフォンアプリを提供している。これは紙地図の苦手な人でも親しめるイラストマップを、より利用しやすとしたものであり、ほかにも地図にARを加えたインバウンド観光地図アプリなど、同社の豊富な地図サービスの事例を報告した。

「観光に向けた地図サービスの取り組みについて」

金城陽平氏（株式会社ゼンリンデータコム）

観光を目的とした地図に必要なランドマークや道路名などを強調して提供している。外国人観光客向けには外国語版があるが、日本人が外国語表記を見ながら案内するより、日本語が記載されていた方がスムーズなので、日本語を併記している。災害時の避難地図にも応用できるものであり、災害弱者といわれる観光客を意識した地図作りを報告した。

#### コメンテーター

篠崎 透（一般社団法人 地図調製技術協会）

株式会社地理情報開発の代表取締役でもあり、調製系の地図、出版用地図、アプリ系地図を製作している経験とパネリストからの報告のもとづいて、多様な表現や情報掲載の容易なアプリやネットでのガイドマップは、さらに進化すると分析した。

#### 進行

遠藤宏之

参加者からの感想や質問を受け、議論を深めた。

#### コーディネーター

高橋 則雄（日本地図学会・集会委員）

本シンポジウムは日本地図学会が開催している第200回例会にあたり、多角度からの報告があったことと、70名ほどの来場者があり盛況裏に終了したことを報告し、閉会した。

# 実施報告

## ■ 3次元地理空間情報の活用の将来展望

### 実施者：国土地理院

準天頂衛星の本格運用を3年後に控え、位置情報サービスの普及による安全・安心・快適な社会の実現が期待されている。自動車の自動走行、東京オリンピック・パラリンピックにおける外国人観光客の移動支援、高齢者・障害者の自律移動支援、災害時の円滑な避難誘導など、様々な施策の実現に向けた環境整備が必要となっている。

このため、サービスに共通して必要な、屋内外シームレスな測位環境や3次元地図などの3次元地理空間情報に関する取組のさらなる推進・発展が求められている。

本シンポジウムでは、昨年のG空間EXPOにおける議論とその後の進展を踏まえ、3次元地理空間情報の活用に関する現状と進捗、そして将来展望について議論した。

#### 基調講演「新しい社会インフラとしての3次元地理空間情報」

柴崎亮介（東京大学空間情報科学研究センター）

屋内測位環境は電子タグ、Wi-Fi、ブルートゥースなど多種多様。3次元地図データも標準化がされておらず整備が進んでいない。屋内測位環境と3次元地図を新しい社会インフラとするためには整備の仕組みの検討が必要。データの更新も課題だが、様々な人の動きなどの分析を地図データの更新につなげる取組が重要と考えている。クルマの自動走行では走行履歴のフィードバックによる更新が可能。同様に、データ利用者とデータ整備者がギブアンドテイクの考えで地図の整備・更新を行う仕組みが必要と考えている。

#### 「パブリックタグ位置情報基盤」

越塚 登（東京大学情報学環）

東京オリンピック・パラリンピックに向けて、場所に応じた情報配信が多方面から期待されている。ポイントは地図と測位だが、屋内の測位インフラを公共的に利用するための仕組みがない。そこで、公共的な屋内空間に設置された電子タグやビーコン（パブリックタグ）などを用いてリアルタイムに測位するために必要な技術基準の確立及び情報共有基盤を整備することを目的に、国土地理院と一緒に取り組んでいる。

#### 「高精度測位社会プロジェクト」

筒井智紀（国土交通省国土政策局）

東京オリンピック・パラリンピック開催時に、誰もがストレスを感じることなく円滑に移動・活動できるストレスフリー社会を実現したい。国土情報課では関係者の協力を得て、東京駅周辺で屋内外シームレス測位サービス実証実験の準備を進めている。アイデアソン・ハッカソンにも取り組む。今後は実証成果を踏まえ、外国人向けを含め更なるサービス向上に向けた取組を推進していく。

# 実施報告

## ■ 3次元地理空間情報の活用の将来展望

実施者：国土地理院

### 「JR東日本における位置情報を活用したお客様サービスの取り組み」

三田哲也（東日本旅客鉄道株式会社JR東日本研究開発センター）

JR東日本は鉄道以外にも駅スペース活用事業などの様々なサービスを展開している。駅サービス向上の社会実験として東京駅構内ナビアプリを作成した。今回はBluetoothビーコンを採用し、現在位置表示と経路案内アプリを構築した。2か月半で6万人近くにご利用いただき7割以上の方からよい評価をいただいたが、位置精度、表現方法、サービス運用面で課題が多いと考えている。

### 「自動走行技術をサポートする3次元高精度空間データベースの取り組み」

竹川道郎（（株）ゼンリン第二事業本部）

カーナビとスマホを活用し、基盤的な地図の情報などの静的情報と動的情報を連結して取り扱えるようにするのが今後の方向。道路中心線も規制で動的に変わる場合もあるし、信号も時刻同期させ組み合わせることも検討することになるだろう。2020年には高速道路で自動走行が可能となる。空間データベースを構造化して関連情報を入れていく。車から動的情報を返してもらって地図の更新・情報の追加に役立てることを検討している。

### 「3次元地理空間情報を活用した安全・安心・快適な社会実現のための技術開発」

中島秀敏（国土地理院地理地殻活動研究センター）

高精度測位社会の実現には解決しなければいけない様々な技術的課題がある。国土地理院では平成27年度から3か年計画で総合技術開発プロジェクトを立ち上げた。マルチパスの影響を軽減する技術、パブリックタグ位置情報基盤を用いて位置情報を共通利用する技術、3次元地図を効率的に整備更新する技術を開発し、標準仕様を明らかにする。様々な取組と連携して共通基盤としての屋内測位環境や3次元地図の整備促進を図る考えである。

### 「測位情報の信頼性評価に関する取り組み」

坂下哲也（（一財）日本情報経済社会推進協会）

IoTでは多様なモノを接続し、よりダイナミックで自律的な情報のやり取りを実現する。そのためには地図、センサ、解析方法などの信頼性の確認が必要。そこで、「測位情報の「誤差のレベル」と「誤差のレベルを決定する手法」を標準化する取り組みを進めている。これにより、曖昧さを削減し指標化された高精度な位置情報を利用した次世代位置情報サービスが実現すると考えている。

3次元地理空間情報を活用した安全・安心・快適な社会実現のための技術開発	
<b>技術開発の進捗状況</b> ● 高度な測位精度を実現する高精度測位技術やICの進展などにより、高精度測位社会の実現が期待される。 ● 高精度測位技術の活用により、高精度測位社会の実現が期待される。 ● 高精度測位技術の活用により、高精度測位社会の実現が期待される。 【手技課題】 ● 高精度測位技術の活用により、高精度測位社会の実現が期待される。 ● 高精度測位技術の活用により、高精度測位社会の実現が期待される。	<b>利用状況</b> ● 高精度測位技術の活用により、高精度測位社会の実現が期待される。 ● 高精度測位技術の活用により、高精度測位社会の実現が期待される。
<b>技術開発の進捗状況</b> ● 高精度測位技術の活用により、高精度測位社会の実現が期待される。 ● 高精度測位技術の活用により、高精度測位社会の実現が期待される。 ● 高精度測位技術の活用により、高精度測位社会の実現が期待される。 【手技課題】 ● 高精度測位技術の活用により、高精度測位社会の実現が期待される。 ● 高精度測位技術の活用により、高精度測位社会の実現が期待される。	<b>利用状況</b> ● 高精度測位技術の活用により、高精度測位社会の実現が期待される。 ● 高精度測位技術の活用により、高精度測位社会の実現が期待される。
<b>技術開発の進捗状況</b> ● 高精度測位技術の活用により、高精度測位社会の実現が期待される。 ● 高精度測位技術の活用により、高精度測位社会の実現が期待される。 ● 高精度測位技術の活用により、高精度測位社会の実現が期待される。 【手技課題】 ● 高精度測位技術の活用により、高精度測位社会の実現が期待される。 ● 高精度測位技術の活用により、高精度測位社会の実現が期待される。	<b>利用状況</b> ● 高精度測位技術の活用により、高精度測位社会の実現が期待される。 ● 高精度測位技術の活用により、高精度測位社会の実現が期待される。
<b>技術開発の進捗状況</b> ● 高精度測位技術の活用により、高精度測位社会の実現が期待される。 ● 高精度測位技術の活用により、高精度測位社会の実現が期待される。 ● 高精度測位技術の活用により、高精度測位社会の実現が期待される。 【手技課題】 ● 高精度測位技術の活用により、高精度測位社会の実現が期待される。 ● 高精度測位技術の活用により、高精度測位社会の実現が期待される。	<b>利用状況</b> ● 高精度測位技術の活用により、高精度測位社会の実現が期待される。 ● 高精度測位技術の活用により、高精度測位社会の実現が期待される。

# 実施報告

## ■ もしもの災害から身を守る－進化を続ける防災アプリ展－

実施者：国土地理院

### ■はじめに

国土地理院では、防災に役立つ地理空間情報を効果的に活用した汎用性のある防災アプリの開発を促進するため、防災アプリの公募を平成26年度から取り組んでいます。

本年度は、防災アプリの募集テーマを「避難誘導支援用防災アプリ」と「リスクコミュニケーション用防災アプリ」の2つの部門により公募を行い、審査委員会で、部門毎にそれぞれ3つ（全体で6つ）の優れた機能を持つ防災アプリを選定しました。

当日は、開発者による選定アプリの展示及びプレゼンテーションを行い、広く一般の方々に周知し、活用してもらうためのPRの場としました。

### ■出展アプリ(五十音順)

- ・ ARハザードスコop鎌倉市版（株式会社キヤドセンター）
- ・ goo防災アプリ（NTTレゾナント株式会社）
- ・ Documap Mobile 傾斜区分マップ（株式会社永大開発コンサルタント）
- ・ My 防災（株式会社ジエッセ）
- ・ My bousainote（首都大学東京大学院）
- ・ MinaVi（サークル Snow White）

### ■開催報告

イベントには、民間事業者など80名近くの来場者があり、会議室内に設置した開発者の展示ブースでは、実際のスマホ等を用いたデモや説明が来場者に対して行われ、開発者と来場者の間で防災アプリの機能や特徴などについての熱心な情報交換が行われ、防災アプリに対する関心の高さがうかがえました。

### ■まとめ

この取組は、国等で保有する防災に役立つ地理空間情報をオープンデータ化の一環として広く一般に提供し、有用な防災アプリ開発を促進することで、主体的な避難等に役立てるなど、防災力向上に役立てることを目的としています。来場者の多くが、最新の防災アプリの動向を知るために来場されており、今後も防災アプリへの注目は高まるものと思われます。

執筆者 株式会社パスコ 中央事業部 インフラマネジメント部 コンサルティング課 深石 洋



# 実施報告

## ■ 宇宙技術・地理空間技術を利用した社会イノベーションに関するシンポジウム

### 「宇宙システム×G空間情報；世界を動かすイノベーション人材を育てる」

実施者：GESTISS（地理空間情報と宇宙インフラ利用技術活用ネットワーク；東京大学・空間情報科学研究センター、慶應義塾大学、東京海洋大学、青山学院大学、事業構想大学院大学）

#### ■ 午前の部

午前の部は、青山学院大学の古橋大地教授による「Japan OSM ImprovementプロジェクトとGitHub活用」講演から始まり、インセンティブが高いボランティアベースのコミュニティ活動の社会貢献、情報のオープン化がもたらす情報社会基盤へのポテンシャルを講演されました。続いてG-SPASEプログラム（宇宙システム×G空間情報で世界を動かすイノベーション人材を育てる教育プログラム、<http://gestiss.org/g-spase/>）に参加している学生がプロジェクトごとに研究活動を説明し、産業界の方々からコメントやアドバイスをいただく機会を設けました。学生の発表に対し、ご参加いただいた方々からはアイデアを実践に移す際の資金調達についての質問が多くありました。地理空間情報を用いてカンボジアのマラリア感染の数値予測している学生の研究への取り組みについて、現地でのフィールドワーク・ワークショップ開催について評価をいただいたほか、プロジェクト進行のどのタイミングでワークショップを開催するのがいいのか？などの指摘もありました。G-SPASEのプロジェクトは、現地でワークショップを開催し課題を抽出し、成果をもって再び現地で検証することを理想として活動を進めていますが、新たな気づきやアイデア創出があり、学生と企業の方が出会う貴重な場となりました。



G-SPASEプロジェクトの概念

#### ■ 午後の部

午後の部では、学生が研究プロジェクトの成果を5分でピッチして、今まで実社会・研究でご活躍されてきたパネリストの方々に社会課題解決型宇宙人材についてパネルディスカッションを実施していただき、G-SPASEプログラム・学生への期待についてお話いただきました。例えば、UAVの発表は2015年夏に開催されたタイ・パンガン島で開催されたワークショップの成果を反映したものでした。以下の10の学生プロジェクト発表がありました。

UAV（無人航空機）：ドローンのユニークな利用法を探る取り組み

Sport Science：スポーツ選手の空間的な動きを科学的に分析する取り組み

Early Warning System：情報技術の進化に伴った災害警報のあり方を検討する

Cellphone Log Analysis：携帯電話やSNSなどで流通する文字情報と空間情報を分析して社会問題解決に貢献する取り組み

Public Health：感染症対策に空間情報分析を活用させる取り組み

Agriculture Intelligence：ディープラーニング解析を駆使し、新たな作物収穫予測をする取り組み

Urban Mapping：地下街や建物の3Dマッピングを効果的に行う手法を検討

Seamless LBS：野外や建物の中での自分の位置を知ることがもたらす新たなサービスやビジネスを検討する

Asian Base Station：衛星測位に関する技術や科学をアジア各国に普及させる活動

Tokyo2020：オリンピックに向けて増加する海外からの旅行者に対して、空間情報を活用した「おもてなし」を検討する

パネルディスカッションでは、パネリストの方々に自身の経験を踏まえ、次世代を担う若者・学生にメッセージを発信していただきました。青年海外協力隊で世界各国のプロジェクトに参加した後に政府でご活躍されている方、企業派遣で海外との接点を拡大していった方、気づいたら国際プロジェクトに巻き込まれていたという方、ユニークなご経験をそれぞれ語っていただきました。G-SPASEプロジェクトの教育活動の目標は、国際社会の舞台上で活躍し、実社会で課題解決をリードしていける人材を育成することです。今後も産学一体となってG-SPASEプロジェクトを進めていく機運が高まる会となりました。（岩澤、慶應義塾大学SDM）

# 実施報告

## ■ 遊びから始まる地理のフロンティア

### 実施者：日本地理学会

「ブラタモリ」（NHK総合）の放映をきっかけとして、地図を片手に、地形や景観、人々の暮らしぶりをじっくり観察するぶらり街歩きは、趣味としてすっかり定着しました。このような地域の自然や人の生活を総合的に理解することは、まさに地理学が主に取り組んできたことであり、「ブラタモリ」は地理学的な見方を一般に広めたことで日本地理学会の学会賞を受賞しています。

最近では、「すりばち」や「暗渠」、「鉄道跡」といった特定のテーマを深く追求したり、アニメの舞台となった場所の「聖地巡礼」など、「オタク」がSNSを中心に広く受け入れられたりしつつあります。このような、一見学問とは遠いと思われる「遊び」も、地理学的に科学することで、その背景にある自然の営みや地域の歴史、文化が浮かび上がり、地域創生や防災の大きなヒントにもなります。

本シンポジウムでは、このような地理的「遊び」の達人をお招きし、「遊び」を地理の眼で科学する最先端をご紹介します。

#### <講演内容>

今尾恵介氏 「地図の向こうにあるもの」を想像する力を

講演者の中学生のころの地形図との出会いに始まり、その後すぐに地図が大好きになった話、当時使っていた数多くの地形図の紹介、また、当時作成した架空地図の紹介など、ある意味非常にマニアックではあるが地図への深い愛がこれでもかと伝わってくる講演がなされた。

また、講演者はアマチュアオーケストラ楽団に所属しているが、地図も音楽も「みんなのもの」であり、どちらも「ある奥深い世界」を記号だけで表現しており、記号の読みの深い-浅いによってその描かれている世界がどれだけ深く読み込めるかという点が共通しているなどの紹介があった。

石川初氏 移動が描く地図、移動で描く地図

地理学がとつきにくかった理由の1つが、地理学の扱うスケールと、私たちの日常生活の酔ケースの乖離だったように思われる。しかし、近年の街歩きブームに見られるように、身体の「移動」をすることで、地図のスケールと地上における実空間のスケールと結び付けることができる。

講演では、大学の授業で行った長期間における学生や教員のGPSログの紹介をしていただいた。属性によってキャンパス内外での移動パターン等が全く異なることなどが地図上で分かりやすく示されていた。

また、GPSログを使って描いたアートなども紹介をいただき、聴講者の興味をひいていた。

磯田弦氏 アニメの背景を探る旅

アニメの聖地巡礼をTwitterのログから観察するという研究について講演がなされた。

Twitterの投稿のうち、ジオタグが付いていてつぶやき場所が特定できる投稿を対象とし、どこでつぶやいているかの分析を行った。

事例とした茨城県大洗町（ガールズ&パンツァー）と滋賀県豊郷町（けいおん）への訪問者数は、日常生活圏からの距離にほぼ反比例することが分かった。比較対象とした福島県会津若松市（大河ドラマ 八重の桜）でも同様な結果であり、これらのアニメは大河ドラマと遜色ない訪問動員数があったことが分かった。

コミケ参加者のみの投稿に限って分析を行うと、たまゆら、けいおん、花咲くいろは、CLANNADなどの聖地巡礼が検出されたが、同時に鉄道イベントなども検出された。

全投稿者とそのうちコミケ参加者を比較すると、前者の訪問市町村数の中央値は6であるのに対し、後者は44であり、一般的なイメージに反して、いわゆる「オタク」がいろいろはところを訪問していることが明らかになった。

# 実施報告

---

## ■ 遊びから始まる地理のフロンティア

### 実施者：日本地理学会

小林政能氏 地図の楽しみとは？

講演者は、地図・地理のファンを増やす・維持する活動を積極的に行っており、その中でファンの獲得や集いの場として、「境界教会」「地図ナイト」等の取り組みを行っている。

「境界協会」は地図上に描かれているが現実には見えない市町村境界などを追う街歩きイベントである。なぜそこに境界があるのかを疑問に持つことで、その土地の歴史や文化、地形を考えるきっかけにもなる。

「地図ナイト」はよりマニアックな「地理地図地形大好き大集合の大人気エンタメトークイベント」であり、毎回異なる専門家達が登壇し、ざっくばらんなトークで盛り上がる事ができる。講演当日の夜にも「地図ナイト」が開催されるという紹介もされた。

4名の講演のあと、会場からの質問も交えて、活発な議論がされた。

執筆者：佐藤壮紀（日本地理学会）

# 実施報告

## ■ 地球観測の発展に向けたコミュニティと利用の連携

実施者：一般社団法人 日本写真測量学会

一般社団法人 日本リモートセンシング学会

◀ 共催 ▶ 一般社団法人地理情報システム学会

現在、地球観測のコミュニティでは、地球観測衛星の意義と将来計画に関する議論が活発に行なわれている。一方、宇宙基本計画では、我が国の宇宙政策の推進に当たって「宇宙利用による価値の実現（出口戦略）を重視する」としており、宇宙政策の目標に「民生分野における宇宙利用推進」が挙げられている。すなわち今後の地球観測の発展のためには、民生分野での地球観測情報の利用動向を的確に把握し、シーズとしての技術と結び付けることが重要である。そこで、本シンポジウムでは、背景としての気候変動とビジネスの係わりと地球観測情報の活用が期待される防災、食料、健康分野における取り組みについて利用側から紹介いただいた後、各講演者に地球観測コミュニティ側からのパネリストも加わってパネルディスカッションを行い、利用と地球観測コミュニティとの連携、協働を如何に進め、発展させるかを議論した。

講演として、(株)三井物産戦略研究所の本郷尚氏から、気候変動問題に対する国際枠組の歴史と翌週に始まるCOP21の展望が紹介され、COP21参加各国が提示している二酸化炭素削減目標を全て加えても気温2度上昇の達成には全く不十分であり、今後、二酸化炭素の回収・貯留（CCS）やREDD+などの緩和策が注目されていること。気候変動影響が早期に顕在化すると考えている企業が多いこと。気候変動が現実となりつつあり適応策が重要であること。COP21後、先進国は技術と資金を途上国に提供することとなり、リモートセンシングのポテンシャルは大いだがまだ手探りの状況にあることなどが説明された。

(株)豊通エレクトロニクスの相馬哲之介氏からは、企業のサプライチェーンが国際化する中、企業の事業継続計画を支える同社の災害対策システムの概要が紹介された。タイ国や欧州中部での洪水で顕在化した水害によるリスクを例に、リモートセンシングへの期待として「いつ洪水がくるか予測すること」、「もっと細かい情報を見ること」があり、これらがあれば企業のリスク対応活動がより効果的に行えること。課題としてはデータの価格と解析結果が出るまでの時間があることなどが説明された。また、今後は自動走行への取り組みが大きなテーマであることも紹介された。

味の素(株)の長谷川泰伸氏からは、食の需要と供給のバランスが世界の持続的な成長と貧困の撲滅に大きく影響すること。農業においてはサトウキビを例とした資源循環型アミノ酸発酵生産の概念とサプライチェーンの最上流とも協働してサステナブルな生産を構築していること。漁業においてはカツオを例として科学的調査、根拠に基づく資源管理が重要であること。現地の状況や海流の把握でリモートセンシングに期待があること。生活者とのコミュニケーションが大切であることなどが説明された。

本稿執筆者の福田徹からは、気候変動の影響が感染症の拡大や熱中症の増加など健康にも及ぶこと。GEOや各国宇宙機関での研究動向。近年、世界保健機関(WHO)では大気汚染の健康影響を問題視していること。京都大学上田佳代准教授の地球観測推進部会資料をもとに疫学者にとってリモートセンシングデータは分かりにくく、データ提供者と使用者の間のコミュニケーションが重要であることなどが説明された。

引き続き、国際航業(株)赤松幸生氏をモデレータとして、講演者に日本写真測量学会から布施孝志准教授、日本リモートセンシング学会から福田徹が加わりパネルディスカッションを行なった。

パネルディスカッションでは、まず各講演で示された要望と課題について整理を行なった。本郷氏からは、リモートセンシングはまだ知られておらず、多くの選択肢(オプション)の中のひとつであるとの認識が足りない、との厳しい指摘がなされた。共通的な課題として、ニーズサイドとのコミュニケーションの不足と推進体制の不足があり、これを克服するために具体的な社会課題・ニーズの把握の励行、具体的な実証・普及活動の推進、欧州コペルニクスのような社会実装推進プロジェクトの提案を行なって行くべきことが結論された。

執筆者：福田徹・一般財団法人リモート・センシング技術センター

# 実施報告

## ■ 第4回地理院地図パートナーネットワーク会議

### 実施者：国土地理院

国土地理院では、様々な用途で利用いただける地図データ「地理院タイル」を提供しています。地理院タイルをはじめとする地理空間情報の活用推進を目的として、パートナー（受託開発者、ツール提供者）との参加型のネットワークを構築し、情報共有・意見交換を実施しています。

今回の会議では、国土地理院からの情報提供と地理院地図パートナーからの事例紹介を行い、地理院タイルへの要望や具体的な利用手順、必要な手続きなどについて、地理院タイルの提供者と利用者、および利用者間で、意見交換やディスカッションが行われました。

#### 1. 国土地理院からの情報提供（国土交通省 国土地理院）

国土地理院からは、地理院タイルのデータ充実、地図データを機械判読可能な形式「ベクトルタイル」で提供するベクトルタイル提供実験の進捗、ウェブ地図「地理院地図」の機能改善・高速化の改良などについて情報提供を行いました。

#### 2. 地理院地図パートナーからの事例紹介

##### (1) 地理院タイルをCIMで使い倒す！（オートデスク株式会社 井上修）

CIM（Construction Information Modeling）とは、3次元の形状情報に加え、材料の仕様・性能、コスト情報等の属性情報を併せ持つ建設情報モデルを構築することにより、設計～施工、維持管理に至るまでの建設事業全体での生産性の向上を図る取り組みです。この取り組みに対応したCIM支援ツールを使って、地理院タイルを都市計画、道路等予備設計、交通シミュレーション、被災後の復興などの検討に利用する方法が紹介されました。

(2) 日本的コミュニティの形成とGISの普及－山車にGPSを載せた10年を振り返る（立正大学 後藤真太郎）  
熊谷市のうちわ祭りでは、スマートフォンがない時代から、山車・屋台の位置をGPSで取得し、その位置をGISで表示するシステム（山車どこシステム）を10年もの間実利用しています。各々の機関が寄付金の代わりにディスプレイやインターネット関連機材、ソフトウェアなどを提供し合うなど、「祭り」を通じたコミュニティ形成が、持続的なシステム利用につながった事例として、紹介されました。

(3) 日本シームレス地質図2D/3D統合版（産業技術総合研究所 西岡芳晴）  
誰にでも使いやすい地質図を目指して、地理院タイルを利用したWebで利用可能な2次元（2D）ビューアと3次元（3D）的に表示可能な「シームレス地質図3D」がそれぞれ開発され、提供されています。その紹介が行われるとともに、現在開発が行われているこれら2Dと3Dを統合した「シームレス地質図2D/3D統合版」について、その内容が紹介されました。

(4) もっと、国で整備されたデータを利用しよう！ こんな使い方をしています（GIS大縮尺空間データ官民共有化推進協議会 松村一保）

オープンソースソフトウェア活用して地方公共団体等で運用している、道路調整会議システム、埋設物調査システム、地域防災MAP作成支援システム、災害情報共有システムなどについて、地理院地図など国土地理院のデータの利用状況、そして、位置の基準である基盤地図情報をDXFに変換してCADユーザの誰もが利用できる環境を提供している事例について紹介されました。

(5) Porting 国土地理院 to OpenStreetMap（ウェブサービス・ディベロップメント ベンジャミン・コリンズ）  
オープンに利用可能なOSM（オープン・ストリート・マップ）を利用し構築したWebアプリケーションのタイルマップサーバに対し、精度が保証された国土地理院の基盤地図情報が利用できるよう、OSMのデータベース形式に変換するツールを作成し、このツールを使って、基盤地図情報データをOSMのデータベースにインポートした事例が紹介されました。

# 実施報告

## ■ 第4回地理院地図パートナーネットワーク会議

実施者：国土地理院

(6) Geopaparazziでフィールドワークも地理院タイル！（OSGeo財団日本支部 林博文）

Android上で動作するオープンソースのモバイルGISとして開発されたGeopaparazziで、通信が途切れる可能性があるフィールドでの調査において、地理院タイルをオンライン時だけでなくオフライン時にも利用する"MBTiles"の作成方法について紹介がありました。

(7) DENKOKUROBOによるベクタータイルと標高タイルの重畳利用による経路検索プロトタイプ（株式会社マップコン 五十鈴まゆみ）

地理院地図がベクトルタイルとして配信されることにより、単なる背景図の利用から、様々な検索や解析処理への応用が可能になってきています。地理院地図と道路中心線ベクトルタイルを利用した経路検索に、更に、標高タイルと重畳することで勾配を加味する検索システムのプロトタイプを構築し、ネットワークが接続していれば、事前のデータセットアップなしに、ほぼゼロベースのデータから、各種のGIS的処理ができることを検証した結果が紹介されました。



## 8. 制作物



■ポスター（B2 / 片面 / フルカラー）

# Hold The Future.

日本の未来が見える。



Geo spatial  
**G空間EXPO** 2015  
地理空間情報科学で未来をつくる

**11/26<sup>木</sup> 27<sup>金</sup> 28<sup>土</sup>** 会場: 日本科学未来館 (東京・お台場)  
[開催時間] 10:00 ~ 17:00

**入場無料**

常設展示をご覧いただくには  
入館料が必要です。

G空間EXPO 2015 公式ウェブサイト: <http://www.g-expo.jp>

■主催: G空間EXPO2015運営協議会 / 公益社団法人日本測量協会、一般社団法人全国測量設計業協会連合会、一般社団法人日本測量機器工業会、公益財団法人日本測量調査技術協会、一般財団法人衛星測位利用推進センター、gコンテンツ流通推進協議会、一般社団法人地理情報システム学会、内閣官房、内閣府宇宙戦略室、国土交通省国土政策局、国土交通省国土地理院、独立行政法人宇宙航空研究開発機構  
■共催: 日本科学未来館、一般社団法人東京臨海副都心まちづくり協議会 ■後援: 東京都港湾局

(2015年7月1日現在)





## ■当日プログラム (A4 / 両面 / フルカラー / 8P)

### 地理空間情報フォーラム

最先端技術に触れて感動、  
専門家に役立つベンダーフォーラムも開催!

多様な地理空間情報に関する最新情報を提供します。  
地理空間情報の活用とそのノウハウ、さらに地理空間情報分野を志す人材育成や人材育成などを通じて、GIS社会の実現への貢献を目指します。

出版者一覧	体験イベント
1 (株) 日本地図センター 2 (株) 日本地理院 3 (株) 国土院 4 (株) 国土院 5 (株) 国土院 6 (株) 国土院 7 (株) 国土院 8 (株) 国土院 9 (株) 国土院 10 (株) 国土院 11 (株) 国土院 12 (株) 国土院 13 (株) 国土院	<b>A</b> 測量コンテスト <b>B</b> 人工衛星のサイズ <b>C</b> 障害やタブレットによる制作体験 <b>D</b> 地理情報系 Photogrammetry モーリング体験 <b>E</b> 3DレーザースキャナーデータでAR体験 <b>F</b> ヘッドマウントディスプレイを利用し、進行体験を体験 <b>G</b> 高精度色でVR撮影を体験 <b>H</b> UAVを触れて体験 <b>I</b> 災害情報提供システムを体験する実用アプリ等の制作を体験

1F 企画展示ゾーンa-b

1F 多目的ルームa-b

11/26e 10:00~17:00  
11/27e 10:45~16:30  
11/28e 10:00~17:00

Geo空間社会に貢献、地理空間情報がはたす役割

ベンダーフォーラム  
学生フォーラム2015

GeoEXPO2015

### Geo アクティビティ フェスタ

驚きと感動で期待膨らむニッポンの未来を体験!

Geo空間情報に関する最新のアイデア、ユニークな製品、最新の技術を持つベンダー企業、大学関係者、NPO法人等による展示やプレゼンテーションの機会を提供し、関係者の交流を促進します。展示やプレゼンテーションを行うベンダーは一般公募し、選考の上決定しました。プレゼンテーションには、会場においてアイデアや製品等の展示やプレゼンテーションを行います。また、プレゼンテーションについては審査委員による審査を行い、優秀な作品については表彰を行います。

11/27e 10:00~18:00

11/28e 11:50~12:20

11/26e~28e 10:00~17:00

1F コミュニケーションロビー | プレゼンテーション会場

1F コミュニケーションロビー | 展示会場

### Geo エducation プログラム

G空間情報で変わる教育や生活、  
子ども驚く体験がいっぱい!

自治体職員及び教育関係者への研修等を実施します。  
また、企業向けに「学生実習向けの体験イベントや、GeoEXPO会場内を巡るツアー」などを実施します。

11/27e 11/28e

自治体におけるGIS×統計・地域分析

学校における未来のG空間情報教育

Geoアドラクションズ

1F 会議室2

1F 会議室1

1F 未来館ホール

1F イノベーションホール

### 講演・シンポジウム

最新情報や研究成果、業界動向の先端に触れて「理解」から「熟知」へ!

Geo空間社会への理解を深めるための講演・シンポジウムから、Geo空間社会をよりよく発展させるための実践的発表、展示・技術動向の紹介など、関係各団体によるさまざまなプログラムを実施します。

11/26e 11/27e 11/28e

7F

1F 会議室2

1F 会議室1

1F 未来館ホール

1F イノベーションホール



# 制作物

## ■ Geoアクティビティフェスタ (A4 / 両面 / フルカラー)



**G空間EXPO2015**  
**Geo**  
**アクティビティ**  
**フェスタ**

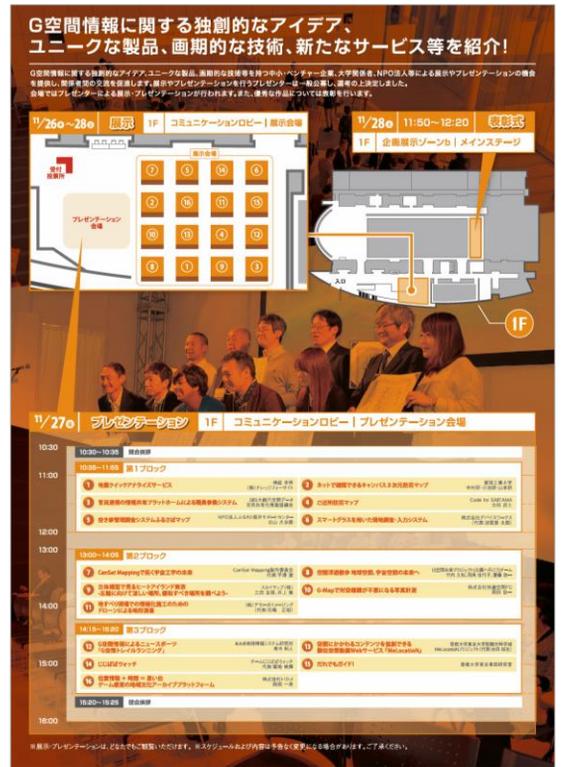
主催：国土交通省(国土政策局・国土地理院)  
 一般財団法人日本情報経済社会推進協会(JIPDEC)

**G空間情報に関する画期的な技術！  
 新たなサービス等を紹介！**

11/26(木) 27(金) 28(土)  
 10:00~17:00 入場無料

日本科学未来館(東京・お台場)  
 (東京都江東区青海2丁目3-6)

http://www.g-expo.jp/geofes/  
 お問い合わせ Geoアクティビティフェスタ事務局(国土地理院 地理空間情報企画室)  
 Tel: 029-864-2056 Email: gsi-g-event@m.l.mlit.go.jp twitter: @geo\_fes



**G空間情報に関する独創的なアイデア、ユニークな製品、画期的な技術、新たなサービス等を紹介！**

G空間情報に関する独創的なアイデア、ユニークな製品、画期的な技術等を持つ中小ベンチャー企業、大学研究者、NPO法人等による展示やプレゼンテーションの機会を創出し、関係機関等と連携を図ります。会場ではワークショップや体験型展示など、参加型イベントを多数実施し、活発な交流を促します。会場ではプレゼンテーションによる最新技術のデモンストラレーションが行われ、最新の技術動向について最新情報を得られます。

11/26e~28e 会場 1F コミュニケーションロビー | 展示会場  
 11/28e 11:50~12:20 質疑応答  
 1F 企画展示ゾーン | メインステージ

11/27e プレゼンテーションショー 1F コミュニケーションロビー | プレゼンテーション会場

10:30-10:45	開会式	10:45-11:00	第1ブロック
11:00-11:15	1 地域防災のためのGIS活用	11:15-11:30	2 多岐にわたるGIS活用事例の紹介
11:30-11:45	3 都市計画・まちづくりのためのGIS活用	11:45-12:00	4 ストア・レジスタを備えたGIS活用事例
12:00-12:15	12:15-12:30	12:30-12:45	12:45-13:00
13:00-13:15	13:15-13:30	13:30-13:45	13:45-14:00
14:00-14:15	14:15-14:30	14:30-14:45	14:45-15:00
15:00-15:15	15:15-15:30	15:30-15:45	15:45-16:00
16:00-16:15	16:15-16:30	16:30-16:45	16:45-17:00

※展示・プレゼンテーションは、どなたでも観覧いただけます。※スケジュールおよび内容は予告なく変更になる場合があります。ご了承ください。

## ■ Geoエデュケーションプログラム (A4 / 両面 / フルカラー)



**G空間EXPO2015**  
**Geo**  
**エデュケーション**  
**プログラム**

G空間情報で変わる教育や生活、  
 子供も驚く体験がいっぱい！

11/27e 28e 会場：日本科学未来館(東京・お台場)

11/27e 10:00~17:00	11/28e 10:30~16:30
<b>自治体におけるGIS×統計・地域分析</b> 自治体関係者	<b>学校における未来のG空間情報教育</b> 教育関係者・一般来場者
<b>Geoアトラクションズ</b> 一般来場者	

参加者募集中!

ご応募は公式WEBサイトから  
<http://www.g-expo.jp/geoedu/>

G空間EXPO 検索  
 最新情報は、G空間EXPO Facebook公式アカウントをチェック!

お問い合わせ 国土交通省国土政策局国土情報課(担当:荒井)  
 TEL: 03-5253-8353 / E-mail: info@g-expo.jp



地理空間情報科学でつくる未来を見て!感じて!楽しく学ぼう!

11/27e 自治体におけるGIS×統計・地域分析 自治体関係者

GISの活用事例  
 10:30~12:00  
**統計データやオープンデータを、GISを活用して見える化!**  
 GISを活用して、統計や地域情報を見える化し、まちづくりや防災に活用できる。GIS活用事例を基に、統計や地域情報を見える化し、まちづくりや防災に活用できる。GIS活用事例を基に、統計や地域情報を見える化し、まちづくりや防災に活用できる。

11/28e 学校における未来のG空間情報教育 教育関係者・一般来場者

基礎講演  
 13:00~13:20  
 文部科学省 教育政策課 瀬野 清 氏

13:20~16:30  
**未来のG空間情報教育を体験!**  
 未来のG空間情報教育を体験! 未来のG空間情報教育を体験! 未来のG空間情報教育を体験!

11/28e Geoアトラクションズ 一般来場者

10:30~12:00  
**親子で楽しむプログラミング! 日本地図センター・プレゼン「3D富士山をつくってみよう」**  
 「富士山の3Dモデル」を作成する。親子で楽しむ体験型イベントです。

11:00~12:00  
**「立体地図・電子古地図を見て江戸の土地を探る」**  
 歩きながら歴史を学ぶ! 好きな地図や場所について、GIS情報を使いながら歴史や地理のフィールドワークです。

11/28e 午後 Geo空間EXPO2015 G空間体験ツアー

お問い合わせ 国土交通省国土政策局国土情報課(担当:荒井)  
 TEL: 03-5253-8353 / E-mail: info@g-expo.jp

## 9. 広報活動

# 広報活動

## ■ G空間EXPO公式WEBサイト

HOME | 開催概要 | フロアマップ | アクセス | お問い合わせ・資料ダウンロード | サイトマップ

# Geo spatial G空間EXPO 2015

地理空間情報科学で未来をつくる

11/26(木) 27(金) 28(土) 日本科学未来館(東京・お台場)  
[開催時間] 10:00~17:00 入場無料

Geo空間EXPOメッセージゾーン | 地理空間情報フォーラム | Geoアクティビティフェスタ | Geoエンターテインメントプログラム | 講演シンポジウム

Hold The Future.  
日本の未来が見える。

G空間EXPO2015は終了いたしました。たくさんのご来場ありがとうございました。

Geo spatial G空間EXPO 映像記録公開中!  
地理空間情報科学で未来をつくる | YouTube, 外部サイトに転載します。

G空間EXPO2015 来場者数 (=ゲート通過者数)

26日(木)	27日(金)	28日(土)
4,897名	7,436名	6,523名
3日間合計		18,856名

各々の来場者数の重複等については考慮しておりません。  
講演・シンポジウムの参加者数については、含まれておりません。

EXPO関係者へのインタビューを実施し、公式Webサイトに掲載しました。

スペシャルインタビュー | What's New | Official Facebook | Official Twitter

Facebook公式アカウント、Twitter公式アカウントのタイムラインを掲出しました。

G空間EXPO開催履歴

メディアパートナー

メディアパートナーとの相互リンクを設定しました。

Link

G空間EXPO2015運営協議会ワーキングチーム各社との外部リンクを設定しました。

# 広報活動

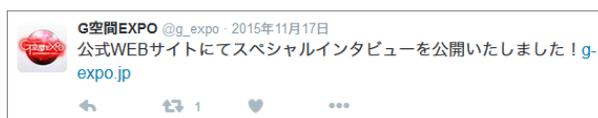
## ■ G空間EXPO公式SNS

Facebook



総投稿数：49

Twitter



総投稿数：25

## ■ G空間EXPO公式動画配信サイト

Youtube



角川アスキー総合研究所 取締役 主席研究員  
遠藤 諭 氏



NPO法人位置情報サービス研究機構(Lisra)  
代表理事 / 名古屋大学未来社会創造機構 教授 河川 信夫 氏

## ■ 日本科学未来館との連携（公式WEB / 館内告知）

The screenshot shows the Miraikan website interface. At the top, there is a header with the Miraikan logo and navigation links. Below the header, there is a main navigation bar with tabs for 'ご利用案内', '常設展', '企画展', 'ドームシアター', 'イベント', 'Miraikan Online', 'Join!', and 'About us'. The 'イベント' tab is selected, and the page displays the 'G空間EXPO2015' event information.

**イベント情報**

**イベントアーカイブ**

**G空間EXPO2015**

近年、スマートデバイス普及と通信機種の充実、オープンデータ推進の動き等に伴い、位置と時間の情報（＝G空間情報）の取得・活用をとりまく環境は大きく進展しています。様々な分野でG空間情報を活用した製品やサービスが生まれ、もはやG空間情報は日常生活や経済活動に欠かせないものとなっています。

それらの発展を支える測位技術の分野においても、高度な測位の実現を目指し、平成22（2010）年9月に準天測衛星の初号機「みちびき」が打ち上げられ、今後、平成30（2018）年に4機体制の運用開始（予定）、将来的には7機体制への拡充を目指しているほか、屋外・屋内を問わずシームレスに位置情報を発信・取得するための取組が進む等、今後大きな進展が見込まれています。

また、平成32（2020）年の東京オリンピック・パラリンピック開催決定にあたり、G空間情報を活用した様々なサービスの登場が期待されています。

「G空間EXPO2015」においては、引き続きG空間情報に関する身近なサービス・製品や最先端の技術と、それに関わる産学官の関係者が一堂に集い、展示・講演・シンポジウム、体験イベント等を通じて広く一般の方々にそれらを紹介するとともに、技術やサービスの創出と一層の高度化・発展、関係者相互の交流の促進、そして新しい提案や創意工夫を盛り起こす場となるよう、取り組んでまいります。

**G空間EXPO2015**

開催日時	2015年11月26日(木)～28日(土) 10:00～17:00
開催場所	日本科学未来館 1階 企画展示ゾーン他
参加費	無料
参加方法	一部事前申込み制
主催	G空間EXPO2015 運営協議会 構成員 公益社団法人日本測量協会、一般社団法人全国測量設計業協会連合会、 一般社団法人日本測量機器工業会、公益財団法人日本測量調査技術協会、 一般財団法人衛星測位利用推進センター、gコンテツツ流通推進協議会、 一般社団法人地理情報システム学会、内閣府宇宙戦略室、 国土交通省国土政策局、国土交通省国土地理院、 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構
共催	日本科学未来館、一般社団法人東京臨海副都心まちづくり協議会
後援	東京都港湾局

関連リンク

- G空間EXPO2015

日本科学未来館公式Webサイト内でG空間EXPO2015のイベント紹介

・日本科学未来館7Fにおいてポスターの掲出とチラシを設置しました。

# 広報活動

## ■ 日本科学未来館との連携（公式SNS）



日本科学未来館   
@miraikan



G空間社会って何！？ 僕らの未来をどう変える？ 11/26(木)～28(土)「G空間EXPO2015」を開催します。地理空間情報科学を知り、触れ、学ぶ3日間です。詳細は→ [miraikan.jst.go.jp/event/15112614...](http://miraikan.jst.go.jp/event/15112614...)

17 リツイート    19 いいね

3:00 - 2015年11月17日



日本科学未来館   
@miraikan



【明日開催】 G空間社会って何！？ 僕らの未来をどう変える？ 11/26(木)～28(土)「G空間EXPO2015」を開催します。地理空間情報科学を知り、触れ、学ぶ3日間です。詳細は→ [miraikan.jst.go.jp/event/15112614...](http://miraikan.jst.go.jp/event/15112614...)

25 リツイート    11 いいね

1:01 - 2015年11月25日

日本科学未来館公式Twitterにて告知しました。  
(2015年11月17日、11月25日)



## ■ G空間EXPO2015 メディアパートナーとの連携 (WEB)

### ● ルートプレス21

### ● Expo TODAY

## ■ G空間EXPO2015 メディアパートナーとの連携 (雑誌 / 新聞)

### 東京IT新聞

2015年(平成27年) 10月 22日 (土曜日)

**西日本最大級のITイベント  
「ひろしまIT総合展」を開催**

10月23日(9時から15日)まで3日、広島県広島市の広島国際会議場で「ひろしまIT総合展2015」が開催されました。2年連続で開催されるこのイベントは、広島県IT産業の発展を促進し、IT産業の活性化を図ることを目的として開催されています。

10月23日(9時から15日)まで3日、広島県広島市の広島国際会議場で「ひろしまIT総合展2015」が開催されました。2年連続で開催されるこのイベントは、広島県IT産業の発展を促進し、IT産業の活性化を図ることを目的として開催されています。

**21日(水)から23日(金)まで3日間**

広島県IT産業の発展を促進し、IT産業の活性化を図ることを目的として開催されています。

**11月** [札幌] 北見県ベンチャー・スタートアップEXPO2015  
5(木)

**11月** 群馬県SEO研究会—SEO勉強会  
5(木)

**11月** 山口県IT産業大会  
12(水) ~ 16(月)

**11月** 0空間EXPO2015 開催報告  
26(水) ~ 28(金)

全国の入札情報を一括検索できます。

入札主 全国で年間約50万回の入札情報を一括検索できます。

www.nyusatsu-king.com

### サテマガ

NEWS FILE

料2,680円の「データ無制限+音声通話プラン(V)」が用意されている。(15.11.16)

**NTTコム NOTTVサービス終了発表**

(株)NTTコムは、グループ会社である(株)mmbi(東京・港区、代表取締役社長、以下mmbi)が提供するスマートフォン向け放送サービス【NOTTV(ネットワークTV)】を、10月30日をもって終了することを発表した。

NOTTVは、日本初のスマートフォン向け放送サービスとして、12年4月にmmbiより提供を開始したが、昨今のスマートフォン向けのインターネットなどによる映像配信の普及により、想定していた会員数の獲得に至らず、今後の事業継続が困難な見込みであることからサービスを終了することとした。

なお、サービス終了のお知らせに伴い、NOTTVサービスの新規申込み受付を終了する。現ユーザーについては、動画配信サービス【dTV】などのサービスを利用できるように現在進めている。

ソニー、従量型リモートカメラ発売

ソニーは、従量型リモートカメラSRGシリーズのフラッグシップモデルとして、フルHD(1920x1080)かつ60フレーム/秒での映像出力に対応し、動きのある被写体を高画質で捉えながら撮影できる、従量型リモートカメラ「SRG」

TOPIC

**地理空間情報による日本の未来を見せた「G空間EXPO2015」開催**

G空間EXPO2015運営協議会(国土交通省国土政策局、国土地理院が主催)による「G空間EXPO2015」が11月26日～28日の3日間、東京・お台場の日本科学未来館で開催され、3日間で1万6,856人が来場した(観覧券なし)。

地理空間情報による日本の未来を見せた「G空間EXPO2015」開催

今年のカンパニーは、「Hold The Future 日本の未来が見える。」をコンセプトに、G空間情報一地理空間情報を活用することで実現する日本の未来の姿が披露され、来場者に驚きや期待を感じさせた。

地理空間情報に関する展示は、4階建ての多層階が計画されている。会場では、内閣府情報戦略推進事務局が主催する「G空間EXPO2015」が11月26日～28日の3日間、東京・お台場の日本科学未来館で開催され、3日間で1万6,856人が来場した(観覧券なし)。

2019年に商業市場が伸びる上は、4階建ての多層階が計画されている。会場では、内閣府情報戦略推進事務局が主催する「G空間EXPO2015」が11月26日～28日の3日間、東京・お台場の日本科学未来館で開催され、3日間で1万6,856人が来場した(観覧券なし)。

2019年に商業市場が伸びる上は、4階建ての多層階が計画されている。会場では、内閣府情報戦略推進事務局が主催する「G空間EXPO2015」が11月26日～28日の3日間、東京・お台場の日本科学未来館で開催され、3日間で1万6,856人が来場した(観覧券なし)。



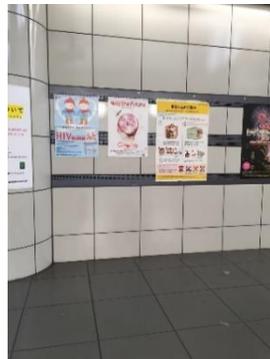
# 広報活動

## ■ G空間EXPO2015 その他媒体との連携（駅内広告）

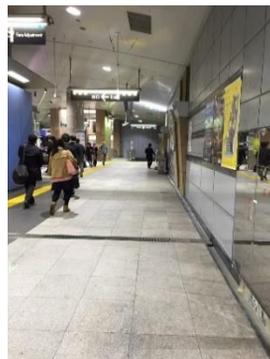
### <品川シーサイド駅>



### <東雲駅>



### <国際展示場駅>



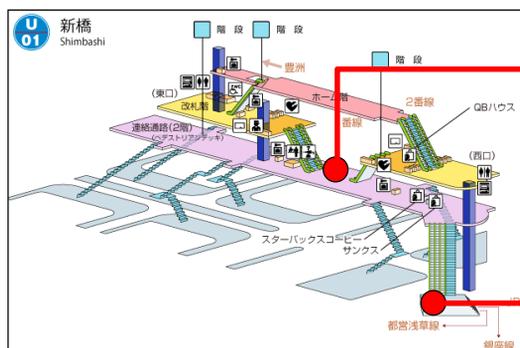
### <新木場駅>



# 広報活動

## ■ G空間EXPO2015 その他媒体との連携（ゆりかもめ新橋駅 デジタルサイネージ）

（ゆりかもめ新橋駅 デジタルサイネージ設置場所）



（映像の構成）10月1日（水）～11月30日（日）まで、ゆりかもめ新橋駅にて放映。15秒映像を2回繰り返して30秒の映像として放映しました。



宇宙を背景にG空間EXPO2015の統一テーマ「日本の未来が見える。」と類似したコピーが出現。

キービジュアルにも使用したドローンや人工衛星など今後の世界をイメージさせる画像が次々と出現。背景の水晶の中に引き込まれていく。

メインビジュアルに近い画とともに、開催日時が出現し、映像が決まる。





# 広報活動

## ■ ニュースリリース配信先

メディア種類	メディア名	部署名	会社名	配信
T V 番組	全国朝日放送 (テレビ朝日)	制作局	株式会社テレビ朝日	FAX
T V 番組	テレビ東京	ワールドビジネスサテライト	株式会社テレビ東京	FAX、メール
T V 番組	テレビ東京	制作局	株式会社テレビ東京	FAX
T V 番組	フジテレビジョン	報道情報本部 報道局	株式会社フジテレビジョン	FAX
T V 番組	TBS	取材センター	株式会社TBSテレビ	メール
T V 番組	TBS	報道局 経済部	株式会社TBSテレビ	FAX
T V 番組	日本テレビ放送網	報道局	日本テレビ放送網株式会社	FAX
T V 番組	日本放送協会(大阪)	制作局	株式会社日本放送協会	FAX
T V 番組	放送センター	報道局 生活情報部	株式会社日本放送協会	FAX
T V 番組	ビーエスフジ(BSフジ)	制作局	株式会社BSフジ	FAX
T V 番組	ビー・エス・アイ (BS-i)	制作局	株式会社ビーエス・アイ	FAX
雑誌	サンデー毎日	編集部	株式会社毎日新聞社	メール
雑誌	SAPIO	編集部	株式会社小学館	FAX
雑誌	Newsweek日本版	編集部	株式会社CCCメディアハウス	FAX
雑誌	週刊朝日	編集部	株式会社朝日新聞社	FAX
雑誌	週刊プレイボーイ	編集部	株式会社集英社	FAX
雑誌	SPA!	編集部	株式会社扶桑社	メール
雑誌	週刊エコノミスト	編集部	株式会社毎日新聞社	FAX
雑誌	Goods Press	編集部	株式会社徳間書店	FAX
雑誌	DIME	編集部	株式会社小学館	FAX、メール
雑誌	ホリデーオート	編集部	株式会社モーターマガジン社	FAX
雑誌	オートメカニック	編集部	株式会社内外出版社	FAX
雑誌	一個人	編集部	株式会社ベストセラーズ	FAX
雑誌	Begin	編集部	株式会社世界文化社	FAX
雑誌	CARandDRIVER	編集部	株式会社カー・アンド・ドライバー	FAX
雑誌	特選街	編集部	株式会社マキノ出版	FAX
雑誌	CARTOP	編集部	株式会社交通タイムス社	FAX
雑誌	Sports Graphic Number	編集部	株式会社文藝春秋	FAX、メール
雑誌	陸上競技マガジン	編集部	株式会社ベースボール・マガジン社	FAX
雑誌	ランナーズ	編集部	株式会社アールビーズ	FAX
雑誌	日経トレンディ	編集部	株式会社日経BP	FAX
雑誌	ビジネスチャンス	編集部	株式会社ビジネスチャンス	FAX
雑誌	THE21	編集部	株式会社P H P 研究所	FAX
雑誌	AERA	編集部	株式会社朝日新聞社	メール
雑誌	プレジデント	編集部	株式会社プレジデント社	FAX
雑誌	週刊東洋経済	編集部	株式会社東洋経済新報社	メール
雑誌	週刊ダイヤモンド	編集部	株式会社ダイヤモンド社	FAX
雑誌	日経ビジネス/日経ビジネスオンライン	編集部	株式会社日経BP	FAX、メール
雑誌	BIG tomorrow	編集部	株式会社青春出版社	FAX、メール
雑誌	日経マネー	編集部	株式会社日経BP	FAX
雑誌	日経ものづくり	編集部	株式会社日経BP	FAX
雑誌	月刊自家用車	編集部	株式会社内外出版社	メール
雑誌	GAR GRAPHIC	編集部	株式会社カーグラフィック	FAX
雑誌	IT Leaders	編集部	株式会社インプレス	メール
雑誌	日経PC21	編集部	株式会社日経BP	メール
雑誌	Mac Fan	編集部	株式会社マイナビ	メール
雑誌	日経パソコン	編集部	株式会社日経BP	メール
雑誌	日経コンピュータ	編集部	株式会社日経BP	FAX
雑誌	Get Navi	編集部	株式会社学研パブリッシング	FAX、メール
雑誌	製菓時報	編集部	週刊製菓時報株式会社	メール
雑誌	日経NETWORK	編集部	株式会社日経BP	メール
雑誌	日経SYSTEMS	編集部	株式会社日経BP	メール
雑誌	日経ビジネスアソシエ	編集部	株式会社日経BP	メール
雑誌	日経グローバル	編集部	株式会社日経BP	FAX
雑誌	CarGoods magazine	編集部	株式会社三栄書房	FAX
雑誌	デジモステーション	編集部	株式会社エムオン・エンタテインメント	メール
雑誌	Yen SPA!	編集部	株式会社扶桑社	メール
雑誌	COURRIER Japon(クーリエ・ジャポン)	編集部	株式会社講談社	FAX
雑誌	ビジネスコミュニケーション	編集部	株式会社ビジネスコミュニケーション社	メール
雑誌	週刊経済	編集部	株式会社地域情報センター(福岡)	FAX
雑誌	日経コミュニケーション	編集部	株式会社日経BP	メール

# 広報活動

## ■ ニュースリリース配信先

メディア種類	メディア名	部署名	会社名	配信
雑誌	Sports Graphic Number	編集部	株式会社文藝春秋	FAX
雑誌	ランニングスタイル	編集部	株式会社エイ出版社	メール
雑誌	ENGINE	編集部	株式会社新潮社	メール
雑誌	driver	編集部	株式会社八重洲出版	メール
雑誌	Car Goods Magazin	編集部	株式会社クラシマ・プロダクツ	メール
雑誌	自動車工学	編集部	株式会社鉄道日本社	メール
雑誌	日経Automotive Technology	編集部	株式会社日経BP	FAX
雑誌	GIS NEXT	編集部	株式会社ネクストパブリッシング	メール
新聞	毎日新聞	社会部	株式会社毎日新聞社	FAX、メール
新聞	毎日新聞	学芸部	株式会社毎日新聞社	FAX
新聞	毎日新聞	生活報道部	株式会社毎日新聞社	FAX
新聞	毎日新聞	経済部	株式会社毎日新聞社	FAX、メール
新聞	日本経済新聞	企業報道部	株式会社日本経済新聞社	FAX
新聞	日本経済新聞	生活情報部	株式会社日本経済新聞社	FAX
新聞	日本経済新聞	社会部	株式会社日本経済新聞社	FAX、メール
新聞	日本経済新聞	企業報道部	株式会社日本経済新聞社	FAX
新聞	産経新聞	経済部	株式会社産経新聞社	FAX
新聞	産経新聞	社会部	株式会社産経新聞社	FAX
新聞	産経新聞	文化部	株式会社産経新聞社	FAX、メール
新聞	読売新聞	社会部	株式会社読売新聞社	FAX、メール
新聞	読売新聞	経済部	株式会社読売新聞社	メール
新聞	読売新聞	生活情報部	株式会社読売新聞社	FAX
新聞	読売新聞	科学部	株式会社読売新聞社	メール
新聞	朝日新聞	社会部	株式会社朝日新聞社	FAX
新聞	朝日新聞	広報部	株式会社朝日新聞社	FAX
新聞	朝日新聞	文化くらし報道部	株式会社朝日新聞社	FAX
新聞	朝日新聞	経済部	株式会社朝日新聞社	FAX
新聞	東京中日スポーツ	報道部	株式会社中日新聞社	FAX、メール
新聞	東京スポーツ	文化社会部	株式会社東京スポーツ新聞社	FAX、メール
新聞	デイリースポーツ	報道部	神戸新聞社	FAX、メール
新聞	サンケイスポーツ	文化報道部	株式会社産経デジタル	メール
新聞	スポーツ報知	文化部	株式会社報知新聞社	FAX、メール
新聞	日刊ゲンダイ	編集部	株式会社日刊現代	メール
新聞	日刊スポーツ	文化社会部	株式会社日刊スポーツ新聞社	FAX、メール
新聞	夕刊フジ	編集局	株式会社産経新聞社	FAX、メール
新聞	スポーツニッポン	文化社会部	株式会社スポーツニッポン新聞社	FAX、メール
新聞	千葉日報	東京支社 編集局	株式会社千葉日報社	FAX、メール
新聞	千葉日報	編集局	株式会社千葉日報社	FAX、メール
新聞	東京新聞	東京支社 社会部	株式会社中日新聞社	FAX、メール
新聞	東京新聞	東京支社 経済部	株式会社中日新聞社	FAX、メール
新聞	上毛新聞	編集局 報道部経済担当	株式会社上毛新聞社	メール
新聞	上毛新聞	東京支社 編集局	株式会社上毛新聞社	メール
新聞	下野新聞	メディア報道部	株式会社下野新聞社	メール
新聞	下野新聞	編集局	株式会社下野新聞社	FAX
新聞	下野新聞	社会部	株式会社下野新聞社	メール
新聞	茨城新聞	東京支社 編集局	株式会社茨城新聞社	FAX、メール
新聞	茨城新聞	編集局	株式会社茨城新聞社	FAX、メール
新聞	神奈川新聞	編集局	株式会社神奈川新聞社	FAX
新聞	埼玉新聞	編集局	株式会社埼玉新聞社	FAX、メール
新聞	埼玉新聞	東京支社 編集局	株式会社埼玉新聞社	FAX、メール
新聞	山梨日日新聞	東京支社 編集局	株式会社山梨日日新聞社	FAX
新聞	山梨日日新聞	編集局	株式会社山梨日日新聞社	FAX、メール
新聞	日経MJ	編集局	株式会社日本経済新聞社	FAX
新聞	フジサンケイビジネスアイ	経済産業部	株式会社日本工業新聞社	FAX、メール
新聞	日経産業新聞	編集局	株式会社日本経済新聞社	メール
新聞	日刊工業新聞	中小企業部	株式会社日刊工業新聞社	メール
新聞	日経ヴェリタス	編集局	株式会社日本経済新聞社	メール
新聞	週刊BCN	編集局	株式会社BCN	FAX、メール
新聞	科学新聞	編集局	株式会社科学新聞社	FAX
新聞	日本情報産業新聞	編集局	株式会社情報産業新聞社	FAX、メール
新聞	通信興業新聞	編集局	株式会社通信興業新聞	FAX

# 広報活動

## ■ ニュースリリース配信先

メディア種類	メディア名	部署名	会社名	配信
新聞	新商品情報	編集局	株式会社日刊工業新聞社	FAX
新聞	商経機械新聞	編集局	株式会社商工経済新聞社	FAX
新聞	日刊自動車新聞	編集局	株式会社日刊自動車新聞社	FAX、メール
新聞	週刊Car&レジャー	編集局	株式会社カーアンドレジャーニュース	FAX、メール
新聞	東京交通新聞	編集局	株式会社東京交通新聞社	メール
新聞	SANKEI EXPRESS	編集局	株式会社産業経済新聞社	FAX
新聞	朝日新聞グローブ	編集部	株式会社朝日新聞社	メール
新聞	日本計量新報	編集部	株式会社日本計量新報社	メール
新聞	道路ニュース	編集部	全国道路利用者会議	FAX
新聞	輸送新聞	編集部	株式会社輸送新聞社	メール
新聞	交通労連新聞	編集部	全国交通運輸労働組合総連合	FAX
新聞	JAPAN AUTOMOTIVE NEWS	編集部	有限会社ジャン・コーポレーション	メール
新聞	自動車タイムス	編集部	有限会社自動車タイムス社	FAX
インターネットサイト	朝日新聞デジタル	編集部	株式会社朝日新聞社	メール
インターネットサイト	Sponichi Annex	編集部	株式会社スポーツニッポン新聞社 東京本社	FAX、メール
インターネットサイト	YOMIURI ONLINE	編集部	株式会社読売新聞社	FAX
インターネットサイト	毎日jp	編集部	株式会社毎日新聞社	FAX、メール
インターネットサイト	PC Watch	編集部	株式会社インプレス	メール
インターネットサイト	RBB TODAY	編集部	株式会社イード	FAX、メール
インターネットサイト	ITmedia	編集部	アイティメディア株式会社	メール
インターネットサイト	IT pro	編集部	株式会社日経BP	メール
インターネットサイト	INTERNET Watch	編集部	株式会社インプレス	メール
インターネットサイト	CNET JAPAN	編集部	朝日インタラクティブ株式会社	FAX、メール
インターネットサイト	ASCII.jp	編集部	株式会社KADOKAWA	メール
インターネットサイト	@IT	編集部	アイティメディア株式会社	メール
インターネットサイト	ThinkIT	編集部	株式会社インプレス	FAX、メール
インターネットサイト	ケータイ Watch	編集部	株式会社インプレス	メール
インターネットサイト	Tech-On!	編集部	株式会社日経BP	メール
インターネットサイト	BCN Bizline	編集部	株式会社BCN	FAX、メール
インターネットサイト	ZDNet Japan	編集部	朝日インタラクティブ株式会社	FAX、メール
インターネットサイト	IBTimes	編集部	株式会社財經新聞社	メール
インターネットサイト	Japan.Interenet.com	編集部	インターネットコム株式会社	メール
インターネットサイト	nikkei TRENDYnet	編集部	株式会社日経BP	FAX、メール
インターネットサイト	nature asia-pacific	編集部	ネイチャー・ジャパン株式会社	メール
インターネットサイト	Newton press web	編集部	株式会社ニュートンプレス	FAX、メール
インターネットサイト	週刊アスキー	編集部	株式会社アスキー・メディアワークス	FAX
インターネットサイト	GIZMODO JAPAN	編集部	株式会社メディアゾーン	FAX、メール
インターネットサイト	nikkei BPnet(日経BPネット)	編集部	株式会社日経BP	メール
インターネットサイト	時事ドットコム	時事ドットコム編集部	株式会社時事通信社	FAX
インターネットサイト	スポーツ報知	編集部	株式会社 報知新聞社	FAX
インターネットサイト	ZAKZAK	産経デジタル メディア部	株式会社産経デジタル	メール
インターネットサイト	ロイター	編集部	ロイター・ジャパン株式会社	FAX
インターネットサイト	マイナビニュース	編集部	株式会社マイナビ	FAX、メール
インターネットサイト	gihyo.jp	編集部	株式会社技術評論社	メール
インターネットサイト	SourceForge.JP	編集部	OSDN株式会社	メール
インターネットサイト	Selectbox	編集部	株式会社翔泳社	メール
インターネットサイト	アメーバニュース	編集部	株式会社サイバーエージェント	メール
インターネットサイト	iza:イザ!	編集部	株式会社産経デジタル	メール
インターネットサイト	ONLINE デジモステーション	デジモステーション編集部	ソニーマガジンス株式会社	メール
インターネットサイト	J-CASTニュース	編集部	株式会社ジェイ・キャスト	メール
インターネットサイト	SankeiBiz	SankeiBiz編集部	株式会社産経デジタル	メール
インターネットサイト	47NEWS	編集部	Press Net Japan (PNJ)	メール
インターネットサイト	はてなニュース	編集部	株式会社はてな	メール
インターネットサイト	デジタルガジェット新聞	編集部	グローバルリレーション合同会社	メール
インターネットサイト	日刊工業新聞Business Line	編集部	株式会社日刊工業新聞社	メール
インターネットサイト	NAVI ON THE WHEELS	編集部	株式会社voice publication	FAX
インターネットサイト	日報ビジネス	編集部	南十字星エフエム日報ビジネス	メール
インターネットサイト	西日本新聞	編集部	株式会社西日本新聞社	メール
インターネットサイト	河北新報	編集部	株式会社河北新報社	メール
インターネットサイト	琉球新報	編集部	株式会社琉球新報社	メール
インターネットサイト	茨城新聞ニュース	編集部	株式会社茨城新聞社	メール

# 広報活動

## ■ ニュースリリース配信先

メディア種類	メディア名	部署名	会社名	配信
インターネットサイト	北日本新聞	編集部	株式会社北日本新聞社	メール
インターネットサイト	中日新聞	編集部	株式会社中日新聞社	メール
インターネットサイト	TOKYO WEB	経済部	株式会社中日新聞社	メール
インターネットサイト	TOKYO WEB	社会部	株式会社中日新聞社	メール
インターネットサイト	上毛新聞ニュース	編集部	株式会社上毛新聞社	メール
インターネットサイト	下野新聞「SOON」	政経部	株式会社下野新聞社	メール
インターネットサイト	下野新聞「SOON」	社会部	株式会社下野新聞社	メール
インターネットサイト	日刊自動車新聞	編集部	株式会社日刊自動車新聞社	メール
インターネットサイト	東洋経済オンライン	編集部	東洋経済新報社	メール
インターネットサイト	ダイヤモンド・オンライン	編集部	株式会社ダイヤモンド社	FAX
インターネットサイト	Itmedia Mobile	編集部	アイティメディア株式会社	メール
インターネットサイト	TechTargetJapan	編集部	アイティメディア株式会社	メール
インターネットサイト	レスポンス	編集部	株式会社イード	FAX
インターネットサイト	ガジェット通信	編集部	東京産業新聞社	メール
インターネットサイト	For M	編集部	株式会社オールアバウト	FAX
インターネットサイト	MONOist	編集部	アイティメディア株式会社	メール
インターネットサイト	BusinessItem通信	編集部	株式会社リアイド	メール
インターネットサイト	産経ニュース	産経デジタル メディア部	株式会社産経デジタル	メール
インターネットサイト	デイリースポーツ ONLINE	報道部	株式会社デイリースポーツ	メール
インターネットサイト	ITmediaガジェット	編集部	アイティメディア株式会社	メール
インターネットサイト	ITmedia ニュース	編集部	アイティメディア株式会社	メール
インターネットサイト	ITmedia LifeStyle	編集部	アイティメディア株式会社	メール
インターネットサイト	日刊SPA!	編集部	株式会社扶桑社	メール
インターネットサイト	sanspo.com	編集部	株式会社産経デジタル	メール
インターネットサイト	日刊ゲンダイ	編集部	株式会社日刊現代	メール
インターネットサイト	nikkansports.com	編集部	株式会社日刊スポーツ新聞社	メール
インターネットサイト	週アスPLUS	編集部	株式会社KADOKAWA	メール
インターネットサイト	Smart IT Magazine	編集部	株式会社リアイド	メール
インターネットサイト	spotlight	編集部	グローバルソリューション合同会社	メール
インターネットサイト	チエッカーズ!	編集部	ニュースメディアネットワーク株式会社	メール
インターネットサイト	産学連携ニュース	編集部	株式会社デトネイター	メール
インターネットサイト	FineNews Today	編集部	株式会社エムエービープラス	メール
インターネットサイト	メカニカル・テック	編集部	メカニカル・テック社	メール
インターネットサイト	ニコニコニュース	編集部	株式会社ニワンゴ	メール
インターネットサイト	専門家ProFile	編集部	株式会社エンファクトリー	FAX
インターネットサイト	WIRED.jp	編集部	コンデナスト・ジャパン	メール
インターネットサイト	WebCG	編集部	株式会社webCG	FAX
インターネットサイト	ITmedia マーケティング	編集部	アイティメディア株式会社	メール
インターネットサイト	ovo	情報企画本部 企画部	株式会社共同通信社	メール
インターネットサイト	clicccar.com	編集部	株式会社三栄書房	メール
インターネットサイト	ニュースイッチ	編集部	株式会社日刊工業新聞社	メール
インターネットサイト	東スポWeb	編集部	東京スポーツ	メール
インターネットサイト	東スポWeb	デジタルメディア部	東京スポーツ	メール
インターネットサイト	EDN Japan	編集部	アイティメディア株式会社	メール
通信社	共同通信	社会部	社団法人共同通信社	FAX
通信社	共同通信	経済部	社団法人共同通信社	FAX
通信社	時事通信	社会部	株式会社時事通信社	FAX
通信社	ロイター通信	編集部	ロイター・ジャパン株式会社	FAX
通信社	時事通信フォト	編集部	株式会社 時事通信フォト	メール

# 広報活動

## ■ Web露出 / イベント開催前 : 11月

NO	サイト名	媒体社名	日付	記事URL
1	おたくま経済新聞	C.S.T Entertainment,Inc.	2015/11/20	<a href="http://otakei.otakuma.net/archives/prtimes/00000007-00008538.html">http://otakei.otakuma.net/archives/prtimes/00000007-00008538.html</a>
2	exciteニュース	エキサイト株式会社	2015/11/20	<a href="http://www.excite.co.jp/News/release/20151120/Primes_2015-11-20-8538-7.html">http://www.excite.co.jp/News/release/20151120/Primes_2015-11-20-8538-7.html</a>
3	東洋経済 ONLINE	株式会社東洋経済新報社	2015/11/20	<a href="http://toyokeizai.net/ud/pressrelease/564e7a32b31ac912df00001f">http://toyokeizai.net/ud/pressrelease/564e7a32b31ac912df00001f</a>
4	ストレートプレス	株式会社マッシュメディア	2015/11/20	<a href="http://straightpress.jp/company_news/detail?pr=00000007.00008538">http://straightpress.jp/company_news/detail?pr=00000007.00008538</a>
5	JBpress	株式会社日本ビジネスプレス	2015/11/20	<a href="http://jbpress.ismedia.jp/ud/pressrelease/564e8245b31ac9527f00001f">http://jbpress.ismedia.jp/ud/pressrelease/564e8245b31ac9527f00001f</a>
6	産経ニュース	株式会社産経デジタル	2015/11/20	<a href="http://www.sankei.com/economy/news/151120/pr1511200030-n1.html">http://www.sankei.com/economy/news/151120/pr1511200030-n1.html</a>
7	iza:イザ!	株式会社産経デジタル	2015/11/20	<a href="http://www.iza.ne.jp/kiji/pressrelease/news/151120/pr15112010440031-n1.html">http://www.iza.ne.jp/kiji/pressrelease/news/151120/pr15112010440031-n1.html</a>
8	SEOTOOLS	プラストホールディングス株式会社	2015/11/20	<a href="http://www.seotools.jp/news/id_00000007.00008538.html">http://www.seotools.jp/news/id_00000007.00008538.html</a>
9	livedoor NEWS	LINE株式会社	2015/11/20	<a href="http://news.livedoor.com/article/detail/10854152/">http://news.livedoor.com/article/detail/10854152/</a>
10	@niftyビジネス	ニフティ株式会社	2015/11/20	<a href="http://business.nifty.com/cs/catalog/business_release/catalog_prt0000000700008538_1.htm">http://business.nifty.com/cs/catalog/business_release/catalog_prt0000000700008538_1.htm</a>
11	exciteニュース	エキサイト株式会社	2015/11/20	<a href="http://www.excite.co.jp/News/release/Primes_2015-11-20-8538-7.html">http://www.excite.co.jp/News/release/Primes_2015-11-20-8538-7.html</a>
12	OKGuide	株式会社オウケイウェイヴ	2015/11/20	<a href="http://okguide.okwave.jp/cafe/956409">http://okguide.okwave.jp/cafe/956409</a>
13	財経新聞	株式会社財経新聞社	2015/11/20	<a href="http://www.zaikai.co.jp/releases/30611/">http://www.zaikai.co.jp/releases/30611/</a>
14	Cubeニュース	株式会社キューブ・ソフト	2015/11/20	<a href="http://news.cube-soft.jp/prtimes/archive.php?id=61075">http://news.cube-soft.jp/prtimes/archive.php?id=61075</a>
15	gooビジネスEX	エヌ・ティ・ティレゾナント株式会社	2015/11/20	<a href="http://bizex.goo.ne.jp/release/detail/826125/">http://bizex.goo.ne.jp/release/detail/826125/</a>
16	とれまが	株式会社サイトスコープ	2015/11/20	<a href="http://news.toremaga.com/release/others/739214.html">http://news.toremaga.com/release/others/739214.html</a>
17	ジョルダンニュース!	ジョルダン株式会社	2015/11/20	<a href="http://news.jordan.co.jp/docs/news/detail.cgi?newsid=PT000007A00008538">http://news.jordan.co.jp/docs/news/detail.cgi?newsid=PT000007A00008538</a>
18	Infoseekニュース	楽天株式会社	2015/11/20	<a href="http://news.infoseek.co.jp/article/prtimes_00000007_00008538/">http://news.infoseek.co.jp/article/prtimes_00000007_00008538/</a>
19	FreshEye	株式会社ニュースウオッチ	2015/11/20	<a href="http://news.fresheye.com/article/fennews2/1000003/20151119192346_pr_pr00000007-00008538/index.html">http://news.fresheye.com/article/fennews2/1000003/20151119192346_pr_pr00000007-00008538/index.html</a>
20	PRESIDENT Online	株式会社 プレジデント社	2015/11/20	<a href="http://president.jp/ud/pressrelease/564e8246b31ac9535400001f">http://president.jp/ud/pressrelease/564e8246b31ac9535400001f</a>
21	時事ドットコム	株式会社時事通信社	2015/11/20	<a href="http://www.jiji.com/jc/prt/prt?k=00000007.00008538">http://www.jiji.com/jc/prt/prt?k=00000007.00008538</a>
22	BIGLOBEニュース	NECビッグロブ株式会社	2015/11/20	<a href="http://news.biglobe.ne.jp/economy/1120/prt_151120_9903150706.html">http://news.biglobe.ne.jp/economy/1120/prt_151120_9903150706.html</a>
23	Mapionニュース	株式会社マピオン	2015/11/20	<a href="http://www.mapion.co.jp/news/release/00000007.00008538-all/">http://www.mapion.co.jp/news/release/00000007.00008538-all/</a>
24	現代ビジネス	株式会社講談社	2015/11/20	<a href="http://gendai.ismedia.jp/ud/pressrelease/564e82c0b31ac95f4100001f">http://gendai.ismedia.jp/ud/pressrelease/564e82c0b31ac95f4100001f</a>
25	YOMIURI ONLINE	株式会社読売新聞社	2015/11/20	<a href="http://www.yomiuri.co.jp/adv/economy/release/detail/00158509.html">http://www.yomiuri.co.jp/adv/economy/release/detail/00158509.html</a>
26	MarkeZine	株式会社翔泳社	2015/11/20	<a href="http://markezine.jp/release/detail/555311">http://markezine.jp/release/detail/555311</a>
27	DIAMOND ONLINE	株式会社ダイヤモンド	2015/11/20	<a href="http://diamond.jp/ud/pressrelease/564e83a1b31ac970d900001f">http://diamond.jp/ud/pressrelease/564e83a1b31ac970d900001f</a>
28	Work Master	株式会社マッシュメディア	2015/11/20	<a href="http://www.work-master.net/201547152">http://www.work-master.net/201547152</a>
29	レセマム	株式会社イード	2015/11/20	<a href="http://resemom.jp/article/2015/11/20/28080.html">http://resemom.jp/article/2015/11/20/28080.html</a>
30	exciteニュース	エキサイト株式会社	2015/11/20	<a href="http://www.excite.co.jp/News/society_g/20151120/Resemom_28080.html">http://www.excite.co.jp/News/society_g/20151120/Resemom_28080.html</a>
31	BIGLOBEニュース	NECビッグロブ株式会社	2015/11/20	<a href="http://news.biglobe.ne.jp/trend/1120/res_151120_2673952167.html">http://news.biglobe.ne.jp/trend/1120/res_151120_2673952167.html</a>
32	おたくま経済新聞	C.S.T Entertainment,Inc.	2015/11/25	<a href="http://otakei.otakuma.net/archives/prtimes/000000961-000005875.html">http://otakei.otakuma.net/archives/prtimes/000000961-000005875.html</a>
33	おたくま経済新聞	C.S.T Entertainment,Inc.	2015/11/25	<a href="http://otakei.otakuma.net/archives/prtimes/000000280-000002943.html">http://otakei.otakuma.net/archives/prtimes/000000280-000002943.html</a>
34	RESPONSE	株式会社イード	2015/11/25	<a href="http://response.jp/article/2015/11/25/264874.html">http://response.jp/article/2015/11/25/264874.html</a>
35	carview	株式会社カービュー・ヤフー株式会社	2015/11/25	<a href="http://carview.yahoo.co.jp/news/market/20151125-10234589-carview/">http://carview.yahoo.co.jp/news/market/20151125-10234589-carview/</a>
36	PR TIMES	株式会社PR TIMES	2015/11/25	<a href="http://prtimes.jp/main/html/rdp/000000961.000005875.html">http://prtimes.jp/main/html/rdp/000000961.000005875.html</a>
37	Techable	株式会社マッシュメディア	2015/11/25	<a href="http://techable.jp/archives/000000961.000005875">http://techable.jp/archives/000000961.000005875</a>
38	ストレートプレス	株式会社マッシュメディア	2015/11/25	<a href="http://straightpress.jp/company_news/detail?pr=000000961.000005875">http://straightpress.jp/company_news/detail?pr=000000961.000005875</a>
39	EnterpriseZine	株式会社翔泳社	2015/11/25	<a href="http://enterprisezine.jp/release/detail/66525">http://enterprisezine.jp/release/detail/66525</a>
40	JBpress	株式会社日本ビジネスプレス	2015/11/25	<a href="http://jbpress.ismedia.jp/ud/pressrelease/565527dab31ac9254600002c">http://jbpress.ismedia.jp/ud/pressrelease/565527dab31ac9254600002c</a>
41	産経ニュース	株式会社産経デジタル	2015/11/25	<a href="http://www.sankei.com/economy/news/151125/pr1511250110-n1.html">http://www.sankei.com/economy/news/151125/pr1511250110-n1.html</a>
42	東洋経済 ONLINE	株式会社東洋経済新報社	2015/11/25	<a href="http://toyokeizai.net/ud/pressrelease/56552dddb31ac9343000002c">http://toyokeizai.net/ud/pressrelease/56552dddb31ac9343000002c</a>
43	iza:イザ!	株式会社産経デジタル	2015/11/25	<a href="http://www.iza.ne.jp/kiji/pressrelease/news/151125/pr15112512450110-n1.html">http://www.iza.ne.jp/kiji/pressrelease/news/151125/pr15112512450110-n1.html</a>
44	Cubeニュース	株式会社キューブ・ソフト	2015/11/25	<a href="http://news.cube-soft.jp/prtimes/archive.php?id=61748">http://news.cube-soft.jp/prtimes/archive.php?id=61748</a>
45	livedoor NEWS	LINE株式会社	2015/11/25	<a href="http://news.livedoor.com/article/detail/10872412/">http://news.livedoor.com/article/detail/10872412/</a>
46	gooビジネスEX	エヌ・ティ・ティレゾナント株式会社	2015/11/25	<a href="http://bizex.goo.ne.jp/release/detail/827517/">http://bizex.goo.ne.jp/release/detail/827517/</a>
47	とれまが	株式会社サイトスコープ	2015/11/25	<a href="http://news.toremaga.com/computer/internet/740477.html">http://news.toremaga.com/computer/internet/740477.html</a>
48	ZDNet Japan	朝日インタラクティブ株式会社	2015/11/25	<a href="http://japan.zdnet.com/release/30124989/">http://japan.zdnet.com/release/30124989/</a>
49	japan.internet.com	インターネットコム株式会社	2015/11/25	<a href="http://internet.com.jp/release/1330897.html">http://internet.com.jp/release/1330897.html</a>
50	exciteニュース	エキサイト株式会社	2015/11/25	<a href="http://www.excite.co.jp/News/release/Primes_2015-11-25-5875-961.html">http://www.excite.co.jp/News/release/Primes_2015-11-25-5875-961.html</a>
51	ジョルダンニュース!	ジョルダン株式会社	2015/11/25	<a href="http://news.jordan.co.jp/docs/news/detail.cgi?newsid=PT0000961A000005875">http://news.jordan.co.jp/docs/news/detail.cgi?newsid=PT0000961A000005875</a>
52	SEOTOOLS	プラストホールディングス株式会社	2015/11/25	<a href="http://www.seotools.jp/news/id_000000961.000005875.html">http://www.seotools.jp/news/id_000000961.000005875.html</a>
53	Infoseekニュース	楽天株式会社	2015/11/25	<a href="http://news.infoseek.co.jp/article/prtimes_000000961_000005875/">http://news.infoseek.co.jp/article/prtimes_000000961_000005875/</a>
54	CNET JAPAN	朝日インタラクティブ株式会社	2015/11/25	<a href="http://japan.cnet.com/release/30124989/">http://japan.cnet.com/release/30124989/</a>
55	朝日新聞デジタル	株式会社朝日新聞社	2015/11/25	<a href="http://www.asahi.com/and_M/information/pressrelease/CPRT201544984.html?ref=andM_kijilist">http://www.asahi.com/and_M/information/pressrelease/CPRT201544984.html?ref=andM_kijilist</a>
56	@niftyビジネス	ニフティ株式会社	2015/11/25	<a href="http://business.nifty.com/cs/catalog/business_release/catalog_prt000000961000005875_1.htm">http://business.nifty.com/cs/catalog/business_release/catalog_prt000000961000005875_1.htm</a>
57	PRESIDENT Online	株式会社 プレジデント社	2015/11/25	<a href="http://president.jp/ud/pressrelease/565527dcb31ac9266400002c">http://president.jp/ud/pressrelease/565527dcb31ac9266400002c</a>
58	OKGuide	株式会社オウケイウェイヴ	2015/11/25	<a href="http://okguide.okwave.jp/cafe/964679">http://okguide.okwave.jp/cafe/964679</a>
59	現代ビジネス	株式会社講談社	2015/11/25	<a href="http://gendai.ismedia.jp/ud/pressrelease/5655285ab31ac9326800002c">http://gendai.ismedia.jp/ud/pressrelease/5655285ab31ac9326800002c</a>
60	財経新聞	株式会社財経新聞社	2015/11/25	<a href="http://www.zaikai.co.jp/releases/307279/">http://www.zaikai.co.jp/releases/307279/</a>
61	BIGLOBEニュース	NECビッグロブ株式会社	2015/11/25	<a href="http://news.biglobe.ne.jp/economy/1125/prt_151125_8849176473.html">http://news.biglobe.ne.jp/economy/1125/prt_151125_8849176473.html</a>
62	MarkeZine	株式会社翔泳社	2015/11/25	<a href="http://markezine.jp/release/detail/556401">http://markezine.jp/release/detail/556401</a>

# 広報活動

## ■ Web露出 / イベント開催前 : 11月

NO	サイト名	媒体社名	日付	記事URL
63	RBBTODAY	株式会社イード	2015/11/25	<a href="http://www.rbbtoday.com/release/prtimes-news/20151125/125630.html">http://www.rbbtoday.com/release/prtimes-news/20151125/125630.html</a>
64	YOMIURI ONLINE	株式会社読売新聞社	2015/11/25	<a href="http://www.yomiuri.co.jp/adv/economy/release/detail/00159276.html">http://www.yomiuri.co.jp/adv/economy/release/detail/00159276.html</a>
65	時事ドットコム	株式会社時事通信社	2015/11/25	<a href="http://www.jiji.com/jc/prt/prt?k=000000961.000005875">http://www.jiji.com/jc/prt/prt?k=000000961.000005875</a>
66	Mapionニュース	株式会社マピオン	2015/11/25	<a href="http://www.mapion.co.jp/news/release/000000961.000005875-all/">http://www.mapion.co.jp/news/release/000000961.000005875-all/</a>
67	DIAMOND ONLINE	株式会社ダイヤモンド社	2015/11/25	<a href="http://diamond.jp/ud/pressrelease/56552934b31ac944f000002c">http://diamond.jp/ud/pressrelease/56552934b31ac944f000002c</a>
68	財経新聞	株式会社財経新聞社	2015/11/25	<a href="http://www.zaikai.co.jp/article/20151125/280461.html">http://www.zaikai.co.jp/article/20151125/280461.html</a>
69	ジョルダンニュース!	ジョルダン株式会社	2015/11/25	<a href="http://news.jordan.co.jp/docs/news/detail.cgi?newsid=FI0009350020151125004">http://news.jordan.co.jp/docs/news/detail.cgi?newsid=FI0009350020151125004</a>
70	J-CASTトレンド	株式会社ジェイ・キャスト	2015/11/25	<a href="http://www.j-cast.com/other/a05_prwire/2015/11/25251406.html">http://www.j-cast.com/other/a05_prwire/2015/11/25251406.html</a>
71	47NEWS	株式会社全国新聞ネット	2015/11/25	<a href="http://www.47news.jp/topics/prwire/2015/11/271203.html">http://www.47news.jp/topics/prwire/2015/11/271203.html</a>
72	dot.	株式会社朝日新聞出版	2015/11/25	<a href="http://dot.asahi.com/business/pressrelease/2015112500031.html">http://dot.asahi.com/business/pressrelease/2015112500031.html</a>
73	AFPBB	株式会社クリエイティブ・リンク	2015/11/25	<a href="http://www.afpbb.com/articles/press/3067955">http://www.afpbb.com/articles/press/3067955</a>
74	AFPBB	株式会社クリエイティブ・リンク	2015/11/25	<a href="http://www.afpbb.com/articles/-/3067955">http://www.afpbb.com/articles/-/3067955</a>
75	CNET JAPAN	朝日インタラクティブ株式会社	2015/11/25	<a href="http://japan.cnet.com/release/30124963/">http://japan.cnet.com/release/30124963/</a>
76	ZDNet Japan	朝日インタラクティブ株式会社	2015/11/25	<a href="http://japan.zdnet.com/release/30124963/">http://japan.zdnet.com/release/30124963/</a>
77	共同通信社	株式会社共同通信社	2015/11/25	<a href="http://www.kyodo.co.jp/pr/2015-11-25_1521723/">http://www.kyodo.co.jp/pr/2015-11-25_1521723/</a>
78	SHIKOKU NEWS (四国新聞)	株式会社四国新聞社	2015/11/25	<a href="http://www.shikoku-np.co.jp/prwire/detail.aspx?id=201511245893">http://www.shikoku-np.co.jp/prwire/detail.aspx?id=201511245893</a>
79	PR TIMES	株式会社PR TIMES	2015/11/25	<a href="http://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000280.000002943.html">http://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000280.000002943.html</a>
80	ストレートプレス	株式会社マッシュメディア	2015/11/25	<a href="http://straightpress.jp/company_news/detail?pr=000000280.000002943">http://straightpress.jp/company_news/detail?pr=000000280.000002943</a>
81	JBpress	株式会社日本ビジネスプレス	2015/11/25	<a href="http://jbpres.ismedia.jp/ud/pressrelease/565527c8b31ac92546000011">http://jbpres.ismedia.jp/ud/pressrelease/565527c8b31ac92546000011</a>
82	産経ニュース	株式会社産経デジタル	2015/11/25	<a href="http://www.sankei.com/economy/news/151125/pr1511250088-n1.html">http://www.sankei.com/economy/news/151125/pr1511250088-n1.html</a>
83	東洋経済 ONLINE	株式会社東洋経済新報社	2015/11/25	<a href="http://toyokeizai.net/ud/pressrelease/56552dcab31ac93430000011">http://toyokeizai.net/ud/pressrelease/56552dcab31ac93430000011</a>
84	livedoor NEWS	LINE株式会社	2015/11/25	<a href="http://news.livedoor.com/article/detail/10872384/">http://news.livedoor.com/article/detail/10872384/</a>
85	gooビジネスEX	エヌ・ティ・ティ・レゾナント株式会社	2015/11/25	<a href="http://bizex.goo.ne.jp/release/detail/827545/">http://bizex.goo.ne.jp/release/detail/827545/</a>
86	exciteニュース	エキサイト株式会社	2015/11/25	<a href="http://www.excite.co.jp/News/release/Prtimes_2015-11-25-2943-280.html">http://www.excite.co.jp/News/release/Prtimes_2015-11-25-2943-280.html</a>
87	ジョルダンニュース!	ジョルダン株式会社	2015/11/25	<a href="http://news.jordan.co.jp/docs/news/detail.cgi?newsid=PT000280A000002943">http://news.jordan.co.jp/docs/news/detail.cgi?newsid=PT000280A000002943</a>
88	SEOTOOLS	プラストホールディングス株式会社	2015/11/25	<a href="http://www.seotools.jp/news/id_000000280.000002943.html">http://www.seotools.jp/news/id_000000280.000002943.html</a>
89	Cubeニュース	株式会社キューブ・ソフト	2015/11/25	<a href="http://news.cube-soft.jp/prtimes/archive.php?id=61776">http://news.cube-soft.jp/prtimes/archive.php?id=61776</a>
90	朝日新聞デジタル	株式会社朝日新聞社	2015/11/25	<a href="http://www.asahi.com/and_M/information/pressrelease/CRPT201545012.html?ref=andM_kijilst">http://www.asahi.com/and_M/information/pressrelease/CRPT201545012.html?ref=andM_kijilst</a>
91	@niftyビジネス	ニフティ株式会社	2015/11/25	<a href="http://business.nifty.com/cs/catalog/business_release/catalog_prt000000280000002943_1.htm">http://business.nifty.com/cs/catalog/business_release/catalog_prt000000280000002943_1.htm</a>
92	PRESIDENT Online	株式会社 プレジデント社	2015/11/25	<a href="http://president.jp/ud/pressrelease/565527cab31ac92664000011">http://president.jp/ud/pressrelease/565527cab31ac92664000011</a>
93	OKGuide	株式会社オウケイウェイヴ	2015/11/25	<a href="http://okguide.okwave.jp/cafe/964652">http://okguide.okwave.jp/cafe/964652</a>
94	現代ビジネス	株式会社講談社	2015/11/25	<a href="http://gendai.ismedia.jp/ud/pressrelease/56552849b31ac93268000011">http://gendai.ismedia.jp/ud/pressrelease/56552849b31ac93268000011</a>
95	財経新聞	株式会社財経新聞社	2015/11/25	<a href="http://www.zaikai.co.jp/releases/307252/">http://www.zaikai.co.jp/releases/307252/</a>
96	BIGLOBEニュース	NECビッグロブ株式会社	2015/11/25	<a href="http://news.biglobe.ne.jp/economy/1125/prt_151125_7751284858.html">http://news.biglobe.ne.jp/economy/1125/prt_151125_7751284858.html</a>
97	Mapionニュース	株式会社マピオン	2015/11/25	<a href="http://www.mapion.co.jp/news/release/000000280.000002943-all/">http://www.mapion.co.jp/news/release/000000280.000002943-all/</a>
98	MarkeZine	株式会社翔泳社	2015/11/25	<a href="http://markezine.jp/release/detail/556374">http://markezine.jp/release/detail/556374</a>
99	YOMIURI ONLINE	株式会社読売新聞社	2015/11/25	<a href="http://www.yomiuri.co.jp/adv/economy/release/detail/00159252.html">http://www.yomiuri.co.jp/adv/economy/release/detail/00159252.html</a>
100	時事ドットコム	株式会社時事通信社	2015/11/25	<a href="http://www.jiji.com/jc/prt/prt?k=000000280.000002943">http://www.jiji.com/jc/prt/prt?k=000000280.000002943</a>
101	DIAMOND ONLINE	株式会社ダイヤモンド社	2015/11/25	<a href="http://diamond.jp/ud/pressrelease/56552925b31ac944f0000011">http://diamond.jp/ud/pressrelease/56552925b31ac944f0000011</a>
102	INTERNET Watch	株式会社Impress Watch	2015/11/25	<a href="http://internet.watch.impress.co.jp/docs/news/20151125_732104.html">http://internet.watch.impress.co.jp/docs/news/20151125_732104.html</a>

## ■ 新聞露出 / イベント開催前

NO	新聞名	日付
1	東京IT新聞	2015/10/20
2	日刊建設産業新聞	2015/10/30
3	日刊建設工業新聞	2015/10/30
4	建設通信新聞	2015/10/30
5	読売新聞掲載	2015/11/22

## ■ 雑誌露出 / イベント開催前

NO	新聞名	日付
1	GIS NEXT 第53号	2015/10月

# 広報活動

## ■ Web露出 / イベント開催中及び事後告知

NO	サイト名	媒体社名	日付	記事URL
1	exciteニュース	エキサイト株式会社	2015/11/26	<a href="http://www.excite.co.jp/News/release/20151126/Atpress_82705.html">http://www.excite.co.jp/News/release/20151126/Atpress_82705.html</a>
2	財経新聞	株式会社財経新聞社	2015/11/26	<a href="http://www.zaikei.co.jp/releases/307987/">http://www.zaikei.co.jp/releases/307987/</a>
3	Mapionニュース	株式会社マピオン	2015/11/26	<a href="http://www.mapion.co.jp/news/release/ap82705-all/">http://www.mapion.co.jp/news/release/ap82705-all/</a>
4	MarkeZine	株式会社翔泳社	2015/11/26	<a href="http://markezine.jp/release/detail/557162">http://markezine.jp/release/detail/557162</a>
5	RESPONSE	株式会社イード	2015/11/26	<a href="http://response.jp/article/2015/11/26/264932.html">http://response.jp/article/2015/11/26/264932.html</a>
6	Logistics Today	マーケティングパートナー株式会社	2015/11/26	<a href="http://www.logi-today.com/201512">http://www.logi-today.com/201512</a>
7	IoTニュース	株式会社アールジーン	2015/11/26	<a href="http://iotnews.jp/archives/8597">http://iotnews.jp/archives/8597</a>
8	RBBTODAY	株式会社イード	2015/11/26	<a href="http://www.rbbtoday.com/article/2015/11/26/137325.html">http://www.rbbtoday.com/article/2015/11/26/137325.html</a>
9	Work Master	株式会社マッシュメディア	2015/11/26	<a href="http://www.work-master.net/201547545">http://www.work-master.net/201547545</a>
10	RESPONSE	株式会社イード	2015/11/30	<a href="http://response.jp/article/2015/11/30/265209.html">http://response.jp/article/2015/11/30/265209.html</a>
11	carview	株式会社カービュー・ヤフー株式会社	2015/11/30	<a href="http://carview.yahoo.co.jp/news/market/20151130-10234899-carview/">http://carview.yahoo.co.jp/news/market/20151130-10234899-carview/</a>
12	RESPONSE	株式会社イード	2015/11/30	<a href="http://response.jp/article/2015/11/30/265165.html">http://response.jp/article/2015/11/30/265165.html</a>
13	RESPONSE	株式会社イード	2015/12/01	<a href="http://response.jp/article/2015/12/01/265239.html">http://response.jp/article/2015/12/01/265239.html</a>
14	RESPONSE	株式会社イード	2015/12/02	<a href="http://response.jp/article/2015/12/02/265323.html">http://response.jp/article/2015/12/02/265323.html</a>
15	日刊アメーバニュース	株式会社サイバーエージェント	2015/12/05	<a href="http://news.ameba.jp/20151120-951/">http://news.ameba.jp/20151120-951/</a>
16	Bizloopサーチ	株式会社アイエフネット	2015/12/17	<a href="http://www.bizloop.jp/release/PR000000961_000005875/">http://www.bizloop.jp/release/PR000000961_000005875/</a>

## ■ 新聞露出 / イベント開催中及び事後告知

NO	新聞名	日付
1	自動車タイムス	2015/12/5

## ■ 新聞露出 / イベント開催中及び事後告知

NO	新聞名	日付
1	月刊B-maga	2015/12月号



## **付録1 来場者アンケート**

# アンケート

## ご来場者様 アンケート



本日は、G空間EXPO2015にご来場いただき、ありがとうございました。  
今後の開催プログラムの検討等のため、アンケートにご協力のほどお願い申し上げます。  
結果は統計的に処理し、目的以外に利用することはありません。

G空間EXPO2015 運営協議会



### アンケートに答えてオリジナルグッズをGET!

アンケートは1F総合受付横にて回収しております。G空間オリジナルグッズなど、粗品をご用意しております。

下記各欄の該当する□に✓を入れてください。

Q1 参加された日時を教えてください。(複数回答可)

11/26(木)

11/27(金)

11/28(土)

Q2 どのイベントに参加されたのか教えてください。(複数回答可)

G空間EXPOメッセージゾーン

Geoアクティビティフェスタ

講演・シンポジウム

地理空間情報フォーラム

Geoエデュケーションプログラム

Q3 どのような目的で参加されたのか教えてください。

情報収集

技術動向の調査

今後の勉強のため

趣味等の活動

常設展を見たついでに立ち寄った

何となく

その他( )

Q4 G空間EXPO2015のプログラムの内容や会場はいかがでしたか。

①プログラムの内容全般について

とても満足

どちらかというと満足

どちらかというと不満

とても不満

わからない

②会場のアクセス・快適性等について

とても満足

どちらかというと満足

どちらかというと不満

とても不満

わからない

Q5 「G空間社会」とはどんな社会か、ご理解いただけましたでしょうか。

よく理解できた

少し理解できた

まだ、よく理解できない

全く理解できない

Q6 今後、G空間EXPOやそれに類するイベントに参加してみたいですか。

ぜひ参加したい

都合があれば参加したい

どちらともいえない

あまり参加したくない

全く参加したくない

裏面にもアンケートがございます。

# アンケート



**Q7** 貴方の性別・年齢について教えてください。

<input type="checkbox"/> 男性	<input type="checkbox"/> 女性				
-----					
<input type="checkbox"/> 20歳以下	<input type="checkbox"/> 20代	<input type="checkbox"/> 30代	<input type="checkbox"/> 40代	<input type="checkbox"/> 50代	<input type="checkbox"/> 60歳以上

**Q8** どちらから来られましたか。(お住まいの地域はどこですか)

<input type="checkbox"/> 北海道	<input type="checkbox"/> 東北	<input type="checkbox"/> 東京	<input type="checkbox"/> 東京以外の関東	<input type="checkbox"/> 甲信越	<input type="checkbox"/> 北陸
<input type="checkbox"/> 東海	<input type="checkbox"/> 近畿	<input type="checkbox"/> 中国	<input type="checkbox"/> 四国	<input type="checkbox"/> 九州・沖縄	
<input type="checkbox"/> その他 (					)

**Q9** お仕事は何ですか。(もっとも近いものを1つ)

<input type="checkbox"/> 測量・調査・設計	<input type="checkbox"/> 建設・建設コンサル	<input type="checkbox"/> 地図・GIS	<input type="checkbox"/> 製造(情報通信機器)	<input type="checkbox"/> 製造(その他)	
<input type="checkbox"/> 情報サービス	<input type="checkbox"/> 情報通信	<input type="checkbox"/> 農林漁業・鉱業	<input type="checkbox"/> 交通・運輸	<input type="checkbox"/> ライフライン	
<input type="checkbox"/> その他サービス	<input type="checkbox"/> 公務	<input type="checkbox"/> 教育	<input type="checkbox"/> 学生	<input type="checkbox"/> 無職	
<input type="checkbox"/> その他 (					)

**Q10** G空間EXPO2015を何でお知りになりましたか。(複数回答可)

<input type="checkbox"/> テラシ	<input type="checkbox"/> ポスター	<input type="checkbox"/> ホームページ	
<input type="checkbox"/> SNS®(	<input type="checkbox"/> 新聞 (	<input type="checkbox"/> 雑誌 (	
<input type="checkbox"/> 知人	<input type="checkbox"/> デジタルサイネージ(ゆりかもめビジョン)		
<input type="checkbox"/> その他 (			)

**Q11** 今後、実施を希望されるイベントについてお知らせください。

<input type="checkbox"/> (G空間関連の)機関、企業による展示	<input type="checkbox"/> 講演・シンポジウム
<input type="checkbox"/> フィールドワーク・地図教室等の体験型イベント	<input type="checkbox"/> 研修・ワークショップ等の参加型イベント
-----	
その他、ご意見やご提案などございましたらご記入ください(自由回答欄)	

**Q12** 今後G空間EXPOや関連するイベント等のお知らせのため、差し支え無い方はメールアドレスをご記入ください。

※SNS:インターネット上でのコミュニティ型サイト Twitter, Facebook, Instagram, mixi, Google+, LinkedIn 等

ご協力ありがとうございました。

# アンケート集計

Q1.参加された日時を教えてください。

11/26 (木)	11/27 (金)	11/28 (土)	合計
122	163	116	401

Q2.どのイベントに参加されたのか教えてください。(複数回答可)

(26日)

G空間EXPO メッセージゾーン	Geoアクティビティ フェスタ	講演・ シンポジウム	地理空間情報 フォーラム	Geoエデュケーション プログラム	NA	合計
72	19	57	41	5	7	201

(27日)

G空間EXPO メッセージゾーン	Geoアクティビティ フェスタ	講演・ シンポジウム	地理空間情報 フォーラム	Geoエデュケーション プログラム	NA	合計
74	34	81	72	6	10	277

(28日)

G空間EXPO メッセージゾーン	Geoアクティビティ フェスタ	講演・ シンポジウム	地理空間情報 フォーラム	Geoエデュケーション プログラム	NA	合計
63	31	36	36	16	4	186

Q3.どのような目的で参加されたのか教えてください。

(26日)

情報収集	技術動向の 調査	今後の 勉強のため	趣味等の活動	常設展を 見たついでに 立ち寄った	何となく	その他	NA	合計
76	51	49	2	2	3	6	4	193

(27日)

情報収集	技術動向の 調査	今後の勉強のため	趣味等の活動	常設展を 見たついでに 寄った	何となく	その他	NA	合計
129	59	57	6	1	4	4	0	260

(28日)

情報収集	技術動向の 調査	今後の 勉強のため	趣味等の活動	常設展を 見たついでに 立ち寄った	何となく	その他	NA	合計
76	30	43	22	5	11	5	2	194

(その他)

- ・学校の校外学習
- ・実証実験のごあいさつ
- ・知人の講演
- ・学生引率
- ・測量の大会
- ・出展関係者の親族
- ・発表
- ・TST (修学旅行)
- ・ビジネスの為
- ・発表

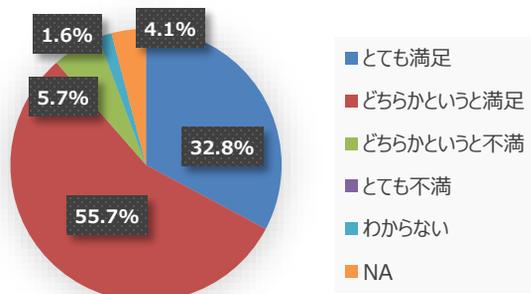
# アンケート集計

## Q4.G空間EXPO2015のプログラムや会場はいかがでしたか。

### ①プログラムの内容全般について

(26日)

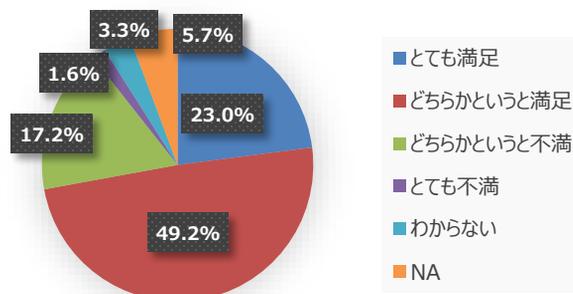
とても満足	どちらかという満足	どちらかという不満	とても不満	わからない	NA	合計
40	68	7	0	2	5	122



### ②会場のアクセス・快適性等について

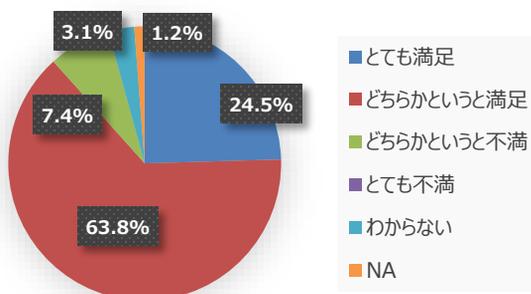
(26日)

とても満足	どちらかという満足	どちらかという不満	とても不満	わからない	NA	合計
28	60	21	2	4	7	122



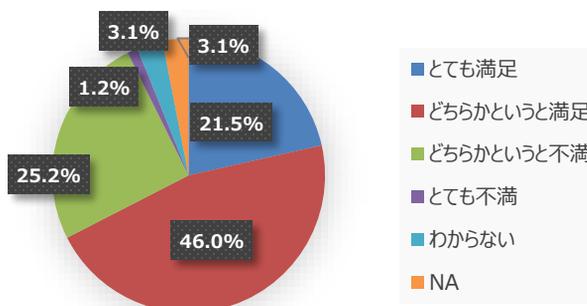
(27日)

とても満足	どちらかという満足	どちらかという不満	とても不満	わからない	NA	合計
40	104	12	0	5	2	163



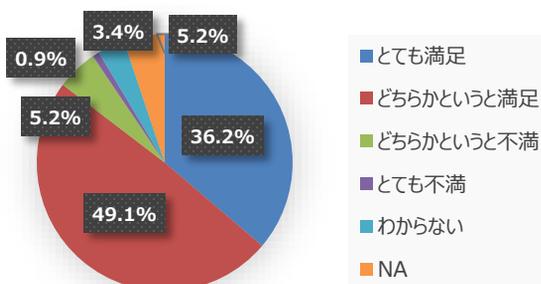
(27日)

とても満足	どちらかという満足	どちらかという不満	とても不満	わからない	NA	合計
35	75	41	2	5	5	163



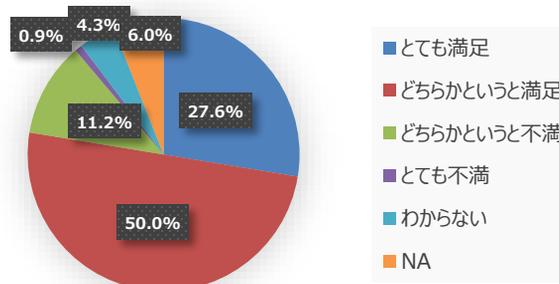
(28日)

とても満足	どちらかという満足	どちらかという不満	とても不満	わからない	NA	合計
42	57	6	1	4	6	116



(28日)

とても満足	どちらかという満足	どちらかという不満	とても不満	わからない	NA	合計
32	58	13	1	5	7	116

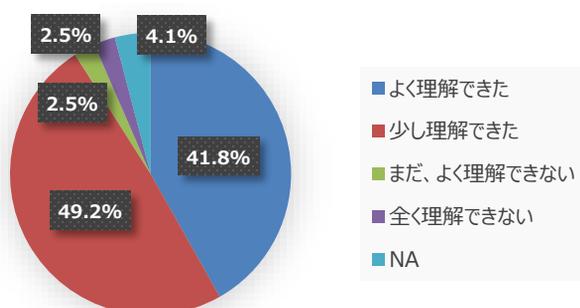


# アンケート集計

Q5.「G空間社会」とはどんな社会か、ご理解いただけましたでしょうか。

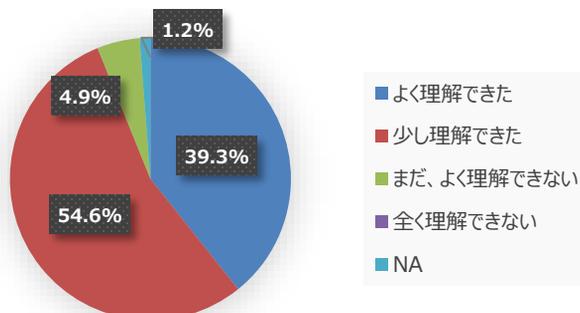
(26日)

よく理解できた	少し理解できた	まだ、よく理解できない	全く理解できない	NA	合計
51	60	3	3	5	122



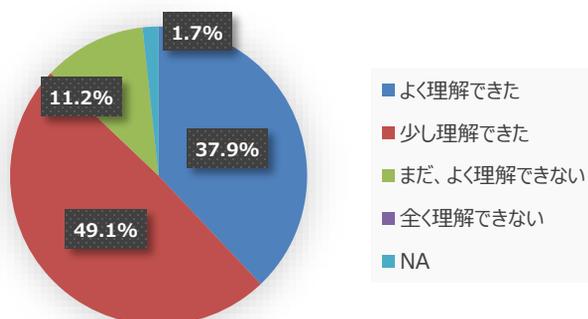
(27日)

よく理解できた	少し理解できた	まだ、よく理解できない	全く理解できない	NA	合計
64	89	8	0	2	163



(28日)

よく理解できた	少し理解できた	まだ、よく理解できない	全く理解できない	NA	合計
44	57	13	0	2	116

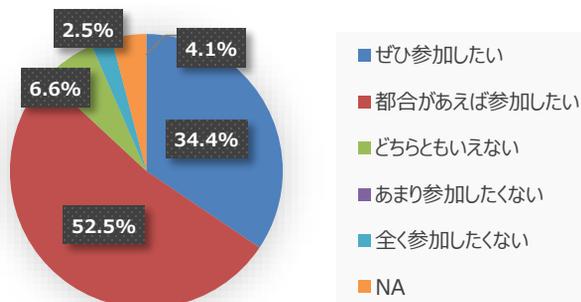


# アンケート集計

Q6. 今後、G空間EXPOやそれに類するイベントに参加してみたいですか。

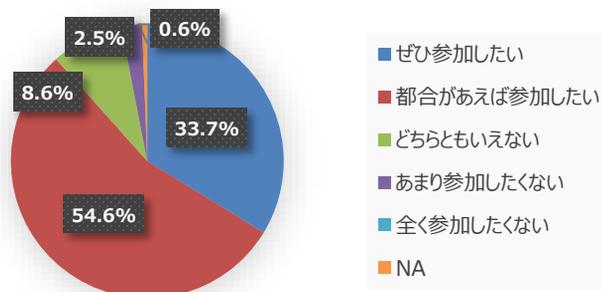
(26日)

ぜひ参加したい	都合があえば参加したい	どちらともいえない	あまり参加したくない	全く参加したくない	NA	合計
42	64	8	0	3	5	122



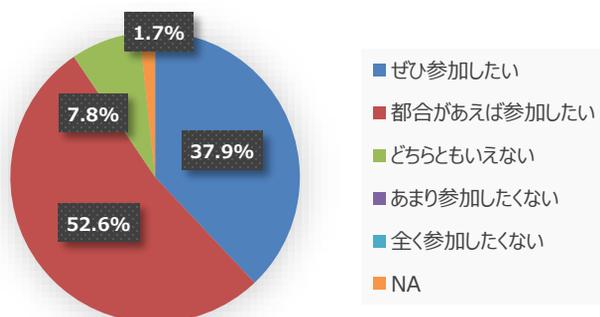
(27日)

ぜひ参加したい	都合があえば参加したい	どちらともいえない	あまり参加したくない	全く参加したくない	NA	合計
55	89	14	4	0	1	163



(28日)

ぜひ参加したい	都合があえば参加したい	どちらともいえない	あまり参加したくない	全く参加したくない	NA	合計
44	61	9	0	0	2	116



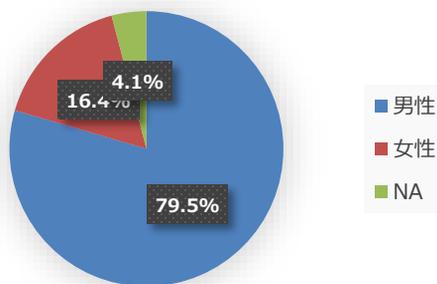
# アンケート集計

Q7. 貴方の性別・年齢について教えてください。

## ①性別

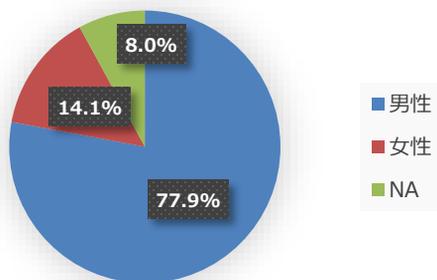
(26日)

男性	女性	NA	合計
97	20	5	122



(27日)

男性	女性	NA	合計
127	23	13	163



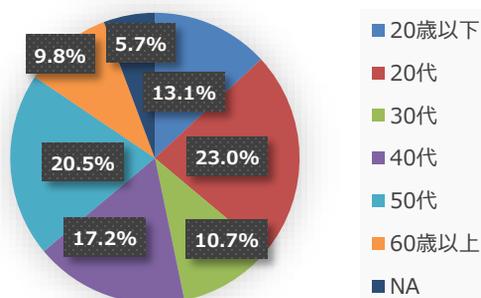
(28日)

男性	女性	NA	合計
78	34	4	116

## ②年齢

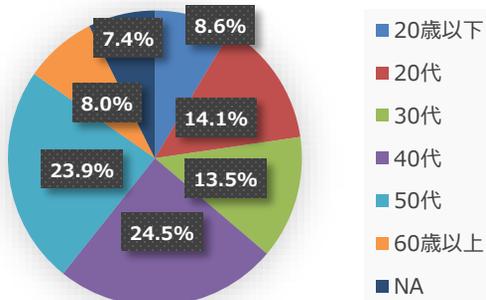
(26日)

20歳以下	20代	30代	40代	50代	60歳以上	NA	合計
16	28	13	21	25	12	7	122



(27日)

20歳以下	20代	30代	40代	50代	60歳以上	NA	合計
14	23	22	40	39	13	12	163



(28日)

20歳以下	20代	30代	40代	50代	60歳以上	NA	合計
23	15	22	25	21	5	5	116

# アンケート集計

Q8.どちらから来られましたか。

(26日)

北海道	東北	東京	東京以外の 関東	甲信越	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州・ 沖縄	その他	NA	合計
3	4	50	41	0	1	7	3	2	0	4	3	4	122

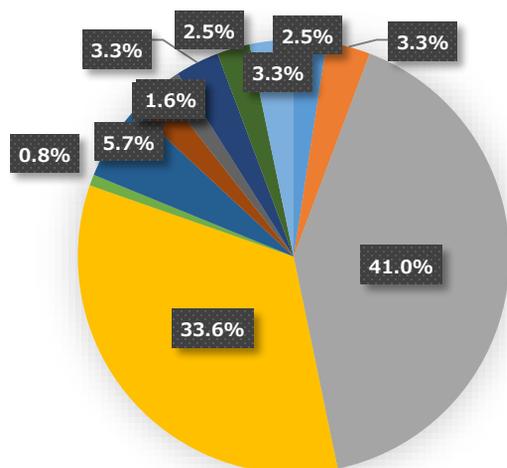
(27日)

北海道	東北	東京	東京以外の 関東	甲信越	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州・ 沖縄	その他	NA	合計
4	8	64	44	1	5	5	9	4	0	1	8	10	163

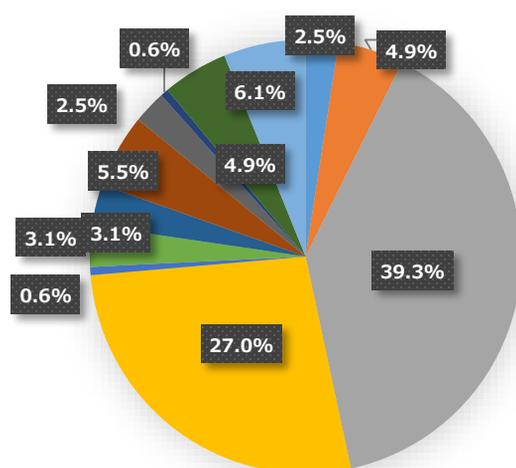
(28日)

北海道	東北	東京	東京以外の 関東	甲信越	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州・ 沖縄	その他	NA	合計
0	4	47	37	6	0	2	11	0	0	2	3	4	116

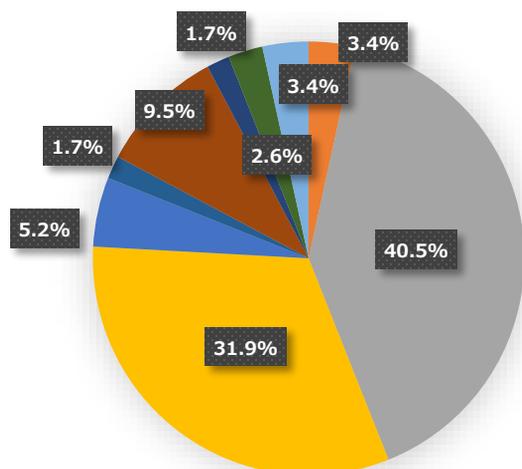
(26日)



(27日)



(28日)



- 北海道
- 東北
- 東京
- 東京以外の関東
- 甲信越
- 北陸
- 東海
- 近畿
- 中国
- 四国
- 九州・沖縄
- その他
- NA

(その他)  
・韓国

# アンケート集計

## Q9.お仕事は何ですか。

(26日)

測量調査設計	建設・建設コンサル	地図GIS	製造(情報通信機器)	製造(その他)	情報サービス	情報通信	農林漁業鉱業	交通運輸	ライフライン	その他サービス	公務	教育	学生	無職	その他	NA	合計
21	14	12	2		13	3		2	2	2	6	1	31	2	12	6	129

(27日)

測量調査設計	建設・建設コンサル	地図GIS	製造(情報通信機器)	製造(その他)	情報サービス	情報通信	農林漁業鉱業	交通運輸	ライフライン	その他サービス	公務	教育	学生	無職	その他	NA	合計
36	5	19	6	10	22	7	0	1	1	4	14	4	18	6	8	7	168

(28日)

測量調査設計	建設・建設コンサル	地図GIS	製造(情報通信機器)	製造(その他)	情報サービス	情報通信	農林漁業鉱業	交通運輸	ライフライン	その他サービス	公務	教育	学生	無職	その他	NA	合計
21	3	11	4	4	12	2	0	2	1	5	10	9	24	7	7	5	127

(その他)

- ・公益財団職員
- ・学生
- ・研究員
- ・クリエイター
- ・医療
- ・出版
- ・測量協会 E-mail
- ・保険
- ・建築設備
- ・販売
- ・測量機販売

# アンケート集計

Q10.G空間EXPOは何でお知りになりましたか。(複数回答可)

(26日)

チラシ	ポスター	ホームページ	SNS	新聞	雑誌	知人	デジタル サイネージ	その他	NA	合計
12	4	39	7	5	7	26	1	25	7	133

(27日)

チラシ	ポスター	ホームページ	SNS	新聞	雑誌	知人	デジタル サイネージ	その他	NA	合計
15	9	84	6	5	5	31	1	25	11	192

(28日)

チラシ	ポスター	ホームページ	SNS	新聞	雑誌	知人	デジタル サイネージ	その他	NA	合計
13	7	43	14	1	7	21	1	20	4	131

(SNS)

- ・Facebook (11名)
- ・Twitter (5名)
- ・メール (1名)

(新聞)

- ・読売
- ・朝日

(雑誌)

- ・月刊測量 (8名)
- ・GIS NEXT (2名)
- ・土地家屋調査士会報 (1名)

(紹介など)

- ・JIPDECからの紹介
- ・SPACからの紹介
- ・学内(研究室など)での通知
- ・知人、友人からの紹介
- ・地理院地図パートナーネットワーク会議案内
- ・旅行会社からの紹介

# アンケート集計

Q11. 今後、実施を希望されるイベントについてお知らせください。（複数回答可）

(26日)

(G空間関連の) 機関、企業による展示	講演・シンポジウム	フィールドワーク・地図教室等の体験型イベント	研修・ワークショップ等の参加型イベント	NA	合計
63	60	18	21	16	178

(27日)

(G空間関連の) 機関、企業による展示	講演・シンポジウム	フィールドワーク・地図教室等の体験型イベント	研修・ワークショップ等の参加型イベント	NA	合計
80	78	25	24	30	237

(28日)

(G空間関連の) 機関、企業による展示	講演・シンポジウム	フィールドワーク・地図教室等の体験型イベント	研修・ワークショップ等の参加型イベント	NA	合計
53	40	39	32	15	179

(その他)

- ・11/27(金)の日本地図学会のシンポジウムについて資料等、関連情報がありましたら教えて下さい。
- ・ガイドブックが先進的すぎて、配置と時間割が理解しにくく、視察調査のスケジュールがくめなかった
- ・いろいろなところでG空間が利用されていること、勉強になりました。
- ・UAV（S）セミナー、11/26(木)はとても良かった。課題はあるが、しっかり勉強したい。
- ・これからも機会がありましたら、展示などを見たいと思います。
- ・ものすごくたのしくて、とてもまんぞくです
- ・ふしぎなことばかりで、おもしろかった！
- ・技術的な見通し・社会システムの評価見直し
- ・横浜での復活を希望します！
- ・もう少しレベルを落とした一般向けの説明ブースが欲しい。
- ・講演会のもう少しくわしいプログラムがついてるとわかりやすかった。
- ・地理学生なので、これからも機会があれば参加してみたい
- ・フィールドワーク実施の際に学校の学生の集団参加等は可能ですか。
- ・講演をききましたが、開始時間が事前案内と異なる、各プレゼンが予定時間を大幅に延びるなど、仕切りに問題があると思います。平日、仕事の時間を工面して来ているので、時間にはシビアになって頂きたいです。
- ・セミナープログラムの詳細をHPに掲載して欲しい。HPの内容がわかりにくい
- ・個人・趣味レベルでの空間情報データの作成・活用・購入などについてもう少し取り扱うところがあればいつも思います（私もどうまとめ、どう公開するか悩みます）（街歩きをしている方の、ぼう大な地理的情報の活用など）
- ・参加型イベントをもう少しふやしてほしいなと思いました
- ・今年も面白かったです。
- ・横浜パシフィコの頃に比べ、人が減った様な…
- ・研究が進んでいるのは、分かりましたが、実際に社会でどのように活用されていくのでしょうか。
- ・興味のあったブースで説明を聞いたが（他の方と一緒にいる場合は）もうすこし声の大きさ等工夫が必要です。（となりで同じ内容の説明を他の方へされている方がいたので、自分が聞いている女性の方の説明があまり聞きとれなかったのが残念です。別ですが海保の方の説明はとても親切で良かったです）
- ・アクティビティフェスタは説明者との距離が近くて良いです。次回はより充実すると良いと思います。
- ・G空間は本来ふつうに体験できるものだから、もっとフリーの人に来てもらえる場作り重要です。
- ・村井先生の公演を聞きたい
- ・一般向け業界向けのバランスが難しいイベントと感じます

## 付録2 開催実績

# 開催実績

	G空間EXPO (2010)	G空間 EXPO2012	G空間 EXPO2013	G空間 EXPO2014	G空間 EXPO2015
会期	9/19(日)・ 21(祝)・22(火)	6/21(木)・ 22(金)・23(土)	11/14(木)・ 15(金)・16(土)	11/13(木)・ 14(金)・15(土)	11/26(木)・ 27(金)・28(土)
会場	パシフィコ横浜 (神奈川県横浜市) 展示ホールB・C (10,000㎡)	パシフィコ横浜 (神奈川県横浜市) 展示ホールD (6,700㎡)	日本科学未来館 (東京都江東区) 1F企画展示ゾーン他 (約2,000㎡)	日本科学未来館 (東京都江東区) 1F企画展示ゾーン他 (約2,350㎡)	日本科学未来館 (東京都江東区) 1F企画展示ゾーン他 (約2,350㎡)
主催	G空間EXPO 実行委員会	G空間EXPO 実行委員会	G空間 EXPO2013 運営協議会	G空間 EXPO2014 運営協議会	G空間 EXPO2015 運営協議会
シボヅム	36プログラム (参加者 3,838人)	21プログラム (参加者 3,695人)	20プログラム (参加者 2,460人)	19プログラム (参加者 2,179人)	16プログラム (参加者 1241人)
来場者数	3日間合計 36,819人 (展示会来場者)	3日間合計 18,143人 (展示会来場者)	3日間合計 17,584人 (展示会来場者)	3日間合計 20,311人 (展示会来場者)	3日間合計 18,856人 (展示会来場者)

